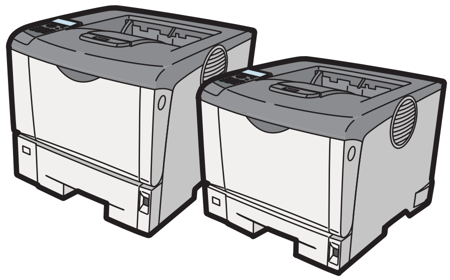
RICOH

IPSiO SP 4310 / 4300

使用説明書
〈ハードウェアガイド〉



1 各部の名称とはたらき
2 オプションを取り付ける
3 パソコンとの接続
4 インターフェース設定
5 用紙のセット
6 消耗品の交換
7 清掃
8 調整
9 困ったときには
10 紙づまりの対処
11 付録

ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。

本機に同梱されている使用説明書

- はじめにお読みください
- かんたんセットアップ
- クイックガイド
- ハードウェアガイド（本書）
- ドライバーインストール手順書
- ソフトウェアガイド
- セキュリティーガイド
- PostScript 3 編
- RTIFF 編
- R98 編
- R55 編
- R16 編
- PCL 編
- VMカード Java™ Platform 拡張機能初期設定 Web編

目次

使用説明書の紹介........8

使用説明書一覧表........10

はじめに........11

複製、印刷が禁止されているもの........11

おことわり........12

この本の読みかた........13

正しくお使いいただくために........13

マークについて........13

本書についてのご注意........13

IP アドレスについて........14

おもなオプションと略称........14

お使いになる前に........16

各機種による性能・機能の違い........16

安全上のご注意........17

表示について........17

表示の例........17

守っていただきたいこと........17

アースについて........18

使用環境について........18

電源プラグ、電源コードの取り扱いについて........19

本体の取り扱いについて........21

機械内部の取り扱いについて........23

消耗品の取り扱いについて........24

心臓ペースメーカーをお使いの方へ........26

レーザーの安全性........26

安全に関する本機の表示について........27

警告、注意のラベル位置について........27

電源スイッチの記号........28

エネルギースタープログラム........29

再生紙........29

画面で見る使用説明書の使いかた........30

使用説明書の種類........30

使用説明書（HTML 形式）を CD-ROM を使って見る........30

使用説明書（HTML 形式）をパソコンにインストールして使う.....31
使用説明書（PDF 形式）を CD-ROM を使って見る.....33
お客様登録.....34

1. 各部の名称とはたらき

全体.....35
背面.....37
内部.....39
前面.....39
背面.....40
操作部.....41
画面.....43
文字入力.....45
文字を入力する.....46
電源.....48
電源を入れる.....48
電源を切る.....50
節電.....51
テスト印刷する.....52

2. オプションを取り付ける

オプションの構成.....55
オプション取り付けの流れ.....55
オプションの取り付け.....56
コントローラーボードを取り付けるときの注意.....58
500 枚増設トレイユニット、250 枚増設トレイユニットを取り付ける.....59
拡張メモリーユニットを取り付ける.....62
拡張 HDD を取り付ける.....62
SDRAM モジュールを取り付ける.....66
インターフェースユニットを取り付ける.....71
拡張無線 LAN ボードを取り付ける.....71
拡張ギガビットイーサネットボードを取り付ける.....73
拡張 1284 ボードを取り付ける.....75
拡張 SD カードを取り付ける.....78
両面印刷ユニットを取り付ける.....81

3. パソコンとの接続

イーサネットケーブルで接続する.....85
LED の見かた.....87
USB ケーブルで接続する.....88
パラレルケーブルで接続する.....90

4. インターフェース設定

イーサネットを使用する.....91
IP アドレスを手動で指定する.....92
IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）.....95
通信速度を設定する.....96
拡張無線 LAN を使用する.....99
無線 LAN の接続を確認する.....102
無線 LAN ご使用時の注意.....103
無線 LAN のセキュリティー方式を設定する.....104
WEP キーを設定する.....104
WPA を設定する.....106
IEEE 802.1X を設定する.....109
サイト証明書の導入手順.....109
機器証明書の導入手順.....110
イーサネットで IEEE 802.1X を使用する.....111
無線 LAN で IEEE 802.1X を使用する.....113

5. 用紙のセット

使用できる用紙の種類とサイズ.....117
用紙の種類ごとの注意.....121
普通紙.....121
厚紙.....121
レターヘッド付き用紙.....121
ラベル紙.....122
特殊紙.....122
色紙.....122
OHP フィルム.....122
再生紙.....123
封筒.....123

郵便はがき......124
用紙を保管するとき......125
使用できない用紙......126
印刷範囲......128
用紙をセットする......130
給紙トレイまたは増設トレイに用紙をセットする......130
給紙トレイで用紙を設定する......135
給紙トレイで不定形サイズの用紙を設定する......136
給紙トレイで用紙種類を設定する......137
手差しトレイに用紙をセットする......138
手差しトレイで定形サイズの用紙を設定する......141
手差しトレイで不定形サイズの用紙を設定する......141
手差しトレイで用紙種類を設定する......143
封筒または郵便はがきをセットする......145
封筒をセットする......145
郵便はがきをセットする......151
天地の向き、表裏のある用紙に印刷する......154
用紙に独自の名前をつけて使用する......156
用紙種類に名前をつけて登録する......156
トレイにユーザー用紙種類を設定する......157
Web Image Monitor からトレイの設定をする......157
登録した用紙種類に印刷をする......158

6. 消耗品の交換

トナーカートリッジを交換する......159

7. 清掃

清掃するときの注意......165
フリクションパッドと給紙コロを清掃する......167
レジストローラー周辺と給紙トレイを清掃する......171

8. 調整

印刷濃度を調整する......175
印刷位置を調整する......177
用紙の反りを低減する......180

9. 困ったときには

操作部にメッセージが表示されたとき......183
　状態表示メッセージ......183
　エラーコードが表示されないメッセージ......184
　エラーコードが表示されるメッセージ......192
ブザー音が鳴ったとき......197
印刷がはじまらないとき......198
　パソコンとケーブルで直接接続しているとき......199
思いどおりに印刷できないとき......201
その他のトラブルシューティング......207

10. 紙づまりの対処

用紙がつまったとき......209
紙づまり（A）が発生したとき......211
　給紙トレイの場合......211
　手差しトレイの場合......214
紙づまり（B）が発生したとき......216
紙づまり（C）が発生したとき......218
紙づまり（Y1）（Y2）が発生したとき......223
紙づまり（Z）が発生したとき......225
　両面印刷ユニット後ろカバーの用紙を取り除く場合......225
　両面印刷ユニット内部の用紙を取り除く場合......227

11. 付録

保守・運用について......229
　使用上のお願い......229
　保守契約......230
　移動......231
　　近くに移動する......232
　　プリンターを輸送する......233
　　アースについて......233
　　電源について......234
　廃棄・回収......234
　使用済み製品の回収とリサイクルについて......234
　物質エミッションについて......235

リサイクル部品について......235
消耗品一覧......236
トナーカートリッジ......236
用紙......236
関連商品一覧......237
外部オプション......237
拡張 HDD......237
SDRAM モジュール......237
拡張 SD カード......237
拡張ボード......238
拡張認証システム......238
インターフェースケーブル......239
仕様......240
本体......240
電波障害について......242
500 枚増設トレイ 4200......243
250 枚増設トレイ 4200......243
両面印刷ユニット 4200......243
1Giga イーサネットボード タイプ B......244
IPSiO 拡張無線 LAN ボード タイプ A......244
拡張 1284 ボード タイプ A......245
商標......246
BMLinkS について......248
索引......249

使用説明書の紹介

本機には紙の使用説明書と画面で見る使用説明書（HTML/PDF）が用意されています。

画面で見る使用説明書は付属の CD-ROMに収録されています。説明書の開きかたや使いかたについては、P.30「画面で見る使用説明書の使いかた」を参照してください。

本機を使用するためにお読みいただく使用説明書と内容は以下のとおりです。

紙の使用説明書も画面で見る使用説明書も記載内容は同じですが、HTML 形式の使用説明書は説明の一部に動画を用いています。

はじめにお読みください（）

本製品についてのお問い合わせ先、注意事項、HTML マニュアルについて記載しています。

かんたんセットアップ（）

プリンターを梱包箱から取り出し、パソコンと接続、プリンタードライバーをインストールするまでの手順を説明しています。

クイックガイド（）

困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについて説明しています。困ったときにすばやく対処できるよう、プリンターの近くに常備しておいてください。

ハードウェアガイド（本書）（）

本体各部の名称とはたらきや、オプションの接続方法、用紙に関する情報、消耗品の交換、印刷がはじまらないとき・思いどおりに印刷できないときの解決方法、紙づまりの処置など、本機を使用する上で重要な情報がまとめられています。必要に応じてご活用ください。

ドライバーインストール手順書（）

プリンタードライバーのインストール手順や設定方法を説明しています。使用しているパソコンに対応する部分をお読みください。このマニュアルはドライバー CD に収録されています。

ソフトウェアガイド（）

本機で使用できる機能とプリンタードライバーの設定方法を説明しています。

セキュリティーガイド（）

管理者向けの説明書です。本機を不正な使用やデータの改ざんといった脅威から守るための方法、各管理者の設定方法、ユーザー認証の設定方法などについて説明しています。セキュリティー強化機能や認証の設定を行う前に必ずお読みください。

PostScript 3 編（）

PostScript® 3™ エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

RTIFF 編（）

RTIFF エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

R98 編（）

R98 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

R55 編（）

R55 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

R16 編（）

R16 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

PCL 編（）

PCL エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

VM カード JavaTM Platform 拡張機能初期設定 Web 編（）

Web Image Monitor を使用して拡張機能の設定を行う方法について説明しています。

Linux/Unix をお使いの方へ（）

コマンドを使用してプリンターを操作する方法について説明しています。本機では使用できない機能や設定についても記載している場合があります。この説明書はリコーのホームページからダウンロードしてください。

補足

- HTML 形式の使用説明書は Web ブラウザーでご覧いただけます。
- PDF 形式の使用説明書を表示するには、Adobe® Acrobat® Reader®/Adobe Reader®が必要です。

使用説明書一覧表

分冊名	紙マニュアル	画面で見る使用説明書 HTML 形式のマニュアル	画面で見る使用説明書 PDF 形式のマニュアル
はじめにお読みください	なし	有り（）	なし
かんたんセットアップ	有り（）	なし	有り（）
クイックガイド	有り（）	なし	有り（）
ハードウェアガイド	有り（）	有り（）	有り（）
ドライバーインストール手順書	なし	なし	有り（）
ソフトウェアガイド	なし	有り（）	有り（）
セキュリティーガイド	なし	なし	有り（）
PostScript 3 編	なし	有り（）	なし
RTIFF 編	なし	有り（）	なし
R98 編	なし	有り（）	なし
R55 編	なし	有り（）	なし
R16 編	なし	有り（）	なし
PCL 編	なし	有り（）	なし
VM カード JavaTM Platform 拡張機能初期設定 Web 編	なし	有り（）	有り（）
Linux/Unix をお使いの方へ	なし	なし	有り（）

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

株式会社 リコー

東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル 〒 104-8222

http://www.ricoh.co.jp/

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1. 複製、印刷することが禁止されているもの

（見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）

- 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- 日本や外国の郵便切手、印紙
- **（関係法律）**
    - 紙幣類似証券取締法
    - 通貨及証券模造取締法
    - 郵便切手類模造等取締法
    - 印紙等模造取締法
    - （刑法 第 148 条 第 162 条）

2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- 外国の紙幣、貨幣、銀行券
- 株券、手形、小切手などの有価証券
- 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画
- **（関係法律）**
    - 刑法 第 149 条 第 155 条 第 159 条 第 162 条
    - 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3. 著作権法で保護されているもの

著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

おことわり

本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社はいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

この本の読みかた

この説明書の読みかたや、使われているマークについて説明します。

正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。

各タイトルの一番最後に記載しています。

[ ]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。

IP アドレスについて

本書で「IP アドレス」と表記されている場合は、IPv4 と IPv6 の両環境に対応していることを示しています。お使いの環境に合わせてお読みください。

おもなオプションと略称

本体に用意されているおもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

商品名	略称
250 枚増設トレイ 4200	250 枚増設トレイ
500 枚増設トレイ 4200	500 枚増設トレイ
両面印刷ユニット 4200	両面印刷ユニット
拡張 HDD タイプ R	拡張 HDD
SDRAM モジュール VIII 128MB	SDRAM モジュール 128MB
SDRAM モジュール VIII 256MB	SDRAM モジュール 256MB
IPSiO 拡張無線 LAN ボード タイプ A	拡張無線 LAN ボード
拡張 1284 ボードタイプ A	拡張 1284 ボード
1Giga イーサネットボード タイプ B	拡張ギガビットイーサネットボード
リコー個人認証 IC カード R/W タイプ R1	IC カード R/W

商品名	略称	総称
IPSiO R98/R16 カード タイプ 4300	エミュレーションカード （R98、R16）	拡張 SD カード
IPSiO エミュレーションカード タイプ 4300	エミュレーションカード （RTIFF、R98、R55、R16）	
IPSiO PS3 カード タイプ 4300	PS3 カード	
IPSiO PDF ダイレクトプリントカード タイプ 4300	PDF ダイレクトプリントカード	
IPSiO PCL カード タイプ 4300	PCL カード	
IPSiO BMLinkS カード タイプ C	BMLinkS カード	
IPSiO VM カード タイプ G	VM カード	
リコー個人認証カード タイプ R1-09	個人認証システム	

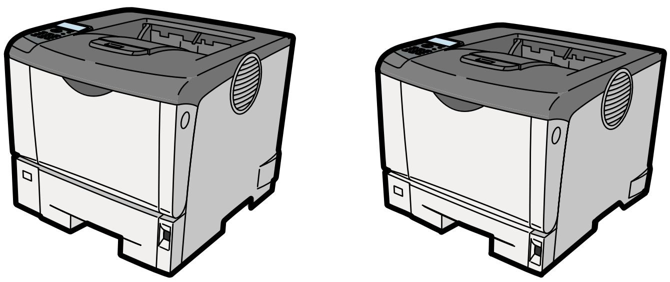
お使いになる前に

各機種で設置・設定が可能な装備・機能について説明します。

本書では特にことわりのないかぎり、IPSiO SP 4310 のイラストを使って説明しています。

各機種による性能・機能の違い

機種ごとのおもな性能／機能の差異は以下の表のとおりです。詳細については、P.240「仕様」を参照してください。



CED002

商品名	IPSiO SP 4310	IPSiO SP 4300
標準トレイ	500 枚給紙（トレイ 1）	250 枚給紙（トレイ 1）
最大給紙量*1	1,600 枚	1,350 枚
排紙量	250 枚	250 枚

*1 500 枚増設トレイユニット 2 段装着時

安全上のご注意

表示について

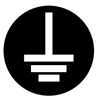
本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

	△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 ⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。 （左図の場合は、“分解禁止”を表します）

	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 ●の中に具体的な指示内容が描かれています。 （左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します）

守っていただきたいこと

本機を安全にお使いいただくために守っていただきたいことを説明します。

アースについて

警告

- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを コンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

使用環境について

警告

- 機械の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。

警告

- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。

注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

注意

- この機器の上に重いものを置かないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になります。

⚠注意

- この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

⚠注意

- 換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用するときや、大量の印刷を行うときには、部屋の換気を十分に行ってください。

⚠注意

- 潮風、腐食性ガスをさけてください。また、化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。故障の原因になります。

電源プラグ、電源コードの取り扱いについて

⚠警告

- 表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠**警告**

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

⚠**警告**

- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

⚠**警告**

- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠**警告**

- 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠**警告**

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠**注意**

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠**注意**

- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。

⚠**注意**

- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

⚠注意

- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

⚠注意

- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体の取り扱いについて

⚠警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠警告

- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなど異常状態が見られるときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 機械を落としたり、カバーなどを破損したときは、電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 近くで落雷が発生しているときは、本機に触らないでください。感電の原因になります。

⚠警告

- 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意

- IPSiO SP 4310 本体は約 17.5kg あります。
- IPSiO SP 4300 本体は約 15.8kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

⚠注意

- 電話回線などの過電圧が加わる恐れのあるネットワークを LAN コネクターに接続しないでください。間違って接続すると、火災および感電の危険があります。

⚠注意

- 他のフロアへの移動など、本機を持ち上げて運搬・移動するときは、サービス実施店に依頼してください。機械を落としたり倒したりすると、けがや故障の原因になります。

⚠注意

- オプションの取り付けや取り外しをするときは、電源プラグをコンセントから抜いて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

機械内部の取り扱いについて

⚠警告

- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー放射により失明の恐れがあります。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- 定着ユニットは高温になります。定着ユニットを取り外す際は、背面カバーを開けてから（両面印刷ユニットを引き出してから）1 時間以上待ち、定着ユニットが常温になってから行ってください。やけどの原因になります。

⚠注意

- レジストローラー周辺を清掃するときは、プリンターの電源が切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

⚠注意

- 用紙（記録紙）を交換するときは、指をはさんだり、けがをしないように注意してください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときは、指をはさんだり、けがをしないように注意してください。

⚠注意

- 機械が動いているときは、原稿や転写紙を送るためのローラー、コロなどが回転しています。
- 安全装置によりけがをしないように設計されていますが、止まるための負荷でかじる程度の状態は生じることがあります。機械が動いているときは、ローラー、コロなどに手を触れないように注意してください。

⚠注意

- コントローラーボードをセットする箱の中に手を入れないでください。故障やけがの原因になります。

⚠注意

- 機械内部の掃除をサービス実施店に相談してください。機械内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。なお、機械内部の掃除費用については販売店またはサービス実施店に相談してください。

消耗品の取り扱いについて

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠警告

- 本製品に使用しているポリ袋・手袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだ場合は、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

⚠注意

- SD カードは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カードを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠注意

- 使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。

⚠注意

- 用紙交換の際、指はさみ、指のけがにご注意ください。

⚠注意

- ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

心臓ペースメーカーをお使いの方へ

⚠警告

- 機械から微弱な磁気が出ています。植え込み型医療機器（心臓ペースメーカー及び除細動器）をご使用の方は、異状を感じたら本製品から離れてください。そして、医師に相談してください。

レーザーの安全性

この製品は JIS C 6802：2005 規格に基づいた「クラス 1 レーザ製品」として認定されています。この製品は複数の GnAlAs 半導体レーザーを使用しており、それぞれの半導体レーザーは連続波であり、最大出力は 5.5（定格 6.2）mW で、波長は 770〜790nm 、ビーム広がり角は垂直方向に 31 度（平均値）、水平方向 9 度（平均値）です。

レーザー放射は筐体内に完全に遮へいされているため、この使用説明書の指示を守ってご使用になる限りは、ご使用のどの段階においてもレーザー放射が機外に漏れ出すことはありません。

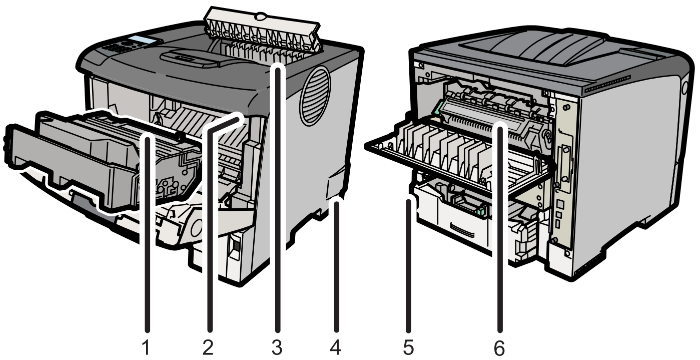
⚠注意

- ここに規定した以外の手順による制御や調整は危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

安全に関する本機の表示について

警告、注意のラベル位置について

本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、⚠警告、⚠注意のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。



CED003

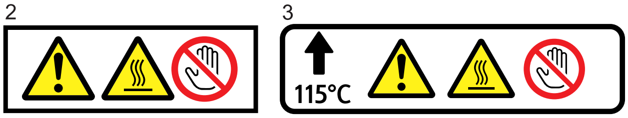
1



CEE129

トナー又はトナーの入った容器を直接焼却炉等の火中に投入しないでください。火傷をするおそれがあります。

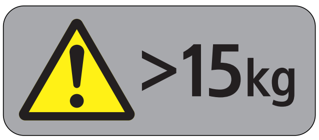
2 3



CEE130

（機械内部には）高温の部分があります。このラベルが貼ってある周辺には触れないでください。やけど（けが）の原因になります。

4



CEE131

IPSiO SP 4310 本体は約 17.5kg あります。IPSiO SP 4300 本体は約 15.8kg あります。機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかから

ない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

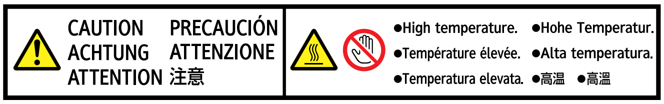
5



CED024

アース接続をせずに万一漏電した場合は、火災や感電の原因となるため、必ずアース接続 をしてください。

6



CED025

（機械内部には）高温の部分があります。このラベルが貼ってある周辺には触れないでください。やけど（けが）の原因になります。

電源スイッチの記号

本機のスイッチ類に記されている記号の意味は以下のとおりです。

- **I** ： 電源オン
- **○** ： 電源オフ

エネルギースタープログラム

国際エネルギースタープログラム

ENERGY STAR

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリ、複写機、スキャナー、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国の間で統一されています。

低電力機能

- 本機には、低電力機能として、オートオフモードがあります。一定時間本機を操作しない時間が続いたとき、自動的に電力の消費量が低く抑えられます。オートオフモードは、パソコンから印刷の指示をするか、操作部のキーを押すと解除されます。
- オートオフモードへの移行時間は、[システム設定] メニューで変更します。システム設定の変更のしかたは、『ソフトウェアガイド』「システム設定メニュー」を参照してください。

機能の仕様

オートオフモード	消費電力	3.9W 以下
	初期設定移行時間	1 分
	復帰時間	12 秒以下

再生紙

エネルギースタープログラムでは、環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは販売担当者にご相談ください。

画面で見る使用説明書の使いかた

画面で見る使用説明書の使いかたについて説明します。画面で見る使用説明書は、付属のCD-ROM に収録されています。

使用説明書の種類

本機の使用説明書は、媒体により 3 種類のものを提供しています。

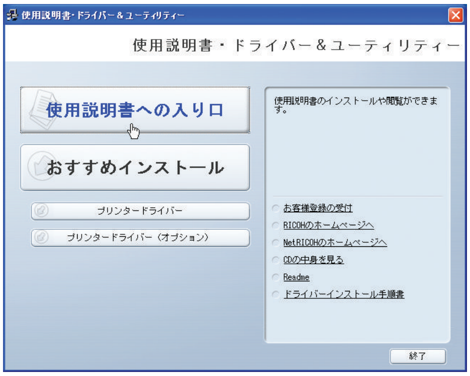
- 紙の使用説明書
- 画面で見る使用説明書（HTML 形式）
- 画面で見る使用説明書（PDF 形式）

紙の使用説明書も画面で見る使用説明書も記載内容は同じですが、HTML 形式の使用説明書は説明の一部にムービーを用いています。使用説明書の記載内容について詳しくはP.8「使用説明書の紹介」を参照してください。また、分冊により提供されている使用説明書の形式が異なります。詳しくはP.10「使用説明書一覧表」を参照してください。

使用説明書（HTML 形式）を CD-ROM を使って見る

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

2. ［使用説明書への入り口］をクリックします。



3. ［使用説明書（HTML）を見る］をクリックします。

4. 参照したい使用説明書を選びます。

ブラウザーが起動し、使用説明書が表示されます。

補足

- 推奨ブラウザーは、以下のとおりです。
    - Internet Explorer 6 以降

- Firefox 3.5 以降
- Safari 4.0 以降

- 推奨外のブラウザーでは、バージョンの低いブラウザー向けに簡素化した使用説明書が表示されます。
- HTML 形式の使用説明書内のムービーを表示するには Adobe Flash Player（Macromedia Flash Player 5 以降）のプラグインが必要です。
- HTML 形式の使用説明書は通常用と読み上げソフト用と簡易表示用の 3 種類を収録しています。使用環境に合わせてお選びください。
- 使用説明書の内容を音声読み上げソフトでお聞きになる場合、または Flash プラグインをインストールできずムービーが表示されない場合は、音声読み上げ用に最適化された「読上げソフト対応」に切り替えてお使いください。ウィンドウ右上のタブで表示を切り替えることができます。



- Macintosh をお使いの場合は、CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットした後、［使用説明書（HTML）を見る］をクリックして使用説明書を開いてください。

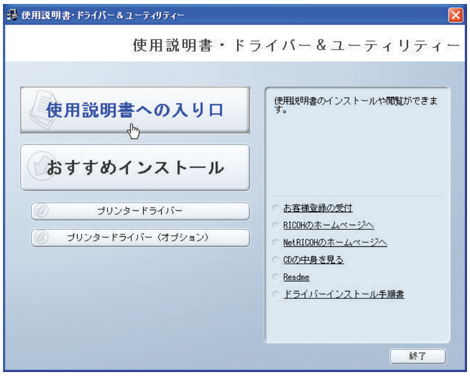
使用説明書（HTML 形式）をパソコンにインストールして使う

HTML 形式の使用説明書はパソコンにインストールして使うことができます。

パソコンにインストールしておくと、いつでも利用できて便利です。

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

2. ［使用説明書への入り口］をクリックします。



3. ［使用説明書（HTML）をインストールする］をクリックします。
4. 画面の指示にしたがって、インストールします。
5. インストールが完了したら、［完了］をクリックします。
6. 最初の画面で［終了］をクリックします。
7. インストールした画面で見る使用説明書（HTML 形式）を開きます。

アイコンから開くときは、デスクトップ上のアイコンをダブルクリックします。［スタート］メニューから開くときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows XP 以外の OS をお使いの場合は［プログラム］）、［お使いの機種名］を選びます。

8. 参照したい使用説明書を選びます。

補足

- インストールするには管理者権限が必要です。Administrator グループのメンバーとしてログオンしてください。
- インストールするために必要な OS の条件は Windows 2000/XP/Vista/7、または Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 です。
- 画面で見る使用説明書をディスプレイに表示させるために必要な条件は、表示解像度（デスクトップ領域）：800×600 ピクセル以上です。
- すべての使用説明書をインストールしないと、参照先のページが表示されないことがあります。参照先を表示させたい場合、すべての使用説明書をインストールしてください。
- インストールがうまくできないときは、CD-ROM の「MANUAL_HTML」フォルダーをすべてローカルディスクにコピーして、「Setup.exe」を実行してください。
- インストールした使用説明書を削除する場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows XP 以外の OS をお使いの場合は［プログラム］）、［お使いの機種名］を選んでアンインストールを実行してください。

- インストール時のお客様の設定によっては、インストール先のフォルダー名称が異なる場合があります。

使用説明書（PDF 形式）を CD-ROM を使って見る

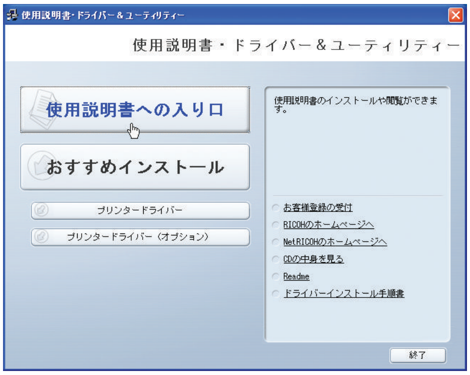
ファイル格納場所

付属の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

MANUAL_PDF

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

2. [使用説明書への入り口] をクリックします。



3. [使用説明書（PDF）を見る] をクリックします。

4. 参照したい使用説明書を選びます。

補足

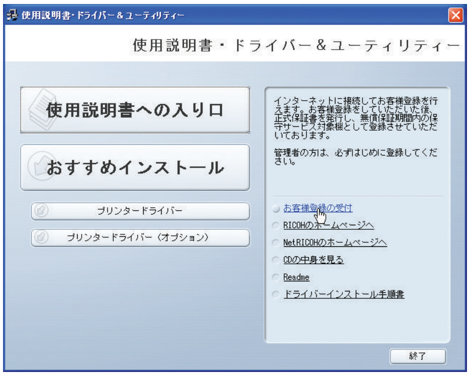
- PDF 形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Reader が必要です。
- Macintosh をお使いの場合は、CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットした後、[使用説明書（PDF）を見る] をクリックして使用説明書を開いてください。

お客様登録

インターネットに接続してお客様登録を行えます。

お客様登録をしていただくことにより、正式保証書を発行し、無償保証期間の保守サービス対象機として登録させていただきます。すでにお客様登録はがきを返送されている場合は、インターネットからの登録は不要です。

1. **[お客様登録の受付] をクリックします。**



2. **ページ内の指示に従って登録します。**

3. **登録終了後、Web ブラウザーを終了します。**

4. **最初の画面で [終了] をクリックします。**

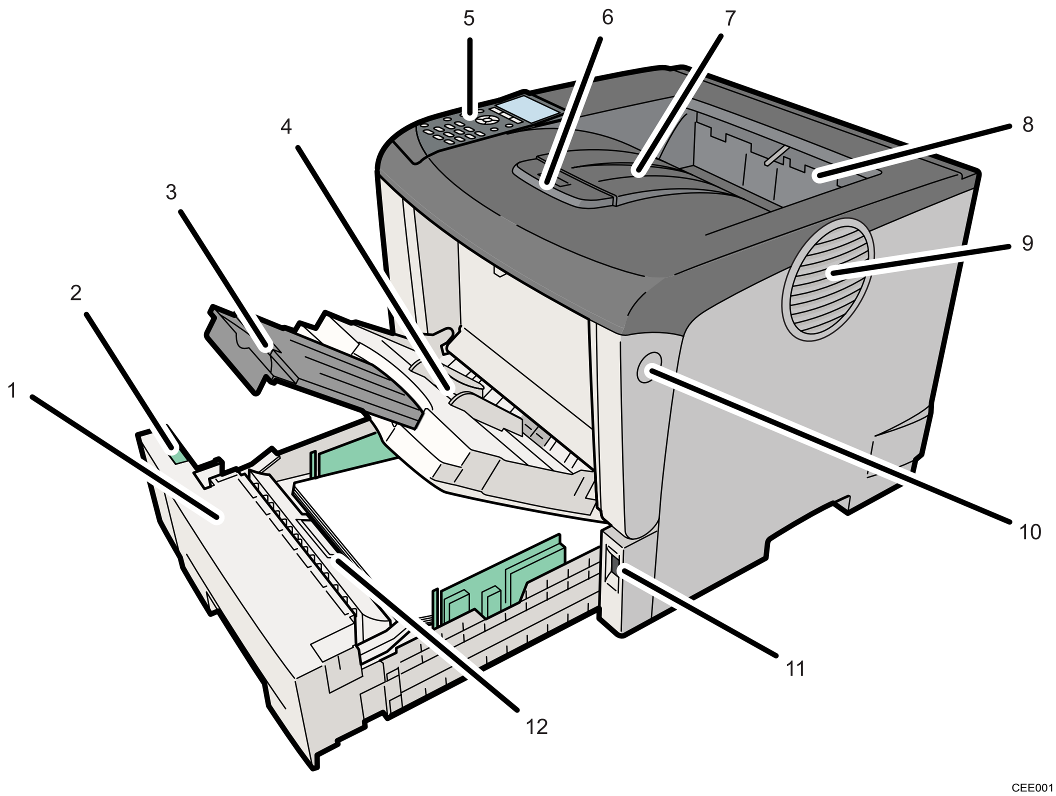
これでお客様登録は終了です。

補足

- インターネットに接続している場合にご利用できます。
- お客様登録はがきをご返送いただきましても、同様の保証内容となります。

1. 各部の名称とはたらき

全体



1. 給紙トレイ（トレイ 1）

用紙をセットします。IPSiO SP 4310 は、普通紙で最大 500 枚までセットできます。IPSiO SP 4300 は、普通紙で最大 250 枚までセットできます。

2. 用紙サイズダイヤル

給紙トレイにセットした用紙のサイズと方向に合わせます。

3. 延長手差しトレイ

手差しトレイに B5▯より大きいサイズの用紙をセットするときに延ばします。

4. 手差しトレイ

普通紙の他に、厚紙や不定形サイズの用紙などに印刷するときに使用します。普通紙で最大 100 枚までセットできます。

セットできる用紙サイズと種類については、P.117「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

5. 操作部

キーを使用してプリンターを操作したり、画面で動作状態を確認します。

6. 延長排紙トレイ

B5▯より大きいサイズの用紙に印刷するときに延ばします。

7. 排紙トレイ

印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

8. 排紙口カバー

紙づまりの処置をするときに開けます。

9. 排気口

プリンター内部の温度上昇を防ぐために空気が排出されます。排気の向きは変えることができます。物を立て掛けたりして排気口をふさがないでください。プリンター内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

10. 前カバーオープンボタン

ボタンを押すとロックが外れ、前カバーが開きます。

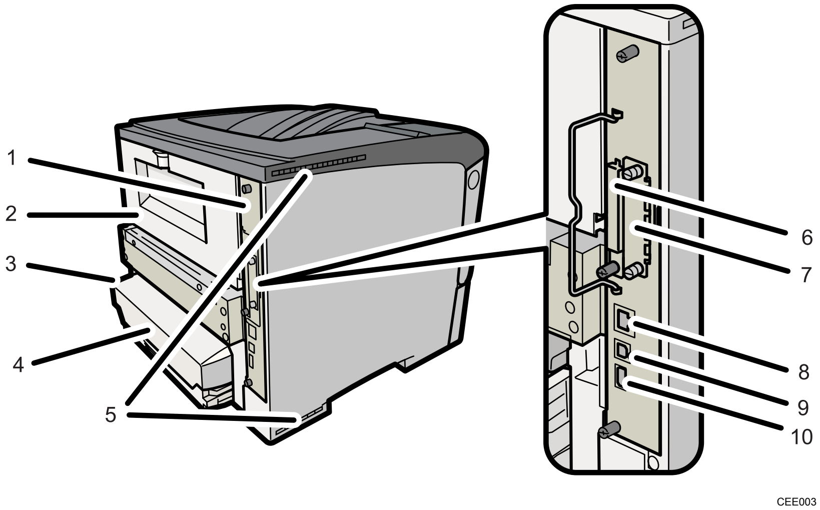
11. 電源スイッチ

プリンターの電源を On/Off の状態にします。シャットダウンの方法については、P.50「電源を切る」を参照してください。

12. フリクションパッド

用紙を 1 枚ずつ内部に送るために必要な部品です。何枚もの用紙が一度に送られる場合は清掃します。また、「メンテナンスキットの交換時期です。」というメッセージが表示されたらサービス実施店に連絡してください。

背面



1. コントローラーボード

SDRAM モジュールや拡張 HDD を取り付けるときに、このボードを引き出します。

2. 背面カバー

定着ユニットを交換するときや、両面印刷ユニットを取り付けるときに取り外します。

3. 電源コネクター差込口

プリンター本体側に電源コネクターを接続します。電源プラグは、コンセントに差し込みます。

4. 給紙トレイカバー

トレイ内にほこりなどが入るのを防ぎます。延長トレイを引き出したり、両面印刷ユニットを装着しているときは、取り付けることができません。

5. 吸気口

プリンター内部の温度上昇を防ぐための空気の取り入れ口です。物を立て掛けたりして吸気口をふさがないでください。プリンター内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

6. 拡張 SD カード用スロット

スロットカバーを外し、拡張 SD カードを取り付けます。

7. 拡張インターフェースボード取り付け部

拡張無線 LAN ボードや拡張ギガビットイーサネットボード、拡張 1284 ボードを取り付けることができます。

8. イーサネットポート

プリンターとネットワークを接続するイーサネットケーブルを接続します。

9. USB ポート B

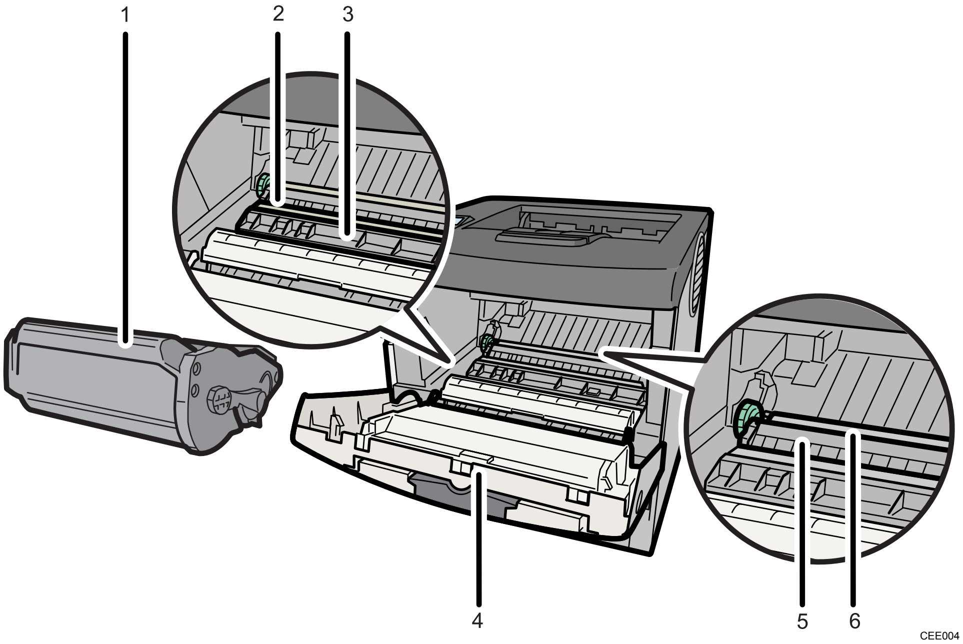
本体とパソコンを接続する USB ケーブルを接続します。

10. USB ポート A

本体と IC カード R/W などを接続することができます。

内部

前面



1. **トナーカートリッジ**

   トナーと廃トナーボトル、感光体が一体化しているカートリッジです。

   操作部に「カートリッジを交換してください。」というメッセージが表示されたら、交換してください。

   交換手順については、P.159「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

2. **レジストローラー**

   用紙を送るための金属製のローラーです。トナーカートリッジを交換するときなどに周辺の紙粉を清掃します。

3. **ガイド板**

   紙づまりの処置をするときに開けます。

4. **前カバー**

   トナーカートリッジや定期交換部品の交換、紙づまりの処置をするときに開けます。

5. **転写ローラーカバー**

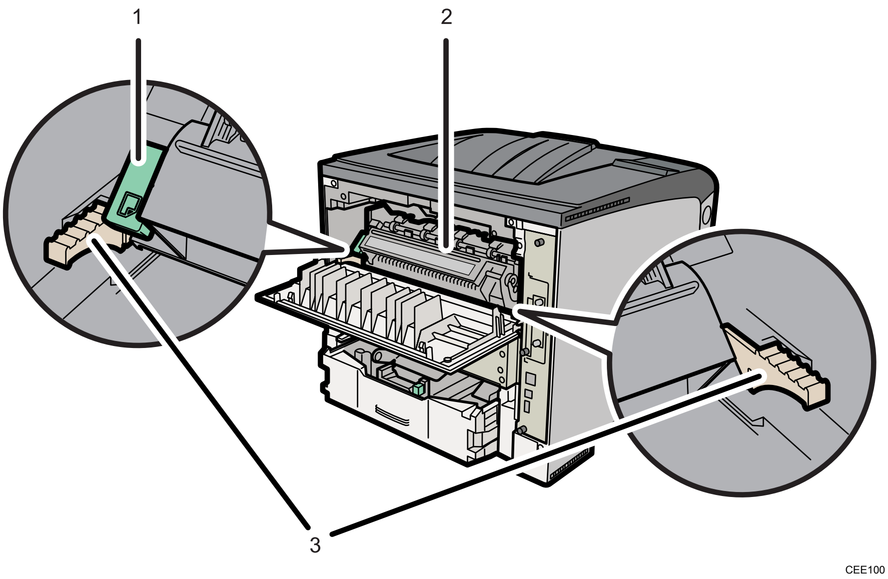
   転写ローラーを交換するときに開けます。

6. 転写ローラー

「メンテナンスキットの交換時期です。」というメッセージが表示されたらサービス実施店に連絡してください。

1

背面



1. 封筒レバー

封筒印刷時にレバーを上げて使用してください。通常時、もしくは封筒印刷をしないときは、封筒レバーを下げて使用してください。

2. 定着ユニット

トナーを用紙に定着させるためのユニットです。「メンテナンスキットの交換時期です。」というメッセージが表示されたらサービス実施店に連絡してください。

3. 定着ユニット固定レバー

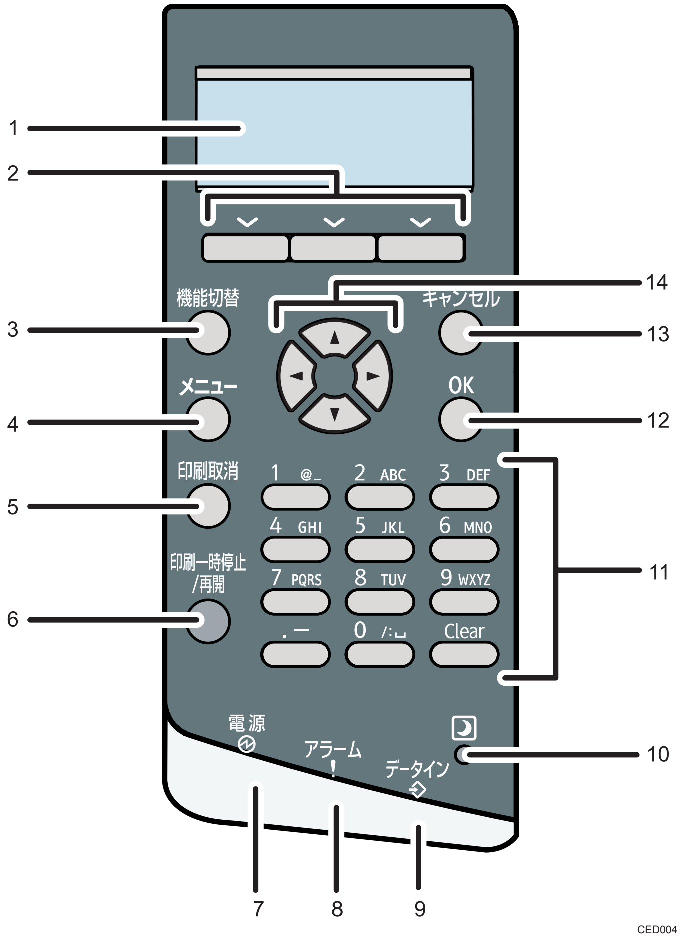
定着ユニットを取り外すときに、左右のレバーを上げます。

補足

- 交換メッセージについて詳しくは、P.183「操作部にメッセージが表示されたとき」を参照してください。
- 転写ローラーおよび定着ユニットは定期交換部品キットに含まれます。定期交換部品キット交換の際は、サービス実施店に連絡して、交換を依頼してください。

操作部

操作部の各部の名称とはたらきについて説明します。



1. **画面**

    本機の状態やエラーメッセージが表示されます。

    省エネモードに移行すると、[Energy Saver Mode] と表示されます。省エネモードの設定については、『ソフトウェアガイド』「システム設定メニュー」を参照してください。

2. **選択キー**

    画面下部に表示された項目を選ぶときに押します。

3. **[機能切替] キー**

    複数のアプリケーションをインストールしている場合に、各アプリケーションの操作画面に切り替えます。

4. **[メニュー] キー**

    設定を変更したり、現在の設定を確認するときに押します。

1

各種の設定中に［メニュー］キーを押すと、通常の画面に戻ります。

5.［印刷取消］キー

印刷中または受信中のデータを取り消すときに押します。

6.［印刷一時停止／再開］キー

印刷中のデータを一時停止するときに押します。一時停止中はランプが点灯します。

このキーをもう一度押すか、オートリセット時間設定で設定されている時間が経過すると（工場出荷時の設定は「60 秒」）印刷を再開します。

［オートリセット時間設定］の設定については、『ソフトウェアガイド』「システム設定メニュー」を参照してください。

7. 電源ランプ

電源が入っているときに点灯します。ただし、省エネモードになっているときは消灯します。

8. アラームランプ

エラーが発生したときに、点灯または点滅します。

赤点灯したときは、印刷ができません。

黄点滅したときは、印刷はできますが、消耗品の交換が間近のためきれいな印刷結果が得られない場合があります。

操作部の画面でエラーの内容を確認して対処してください。

9. データインランプ

パソコンから送られたデータを受信しているときに点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

10. ECO ナイトセンサー

［明るさ検知オートオフ］機能を使用する場合に、室内の明るさを検知するセンサーです。

11. テンキー

数字または記号を入力するときに押します。

12.［OK］キー

設定や設定値を確定させるとき、または下位の階層に移動するときに押します。

13.［キャンセル］キー

設定を有効にせずに上位の階層に戻るとき、メニューから通常の表示に戻るときに押します。

14. スクロールキー

カーソルを上下左右に移動させたり、設定値を増減させるときに使います。

本書で［▲］［▼］［▶］［◀］と表記されているときは、同方向のスクロールキーを押します。

画面

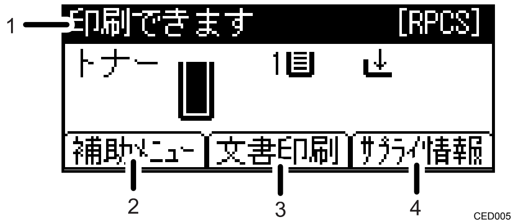
画面には操作の状態、メッセージや機能のメニューが表示されます。

選択項目が選択、または指定されたときは、白黒反転表示されます。

重要

- **画面には触れないでください。**

工場出荷時の設定では、電源を入れたときに以下の待機画面が表示されます。



1. **ステータスメッセージ**

    本機の状態やメッセージが表示されます。

2. **[補助メニュー]**

    左の選択キーを押すと、以下のメニューが表示されます。

    - 強制排紙
    - エラー履歴表示
    - 給紙トレイ
    - エミュレーション呼び出し
    - 印刷条件
    - 印刷部数
    - プログラム登録／消去

3. **[文書印刷]**

    中央の選択キーを押すと、[文書印刷] メニューが表示されます。試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書、保存文書を確認・印刷することができます。

4. **[サプライ情報]**

    右の選択キーを押すと、トナーおよび用紙の残量を確認できます。

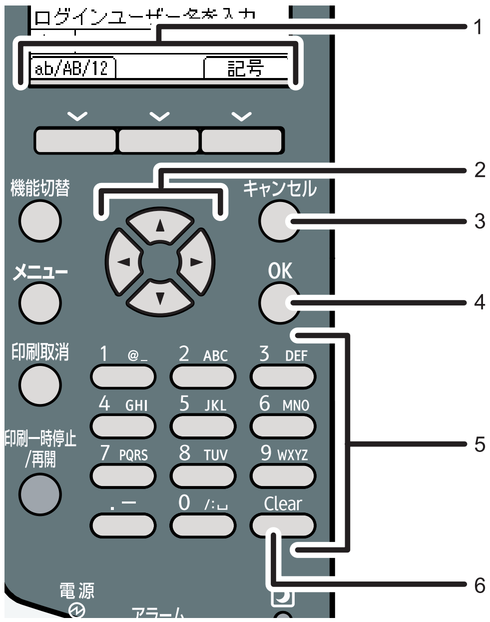
補足

- 呼び出しているエミュレーションによって、[補助メニュー] で表示されるメニューが異なります。
- [文書印刷] メニューは、本体に拡張 HDD が装備されているときに表示されます。
- 工場出荷時の設定では、待機画面にトナー残量を表示する設定になっています。トナー残量表示をオフにするときは、操作部の [メニュー] キーを押して、[調整／管

理］メニューの［一般管理］⇒［サプライ残量表示］で［表示しない］を選択してください。

- 画面が暗くて見づらいときは、画面の明るさを調整してください。操作部の［メニュー］キーを押して、［調整／管理］メニューの［一般管理］⇒［画面コントラスト調整］で画面の明るさを調整できます。

文字入力



CED006

1. 選択キー

画面下部に表示された項目を選ぶときに押します。

本文中で「[補助メニュー]を押します。」と説明されているときは、左の選択キーを押します。

2. スクロールキー

カーソルを上下左右に移動します。

本書で［▲］［▼］［▶］［◀］と表記されているときは、同方向のスクロールキーを押します。

3. ［キャンセル］キー

操作を取り消すときや前の画面に戻るときに押します。

4. ［OK］キー

画面上の機能を設定したり、選択項目を確定するときに押します。

5. テンキー

テンキーを使用して文字を入力するには、［ab/AB/12］の選択キーを押して、文字入力モードを選択します。

キーを押すごとに、入力モードが小文字、大文字、数字の順に切り替わります。

記号を入力するには、［記号］の選択キーを押します。

6. ［Clear］キー

カーソルの左側にある文字を削除します。カーソル位置が一番右側にある場合は、一番右端の文字を削除します。

文字を入力する

表示画面で文字を入力するには、以下の手順で入力してください。ここでは「User#2」を入力する手順を説明します。

1. [ab/AB/12] の選択キーを押します。



2. [8 TUV] キーを 2 回押し、[▶] キーを押します。「U」が入力されます。



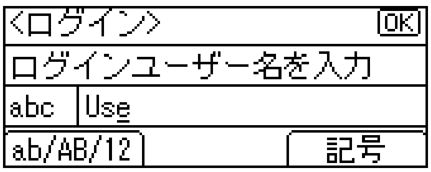
3. [ab/AB/12] の選択キーを 2 回押します。英小文字入力モードに変わります。



4. [7 PQRS] キーを 4 回押し、[▶] キーを押します。「s」が入力されます。



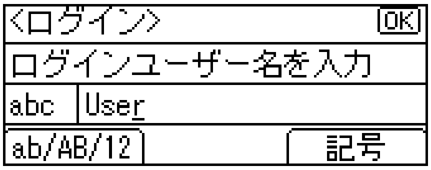
5. [3 DEF] キーを 2 回押し、[▶] キーを押します。「e」が入力されます。



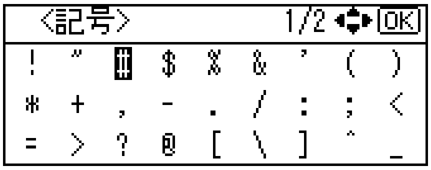
6. [7 PQRS] キーを 3 回押し、[▶] キーを押します。「r」が入力されます。



7. [記号] の選択キーを押します。記号入力モードに変わります。



8. スクロールキーを押し「#」を選択し、[OK] キーを押します。



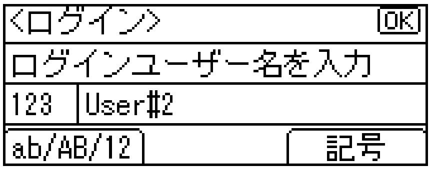
「#」が入力されます。



9. [ab/AB/12] の選択キーを 2 回押します。数字入力モードに変わります。



10. [2 ABC] キーを押し、[▶] キーを押します。「2」が入力されます。



11. [OK] キーを押します。

電源

1

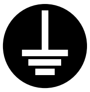
電源を入れる

⚠警告



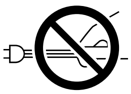
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠警告



- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを コンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

⚠注意

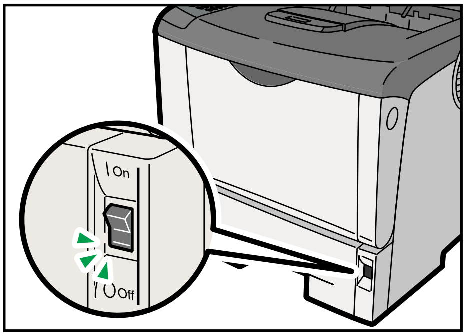


- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

★重要

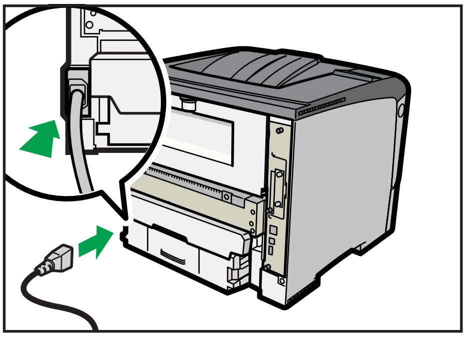
- **電源を入れるとき、電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。**
- **電源プラグを差し込んだり抜いたりするときは、電源スイッチを「Off」にしてください。**
- **初期設定が終わるまで電源スイッチを切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。**
- **はじめて本機の電源を入れるときは、同梱のトナーカートリッジから必ずトナーシールを 2 本とも引き抜いてから使用してください。トナーシールを引き抜かないで電源を入れると故障の原因になります。**
- **本機のアース端子は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。**
    - **コンセントのアース端子**
    - **接地工事（D 種）を行っているアース線**

1. 電源スイッチが「Off」側になっていることを確認します。



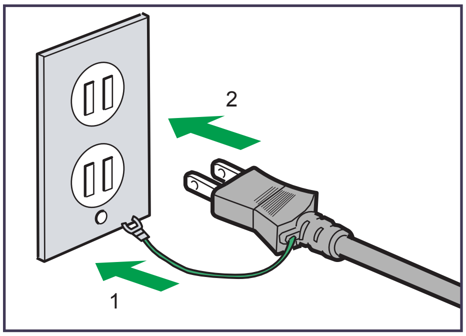
CEE101

2. 背面の電源コネクター差込口に、電源コネクターを接続します。



CED007

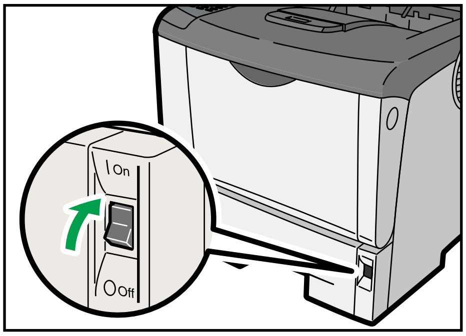
3. アース線を接続し（①)、次に電源プラグをコンセントに差し込みます（②)。



CBJ029

1

4. 電源スイッチを「On」側にします。



CEE015

補足

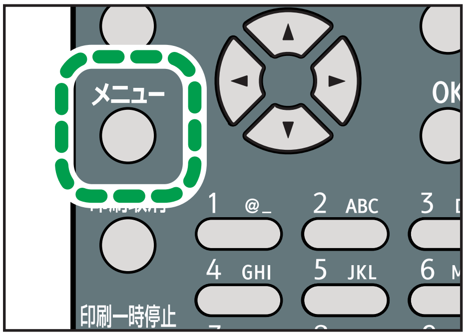
- 操作部の電源ランプが点灯し、「おまちください」のメッセージが表示されます。本機の初期設定が完了するまでしばらくお待ちください。
- 初期設定は、最初に電源を入れたときには、約 1 分かかります。初期設定中に動作音が聞こえますが、故障ではありません。

電源を切る

重要

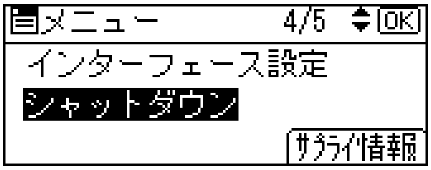
- **シャットダウンの手順を行う前に、電源スイッチを「Off」にしないでください。先に電源スイッチを Off にすると、拡張 HDD やメモリーが破損し、誤作動を起こすおそれがあります。**
- **電源を切ったあと、すぐに電源を入れると故障の原因になります。10 秒以上経過してから電源を入れてください。**

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

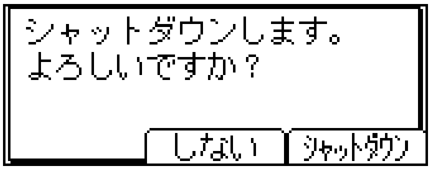


CED008

2. [▼] [▲] キーを押して [シャットダウン] を選択し、[OK] キーを押します。

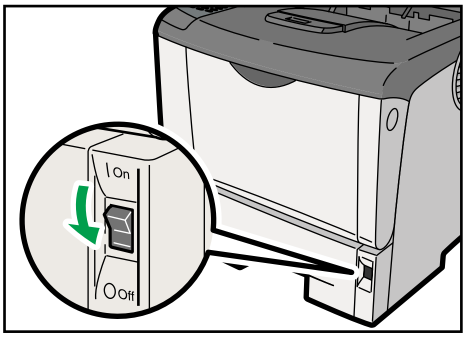


3. [シャットダウン] の選択キーを押します。



「電源を切ってください。」と表示されるまでお待ちください。

4. 電源スイッチを「Off」にします。



CEE016

補足

- 本体が次の状態にあるとき、[シャットダウン] を選択しても電源が切れない場合があります。
  - ハードディスクが動作中
  - 外部機器と通信中
  - 本体のカバーが開いているとき

節電

本機は節電のために、オートオフモードとよばれる省エネ機能があります。オートオフモード中は、待機時の消費電力を抑えることができます。本機で使用できる 3 つの省エネ機能について説明します。

オートオフ時間設定

本機の操作や印刷が行われない状態が一定の時間を経過すると、自動的にオートオフモードに移行します。

オートオフスケジューラー

時刻と曜日を設定することで、指定したタイミングで自動的にオートオフモードに移行します。

明るさ検知オートオフ

夜間などに周囲の明るさを検知して自動的にオートオフモードに移行します。

補足

- オートオフモード中は電力をほとんど消費しませんが、印刷が始まるまで多少時間がかかります。オートオフモード中の消費電力については、P.240「仕様」を参照してください。
- オートオフモード中は、操作部に[Energy Saver Mode]と表示されます。プリンターを操作、印刷ジョブ送信時にオートオフモードから復帰します。
- 用紙づまりやエラーが発生しているとき、カバーが開いているときは、オートオフモードに移行しません。
- 省エネ機能を同時に設定している場合は、一番早く設定条件を満たしたものから有効となります。
- 各設定項目は、操作部の［メニュー］キーを押して［システム設定］から変更することができます。設定については、『ソフトウェアガイド』「システム設定メニュー」を参照してください。
- 各機能の初期値は、以下のとおりです。

設定項目	初期値
オートオフ設定	移行する（1 分）
オートオフスケジューラー	使用しない
明るさ検知オートオフ	無効

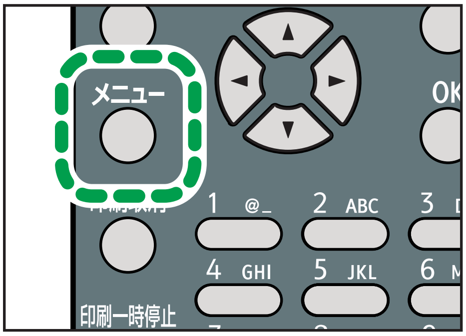
テスト印刷する

プリンターが正常に印刷できることを確認するために、テスト印刷を行います。

テスト印刷はプリンター本体の動作確認です。パソコンとの接続テストではありません。

ここでは、「システム設定リスト」の印刷手順を例に説明します。

1. ［メニュー］キーを押します。

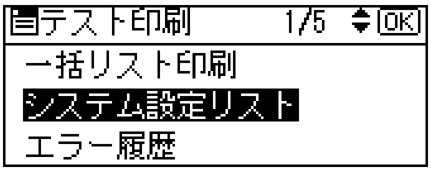


CED008

2. ［▼］［▲］キーを押して［テスト印刷］を選択し、［OK］キーを押します。



3. ［▼］［▲］キーを押して［システム設定リスト］を選択し、［OK］キーを押します。



4. ［メニュー］キーを押します。

補足

- 正常に印刷できないときは、操作部にエラーメッセージが表示されていないか確認してください。エラーメッセージが表示されている場合は、P.183「操作部にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

2. オプションを取り付ける

オプションの構成

オプションを取り付けると、プリンターの性能をさらに高め、機能を拡張することができます。各オプションについては、P.237「関連商品一覧」を参照してください。

⚠注意

- オプションの取り付けや取り外しをするときは、電源プラグをコンセントから抜いて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

補足

- 本文中ではオプションの略称を使用しています。

オプション取り付けの流れ

本体に複数のオプションを取り付ける場合は、以下の順に取り付けることをお勧めします。

1. 500 枚増設トレイユニット、250 枚増設トレイユニットを取り付ける。

給紙トレイとして本機の底部に取り付けます。最大 2 段まで取り付けることができます。500 枚増設トレイユニットと 250 枚増設トレイユニットを組み合わせて取り付けることもできます。500 枚増設トレイユニットを 2 段取り付けた場合、手差しトレイを含めて、以下の用紙枚数を同時にセットできます。

- IPSiO SP 4310：最大 1,600 枚
- IPSiO SP 4300：最大 1,350 枚

2. 拡張 HDD を取り付ける。

コントローラーボード内の装着スペースに拡張 HDD を取り付けます。

3. SDRAM モジュールを取り付ける。

コントローラーボード内の SDRAM モジュール用スロットに取り付けます。増設メモリは、128M バイトと 256M バイトの 2 種類があります。

4. 拡張インターフェースボードを取り付ける。

拡張無線 LAN ボード、拡張ギガビットイーサネットボード、拡張 1284 ボードのいずれかを取り付けます。

5. 拡張 SD カードを取り付ける。

1 種類のカードを使用する場合は、上側のスロットに差し込んでください。同時に 2 種類のカードを使用する場合は、どちらのスロットに差し込んでも使用できます。オプションの VM カードを使用する場合のみ下側のスロットを使用してください。

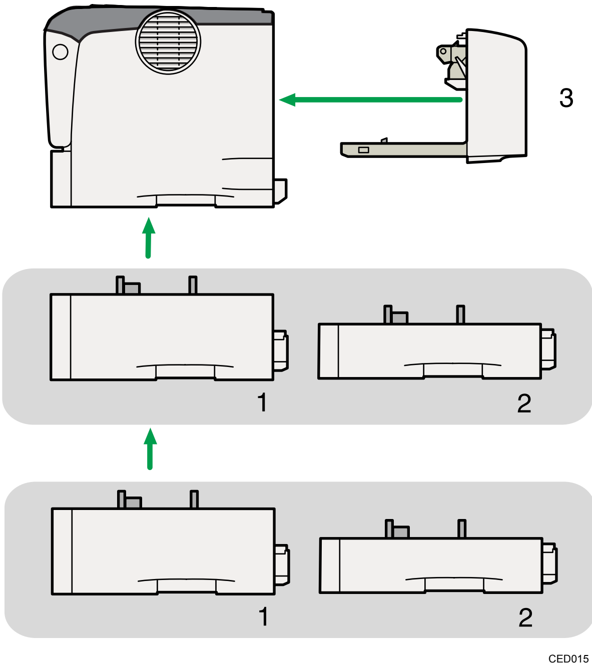
拡張 SD カードを同時に 3 つ以上使いたい場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

2

オプションの取り付け

オプションを取り付ける位置について説明します。

外部



1. **500 枚増設トレイユニット**

   本体の底部に取り付けます。普通紙で最大 500 枚の用紙をセットできます。最大で 2 段まで増設でき、取り付けた 500 枚増設トレイユニットは以下のように認識されます。

   - トレイを 1 段増設した場合：「トレイ 2」
   - トレイを 2 段増設した場合：「トレイ 2」、「トレイ 3」

   P.59「500 枚増設トレイユニット、250 枚増設トレイユニットを取り付ける」

2. **250 枚増設トレイユニット**

   本体の底部に取り付けます。普通紙で最大 250 枚の用紙をセットできます。最大で 2 段まで増設でき、取り付けた 250 枚増設トレイユニットは以下のように認識されます。

   - トレイを 1 段増設した場合：「トレイ 2」

- トレイを 2 段増設した場合：「トレイ 2」、「トレイ 3」

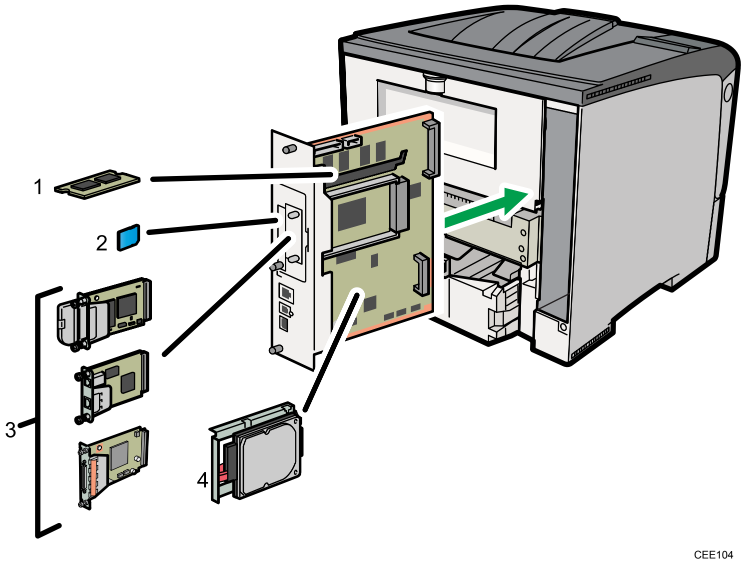
P.59「500 枚増設トレイユニット、250 枚増設トレイユニットを取り付ける」

3. 両面印刷ユニット

本体の背面に取り付けます。両面印刷が可能になります。

P.81「両面印刷ユニットを取り付ける」

内部



1. SDRAM モジュール

P.66「SDRAM モジュールを取り付ける」

2. 拡張 SD カード

P.78「拡張 SD カードを取り付ける」

3. 拡張インターフェースボード

P.71「拡張無線 LAN ボードを取り付ける」
P.73「拡張ギガビットイーサネットボードを取り付ける」
P.75「拡張 1284 ボードを取り付ける」

4. 拡張 HDD

P.62「拡張 HDD を取り付ける」

補足

- 各オプションの仕様については、P.240「仕様」を参照してください。

コントローラーボードを取り付けるときの注意

コントローラーボードの内部にオプションを装着するときは、引き抜いたコントローラーボードの取り付けに注意してください。

コントローラーボードを取り付けるときは、取っ手の部分（ボードの中央）を押し、確実に本体に押し込んでください。

2

重要

- **コントローラーボードが確実に取り付けられていないと、次のような現象が起こる可能性があります。**
    1. **操作部のランプがすべて点灯する**
    2. **操作部のランプが一切点灯しない**
    3. **操作部の画面に「サービスコール 670」と表示される**

500 枚増設トレイユニット、250 枚増設トレイユニットを取り付ける

500 枚増設トレイユニット、250 枚増設トレイユニットの取り付け方法は同じです。ここでは 500 枚増設トレイユニットを例に説明します。

2

⚠注意

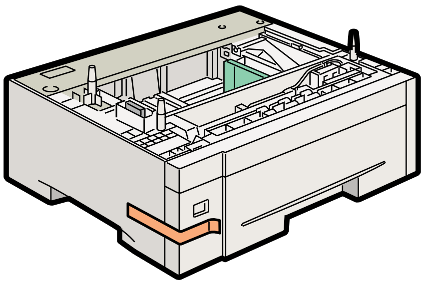
- IPSiO SP 4310 本体は約 17.5kg あります。
- IPSiO SP 4300 本体は約 15.8kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

重要

- **500 枚増設トレイおよび 250 枚増設トレイを使用する場合は、プリンタードライバーでの設定を変更しなければならないことがあります。詳しくは、『ドライバーインストール手順書』「オプション構成を設定する」を参照してください。**
- **500 枚増設トレイおよび 250 枚増設トレイは、必ず給紙トレイをセットしている状態でお使いください。**
- **本体の給紙トレイと増設トレイユニットの給紙トレイは、交換して使うことはできません。**

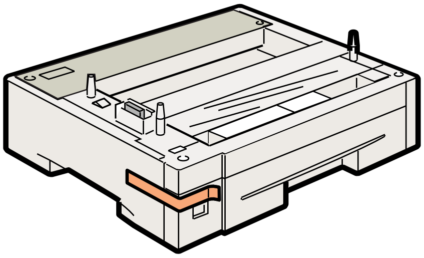
1. 同梱品を確認します。

   500 枚増設トレイユニット（給紙トレイ含む）



CED017

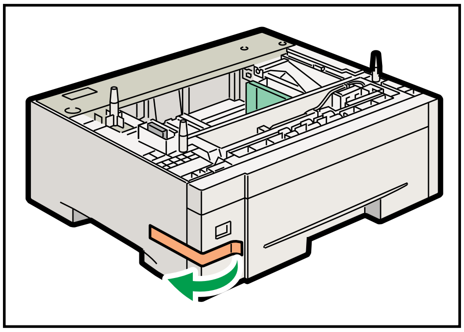
250 枚増設トレイユニット（給紙トレイ含む）



CED018

2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

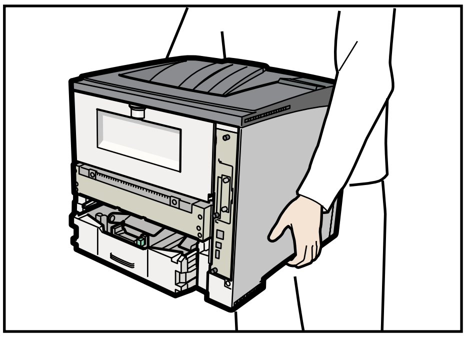
3. 固定用のテープを取り外します。



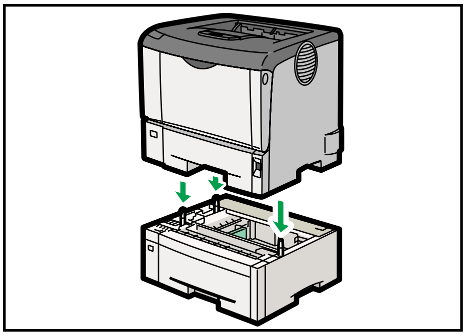
CED016

4. 500 枚増設トレイユニットまたは 250 枚増設トレイユニットを 2 段取り付けるときは、あらかじめ増設トレイ同士を積み重ねておきます。

5. 左右の取っ手をつかんで本機を持ち上げます。本機と増設トレイユニットの前面を合わせるようにして、増設トレイユニットの上に本機を静かに載せます。



CEE039



CEE080

2

6. **電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。**

7. **システム設定リストを印刷して、500 枚増設トレイユニットまたは 250 枚増設トレイユニットが正しく取り付けられたことを確認してください。**

補足

- 取り付けた 500 枚増設トレイユニットまたは 250 枚増設トレイユニットを使用するには、プリンタードライバーで追加したトレイを選択してください。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- 500 枚増設トレイユニットまたは 250 枚増設トレイユニットが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストの「システム設定リスト」を印刷して、「システム構成情報」の「接続機器」の欄を確認します。
    - トレイを 1 段増設した場合：増設給紙トレイ 2
    - トレイを 2 段増設した場合：増設給紙トレイ 2、増設給紙トレイ 3
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- システム設定リストの印刷手順は、P.52「テスト印刷する」を参照してください。
- 用紙をセットする方法について詳しくは、P.130「給紙トレイまたは増設トレイに用紙をセットする」を参照してください。
- 印刷位置がずれたときは、P.177「印刷位置を調整する」を参照してください。

拡張メモリーユニットを取り付ける

注意

- コントローラーボードをセットする箱の中に手を入れないでください。故障やけがの原因になります。

拡張 HDD を取り付ける

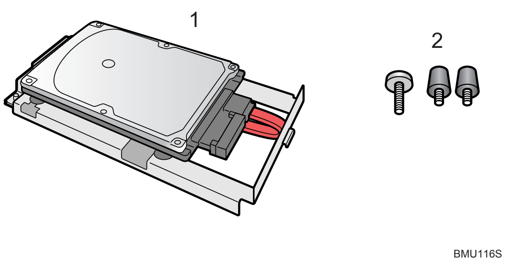
注意

- 拡張 HDD を取り付ける前に、必ず本機の電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。必ずコントローラーボードを取り付けてから本機の電源を入れてください。

重要

- **操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により拡張 HDD が破損するおそれがあります。**
- **拡張 HDD に物理的衝撃を与えないでください。**
- **取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。**
- **新しい拡張 HDD を使用する場合は、プリンタードライバーでの設定を変更しなければならないことがあります。詳しくは、『ドライバーインストール手順書』「オプション構成を設定する」を参照してください。**

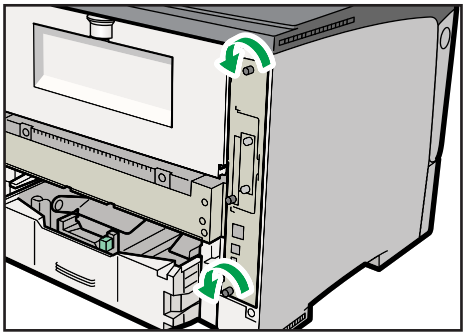
1. 同梱品を確認します。



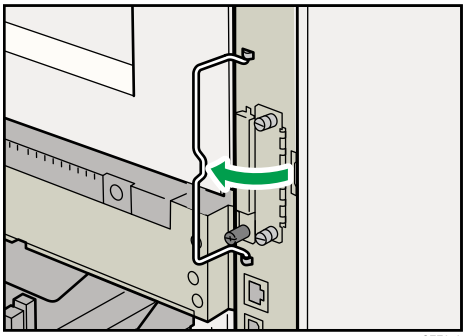
1. 拡張 HDD
2. ねじ 3 本

2. 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

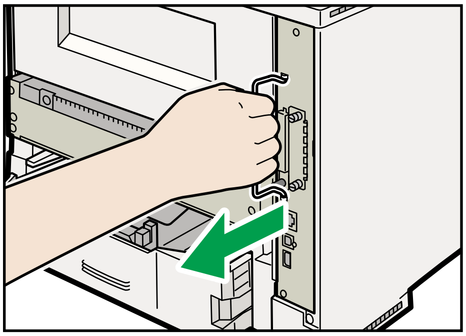
3. コントローラーボードを固定しているコインねじ 2 本を取り外します。



4. コントローラーボードの取っ手を起こします。



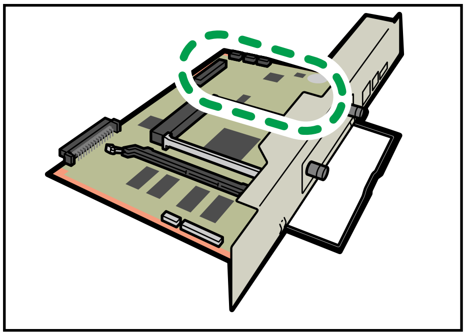
5. 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。



6. コントローラーボードを机などの平らな場所に置きます。

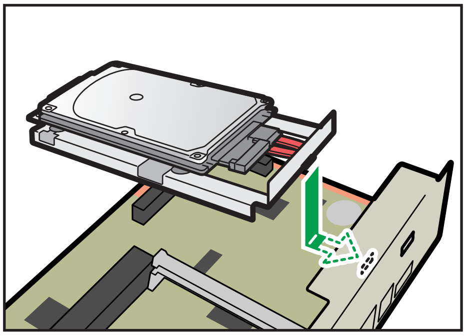
拡張 HDD は以下のイラストに示した場所に取り付けます。

2



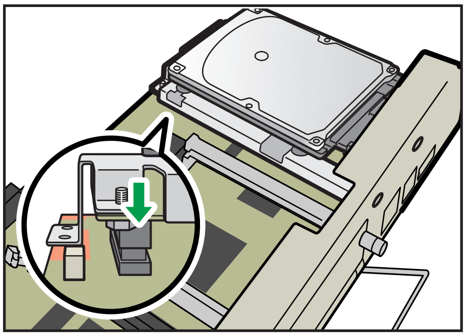
CEE139

7. 拡張 HDD のフックを、コントローラーボードの穴に引っ掛けます。



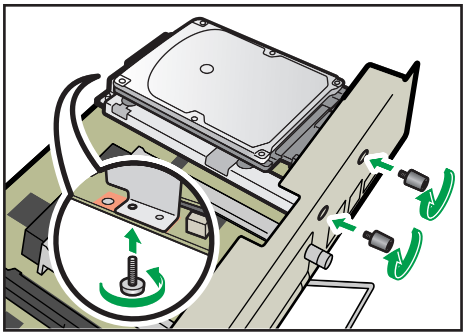
CEE105

8. 拡張 HDD のコネクターをコントローラーボードに差し込みます。



CEE140

9. 2本のコインねじを締め拡張HDDの前部を固定します。3本目のねじは、コントローラーボードの下側からねじを差し込み拡張HDDの後部を固定します。

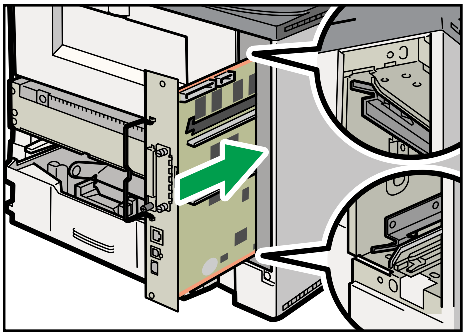


CEE141

10. SDRAMモジュールを取り付ける場合は、コントローラーボードをセットしないで、SDRAMモジュールの取り付け手順に進んでください。

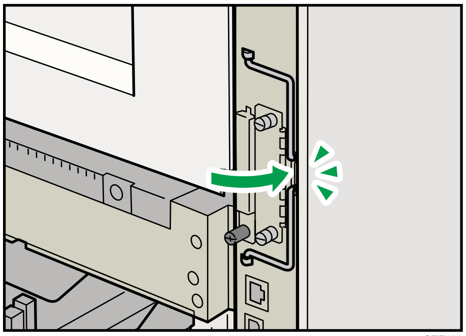
SDRAMモジュールの取り付け方法は、P.66「SDRAMモジュールを取り付ける」を参照してください。

11. コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。上部のレールは▽マークを目印にします。



CEE059

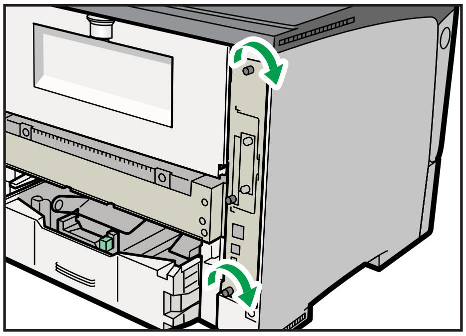
12. コントローラーボードの取っ手をカチッと音がする位置まで押し込みます。



CEE106

2

13. コインねじ 2 本を締め、コントローラーボードを固定します。



CEE138

拡張 HDD の設置が完了したら、拡張 HDD に同梱されている SD カードを本機に装着してください。装着方法については、P.78「拡張 SD カードを取り付ける」を参照してください。

14. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

15.「システム設定リスト」を印刷して、拡張 HDD が正しく取り付けられたことを確認します。

補足

- 拡張 HDD が正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「ハードディスク」と記載されます。
- システム設定リストの印刷手順は、P.52「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- コントローラーボードの取り付けに注意が必要です。詳しくは、P.58「コントローラーボードを取り付けるときの注意」を参照してください。

SDRAM モジュールを取り付ける

⚠注意

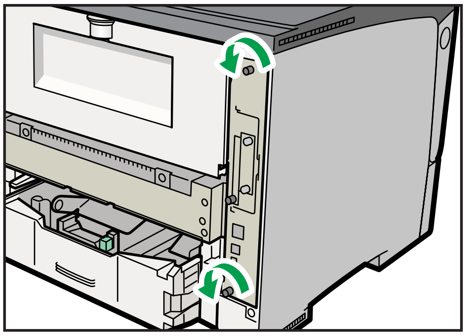
⃠	• SDRAM モジュールを取り付ける前に、必ず本機の電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。必ずコントローラーボードを取り付けてから本機の電源を入れてください。

重要

- **SDRAM モジュールに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。**
- **SDRAM モジュールに物理的衝撃を与えないでください。**

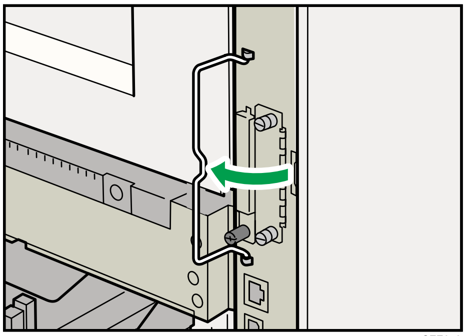
- 取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。
- 新しい SDRAM モジュールを使用する場合は、プリンタードライバーでの設定を変更しなければならないことがあります。詳しくは、『ドライバーインストール手順書』「オプション構成を設定する」を参照してください。

1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. コントローラーボードを固定しているコインねじ 2 本を取り外します。



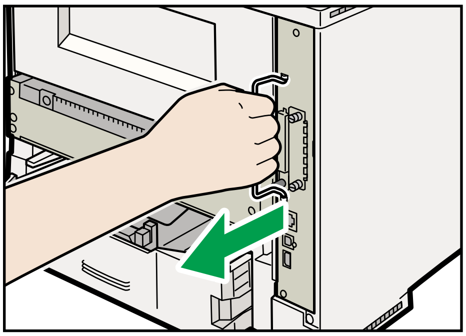
CEE137

3. コントローラーボードの取っ手を起こします。



CEE078

4. 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。

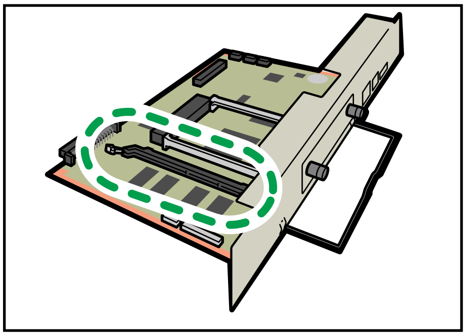


CEE110

2

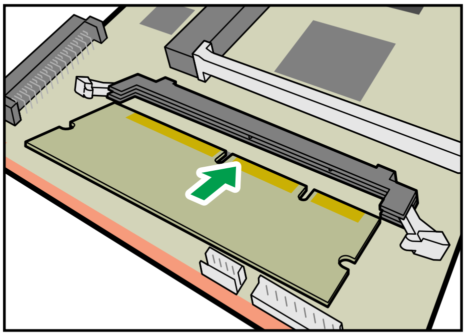
5. コントローラーボードを机などの平らな場所に置きます。

SDRAM モジュールは以下のイラストに示したスロットに設置します。



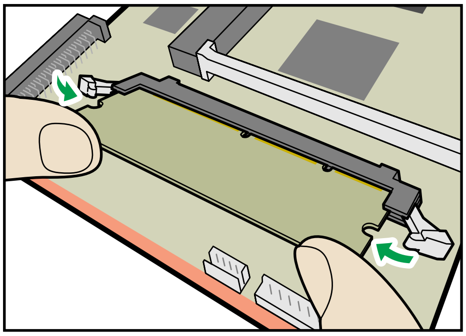
CEE142

6. 差し込み口の左右にあるツメを広げ、SDRAM モジュールの切り欠きを差し込み口の凸部に合わせ、SDRAM モジュールを差し込みます。



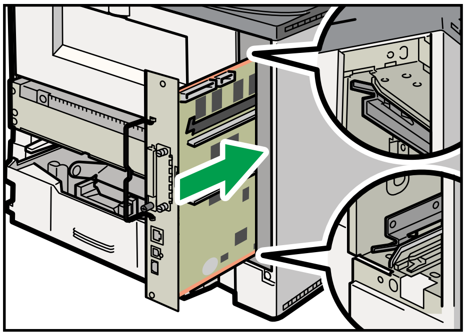
CEC013

7. カチッと音がするまで SDRAM モジュールを押し込みます。



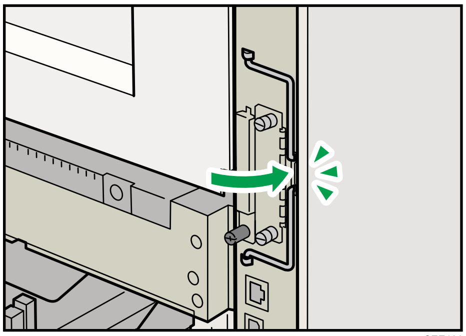
CEC014

8. コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。上部のレールは▽マークを目印にします。



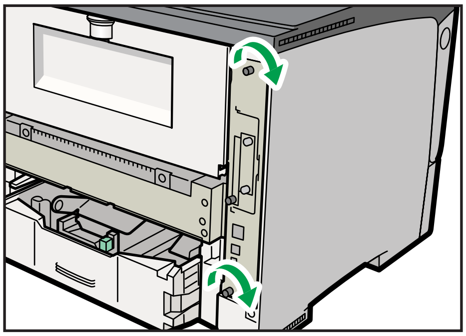
CEE059

9. コントローラーボードの取っ手をカチッと音がする位置まで押し込みます。



CEE106

10. コインねじ 2 本を締め、コントローラーボードを固定します。



CEE138

11. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

12. 「システム設定リスト」を印刷して、SDRAM モジュールが正しく取り付けられたことを確認します。

補足

- SDRAM モジュールが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「搭載

メモリ」の欄に搭載しているメモリーの合計値が記載されます。SDRAM モジュールの合計値は以下のとおりです。システム設定リストの印刷手順は、P.52「テスト印刷する」を参照してください。

標準	増設	合計値
256MB	128MB	384MB
	256MB	512MB

- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- コントローラーボードの取り付けに注意が必要です。詳しくは、P.58「コントローラーボードを取り付けるときの注意」を参照してください。

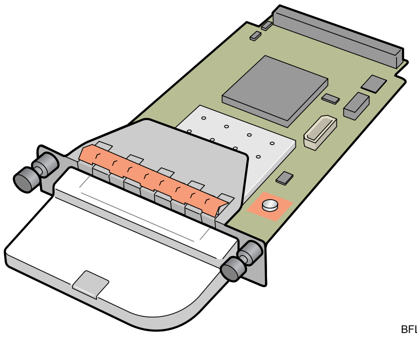
インターフェースユニットを取り付ける

拡張無線 LAN ボードを取り付ける

重要

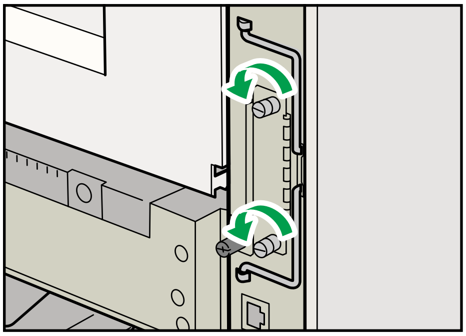
- 操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により拡張無線 LAN ボードが破損するおそれがあります。
- 拡張無線 LAN ボードに物理的衝撃を与えないでください。
- 取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。

1. 同梱品を確認します。



BFL301S

2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
3. コインねじ 2 本を外し、スロットカバーを取り外します。



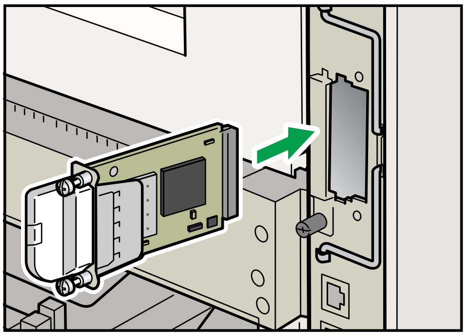
CEE147

スロットカバーは取り外して使用してください。

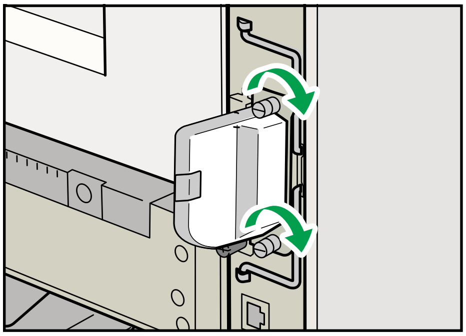
2

2

4. 拡張無線 LAN ボードを奥まで差し込みます。



5. ねじ 2 本を締め、拡張無線 LAN ボードを固定します。



6. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

7. 「システム設定リスト」を印刷して、拡張無線 LAN ボードが正しく取り付けられたことを確認します。

補足

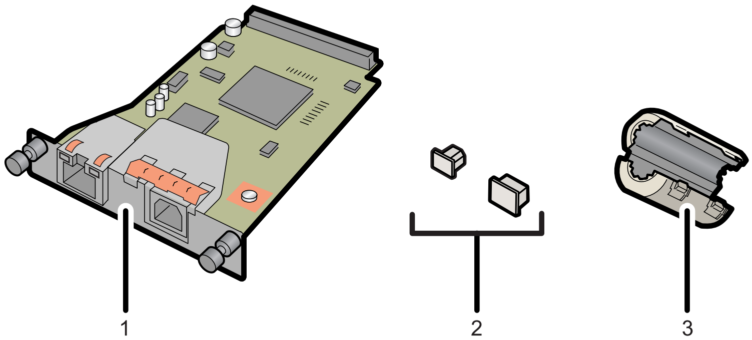
- 拡張無線 LAN ボードが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「無線 LAN」と記載されます。システム設定リストの印刷手順は、P.52「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 拡張無線 LAN ボードをお使いになる前に、本機の操作部から設定する必要があります。詳しくは、P.99「拡張無線 LAN を使用する」を参照してください。
- 取り外した部品の廃棄などのお取り扱いに関しましては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、P.234「使用済み製品の回収とリサイクルについて」を参照してください。

拡張ギガビットイーサネットボードを取り付ける

重要

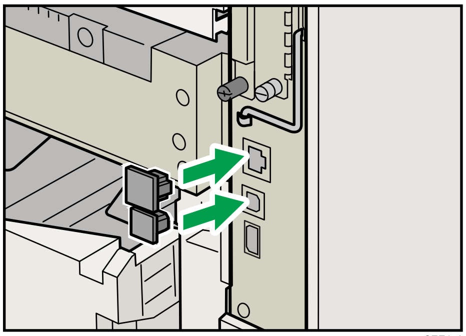
- 拡張ギガビットイーサネットボードを装着すると、プリンター本体標準のイーサネットポートとUSBポートは使用できなくなります。拡張ギガビットイーサネットボードのイーサネットポートとUSBポートをご利用ください。
- 拡張ギガビットイーサネットボードに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- 拡張ギガビットイーサネットボードに物理的衝撃を与えないでください。
- 取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。

1. 同梱品を確認します。

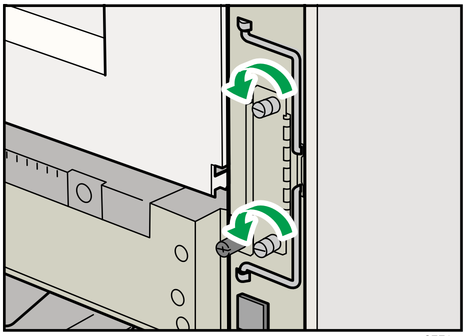


1. 拡張ギガビットイーサネットボード
2. 接続防止用キャップ（イーサネットポート用、USBポート用各1個）
3. イーサネットケーブル用フェライトコア1個

2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
3. 本体標準のイーサネットポートとUSBポートからケーブルを抜き、接続防止用キャップをそれぞれはめ込みます。



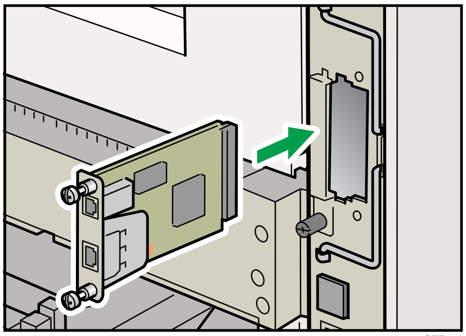
4. **コインねじ 2 本を外し、スロットカバーを取り外します。**



CEE144

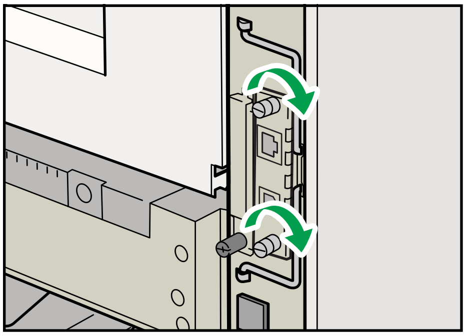
スロットカバーは取り外して使用してください。

5. **拡張ギガビットイーサネットボードを奥まで差し込みます。**



CEE146

6. **ねじ 2 本を締め、拡張ギガビットイーサネットボードを固定します。**



CEE145

ケーブルを拡張ギガビットイーサネットボードに接続してください。拡張ギガビットイーサネットボードへのケーブルの接続方法は、P.85「イーサネットケーブルで接続する」または、P.88「USB ケーブルで接続する」を参照してください。

7. **電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。**

8. **「システム設定リスト」を印刷して、拡張ギガビットイーサネットボードが正しく取り付けられたことを確認します。**

補足

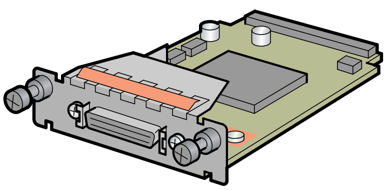
- 拡張ギガビットイーサネットボードが正しく取り付けられたかどうかは、「システム構成情報」の項目で確認できます。拡張ギガビットイーサネットボードが正しく取り付けられているとき、「接続デバイス」の欄に「ギガビットイーサネット」と記載されます。システム設定リストの印刷手順は、P.52「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 拡張ギガビットイーサネットボードをお使いになる前に、本機の操作部から設定する必要があります。詳しくは、P.91「イーサネットを使用する」を参照してください。
- 取り外した部品の廃棄などのお取り扱いに関しましては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、P.234「使用済み製品の回収とリサイクルについて」を参照してください。

拡張 1284 ボードを取り付ける

重要

- **操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により拡張 1284 ボードが破損する恐れがあります。**
- **拡張 1284 ボードに物理的衝撃を与えないでください。**
- **拡張 1284 ボードへの接続には、ハーフピッチ 36 ピンまたはフルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルを使用してください。フルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルの場合は、変換コネクターを使用します。**

1. 同梱品を確認します。

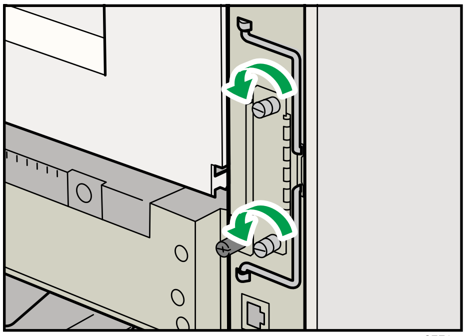


BFL302S

2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2

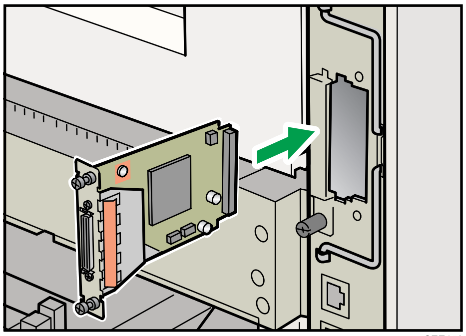
3. コインねじ 2 本を外し、スロットカバーを取り外します。



CEE147

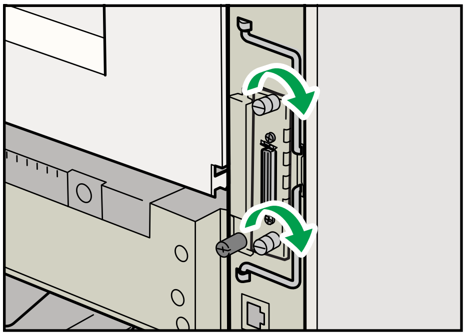
スロットカバーは取り外して使用してください。

4. 拡張 1284 ボードを奥まで差し込みます



CEE150

5. ねじ 2 本を締め、拡張 1284 ボードを固定します。



CEE151

6. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

7.「システム設定リスト」を印刷して、拡張 1284 ボードが正しく取り付けられたことを確認します。

補足

- 拡張 1284 ボードが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「パラレルインターフェース」と記載されます。
- システム設定リストの印刷手順は、P.52「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 取り外した部品の廃棄などのお取り扱いに関しましては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、P.234「使用済み製品の回収とリサイクルについて」を参照してください。

2

拡張 SD カードを取り付ける

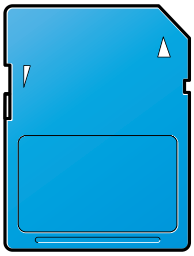
⚠注意

- SD カードは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カードを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

重要

- **拡張 SD カードに物理的衝撃を与えないでください。**
- **オプションの VM カードを使用する場合は、256MB の SDRAM モジュールを増設してください。**

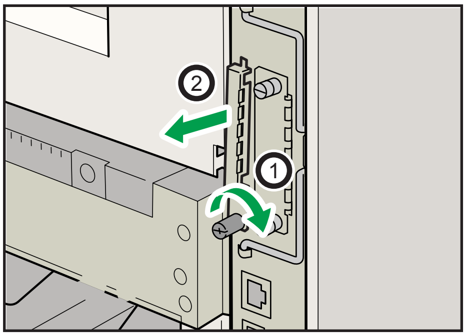
1. 同梱品を確認します。



BFL308S

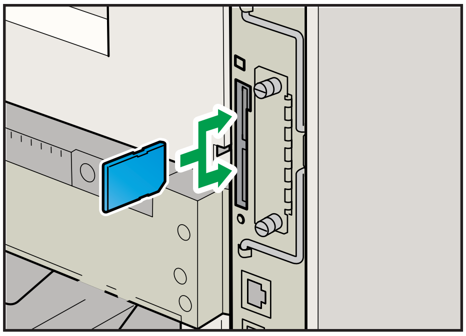
2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

3. コインねじを外し（①）、拡張 SD カード用のスロットのカバーを取り外します（②）。



CEE135

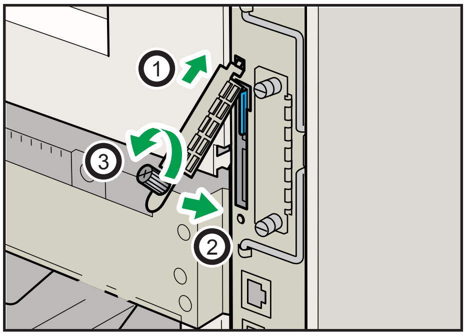
4. カチッと音がするまで、拡張 SD カードをスロットに差し込みます。



CEE152

1 種類のカードを使用する場合は、上側のスロットに差し込んでください。同時に 2 種類のカードを使用する場合は、どちらのスロットに差し込んでも使用できます。オプションの VM カードを使用する場合のみ下側のスロットを使用してください。

5. 拡張 SD カード用のスロットカバーをスロット上部（①）の穴に差し込んでから、スロット下部（②）をあわせ、コインねじで固定します（③）。



CEE077

6. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

補足

- 本機を使用中は、装着したカードに触れないでください。少し押しただけで外れてしまうことがあります。必ず拡張 SD カード用のスロットカバーを取り付けてください。
- 装着した拡張 SD カードが正しく取り付けられたかどうかは、操作部に表示されるメニューを確認します。装着した拡張 SD カードによって、操作部に表示されるメニューが異なります。
    - 拡張 HDD に付属されているカード：

      ［セキュリティー管理］の［メモリー自動消去設定］を［する］に設定すると、［メモリー内残存データ状態確認］が表示されます。
    - 個人認証システム：［セキュリティー管理］に［拡張認証管理］が表示されます。
    - エミュレーションカード、PS3 カード、PDF ダイレクトプリントカード、PCL カード：

［補助メニュー］の［エミュレーション呼び出し］に装着したエミュレーションカードの名称が表示されます。

- VM カード: 操作部で［機能切替］キーを押すと、［JavaTM/X］が表示されます。

- 正しく取り付けられない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 本体操作部を使って設定した内容を SD カードに保存し、同じ機種や他の弊社製プリンターに設定内容を引き継ぐことができます。詳細は『ソフトウェアガイド』「本機での設定内容を他のプリンターで使う」を参照してください。

両面印刷ユニットを取り付ける

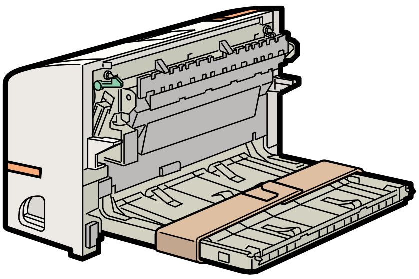
⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

重要

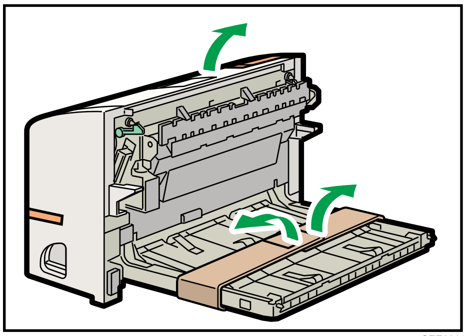
- **オプションの500枚増設トレイユニットや250枚増設トレイユニットは、両面印刷ユニットを取り付ける前に取り付けてください。**
- **両面印刷ユニットを取り付けると、給紙トレイカバーは装着できません。**

1. 同梱品を確認します。

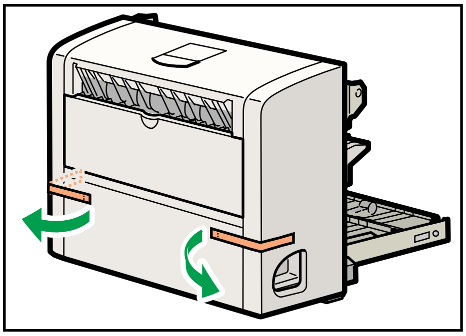


CEE092

2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
3. 固定用テープと固定材を取り外します。

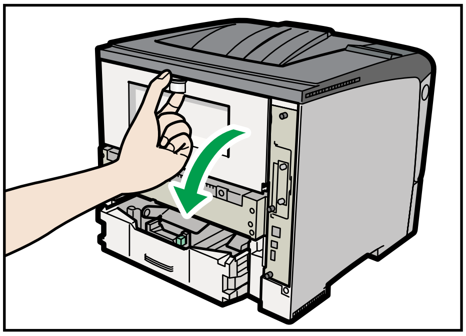


CEE093



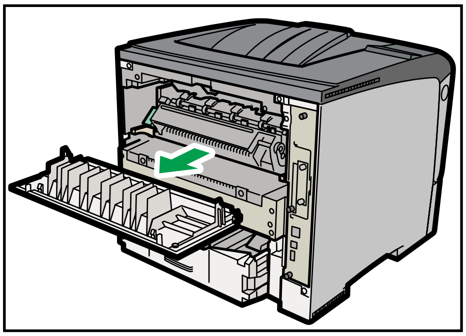
CEE081

4. 本機の背面カバーを開けます。



CEE040

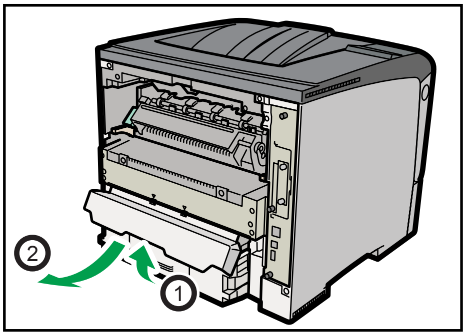
5. 背面カバーを水平方向に取り外します。



CEE041

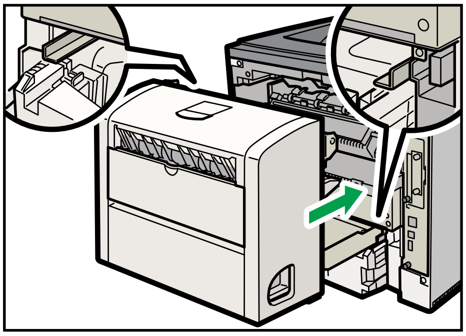
取り外した背面カバーは使用しません。

6. 給紙トレイカバーを取り付けている場合は、給紙トレイカバー下部を少し引き上げ（①)、本体背面から取り外します（②)。



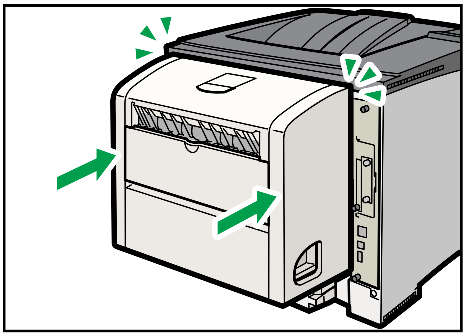
CEE043

7. 両面印刷ユニットを本体背面のレールに差し込みます。



CEE057

8. 両面印刷ユニットをしっかりと本機に押し込みます。



CEE050

9. 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

10. 「システム設定リスト」を印刷して、両面印刷ユニットが正しく取り付けられたことを確認します。

補足

- 両面印刷ユニットが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続機器」の欄に「両面ユニット」と記載されます。
- システム設定リストの印刷手順は、P.52「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 印刷位置がずれたときは、P.177「印刷位置を調整する」を参照してください。
- 両面印刷ユニットの取り外しについては、P.209「用紙がつまったとき」を参照してください。
- 取り外した部品の廃棄などのお取り扱いに関しましては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、P.234「使用済み製品の回収とリサイクルについて」を参照してください。

3. パソコンとの接続

イーサネットケーブルで接続する

ハブ（HUB）などのネットワーク機器を準備してから、本機にイーサネットケーブルを接続します。

本機のイーサネットボード（ポート）に、100BASE-TX または 10BASE-T のケーブルを接続してください。1000BASE-T 対応の拡張ギガビットイーサネットボードは、オプションとして用意されています。

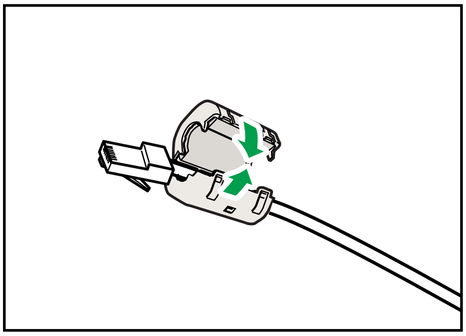
3

★重要

- **イーサネットケーブルは同梱されていません。ご使用になるネットワーク環境に合わせて別途ご用意ください。**
- **拡張ギガビットイーサネットボードを装着すると、本体標準のイーサネットポートとUSB ポートは使用できなくなります。**

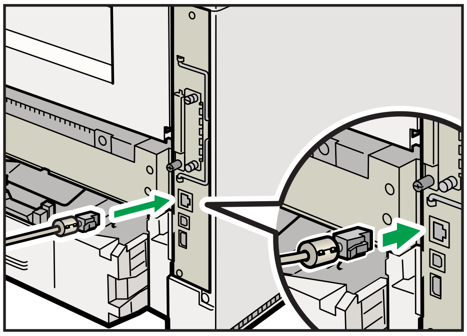
本体標準のイーサネットポートを使用する場合

1. **イーサネットケーブルにフェライトコアを取り付けます。**



CEE153

2. **プリンター本体背面のイーサネットポートにケーブルを接続します。**



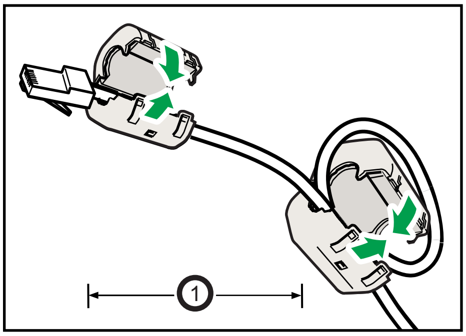
CEE103

3. ケーブルのもう一方のコネクターをハブ（HUB）などのネットワーク機器に接続します。

拡張ギガビットイーサネットボードを使用する場合

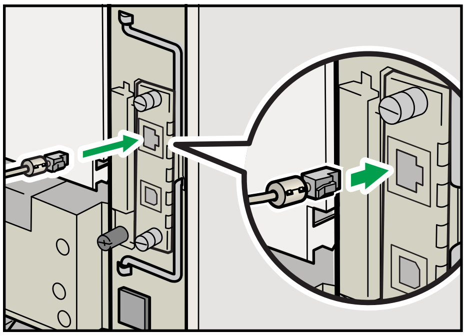
1. イーサネットケーブルにフェライトコアを取り付けます。

コネクターの根元にフェライトコアを取り付けます。また、コネクターの根元から10cm（①）離したところにケーブルで輪を作り、フェライトコアを取り付けます。



CEE154

2. 本機に装着した拡張ギガビットイーサネットボードのポートにケーブルを接続します。


CEE155

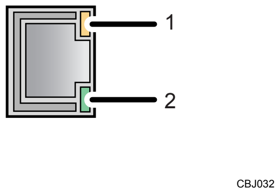
3. ケーブルのもう一方のコネクターをハブ（HUB）などのネットワーク機器に接続します。

補足

- 拡張ギガビットイーサネットボードの取り付け方法については、P.73「拡張ギガビットイーサネットボードを取り付ける」を参照してください。
- ネットワーク環境の設定については、P.91「イーサネットを使用する」を参照してください。

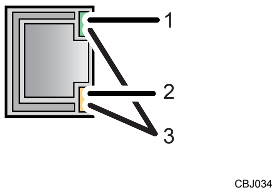
LED の見かた

本体標準のイーサネットポート



1. 100BASE-TX 動作時は上側の LED が黄点灯し、10BASE-T 動作時は消灯します。
2. ネットワークに正常に接続していると下側の LED が緑点灯します。

拡張ギガビットイーサネットポート



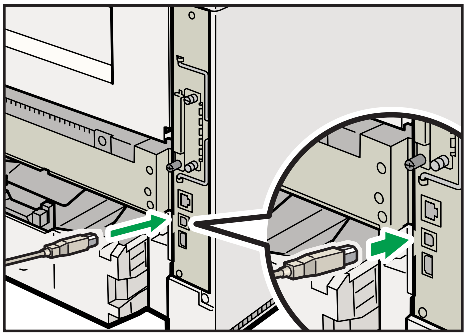
1. 10BASE-T 動作時は上側の LED が緑点灯します。
2. 100BASE-TX 動作時は下側の LED が黄点灯します。
3. 1000BASE-T 動作時は両方の LED が点灯します。

USB ケーブルで接続する

重要

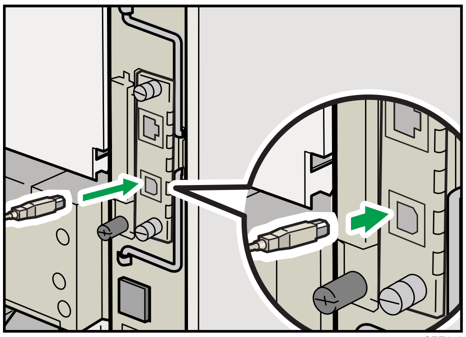
- USB 接続は、Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2、Mac OS 9、Mac OS X 10.3.3 以降に対応しています。
- Macintosh では、本体標準の USB ポートのみ対応しています。Mac OS 9 のサポート速度は USB1.1 相当です。
- USB ケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。
- インターフェースケーブルをお買い求めの際は、P.237「関連商品一覧」を参照してください。

1. プリンター本体の USB ポート B に、USB ケーブルの小さい方のコネクターを接続します。



CEE102

2. 拡張ギガビットイーサネットボードを使用する場合は、装着した拡張ギガビットイーサネットボードの USB ポートに、USB ケーブルの小さい方のコネクターを接続します。



CEE156

3. もう一方をパソコンの USB ポート、または USB ハブ（HUB）などに接続します。

パソコンにプラグアンドプレイ画面が表示されます。詳しくは、『ドライバーインストール手順書』「USB 接続で使う」を参照してください。

補足

- プリンターが不正なデバイスとして Windows に認識されてしまった場合、その対処方法として『ドライバーインストール手順書』「USB 接続がうまくいかないとき」を参照してください。
- 拡張ギガビットイーサネットボードの取り付け方法については、P.73「拡張ギガビットイーサネットボードを取り付ける」を参照してください。

パラレルケーブルで接続する

パソコンとプリンターをパラレル接続するには、インターフェースケーブルを使用します。インターフェースケーブルはプリンターに同梱されていません。接続するパソコンによって使用するケーブルが異なりますので、ご使用のパソコンをご確認の上、インターフェースケーブルを用意してください。インターフェースケーブルについては、P.237「関連商品一覧」を参照してください。

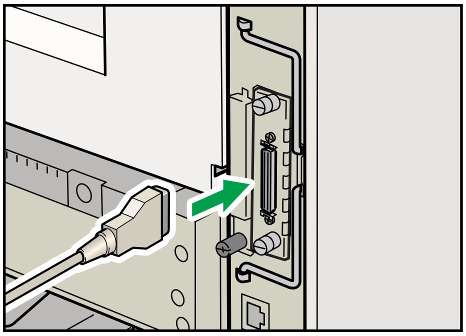
重要

3

- **指定のインターフェースケーブルをお使いください。他のケーブルを使うと電波障害を起こすことがあります。**
- **拡張 1284 ボードへの接続には、ハーフピッチ 36 ピン、またはフルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルを使用してください。フルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルの場合は、変換コネクターを使用します。**

1. プリンター本体とパソコンの電源を切ります。

2. インターフェースケーブルを拡張 1284 ボードのインターフェースコネクターに差し込みます。



CEE157

3. パソコンのインターフェースコネクターにインターフェースケーブルのもう一方のコネクターを接続し、固定します。

次にプリンタードライバーをインストールします。詳しくは、『ドライバーインストール手順書』「パラレル接続で使う」を参照してください。

補足

- 拡張 1284 ボードの取り付け方法については、P.75「拡張 1284 ボードを取り付ける」を参照してください。

4. インターフェース設定

イーサネットや無線 LAN を使用する場合の設定方法を説明します。

イーサネットを使用する

イーサネットケーブルやオプションの拡張無線 LAN ボードを使用して本体をネットワークに接続する場合は、使用するネットワーク環境に応じて、必要な項目を操作部で設定してください。

重要

- **［ネットワーク設定］メニューで設定できる項目と、工場出荷時の値は以下のとおりです。**
    - **本体 IPv4 アドレス：**

      自動的に取得（DHCP）：Off

      IPv4 アドレス：11.22.33.44

      IPv4 サブネットマスク：0.0.0.0

      IPv4 ゲートウェイアドレス：0.0.0.0
    - **IPv6 ステートレス設定：有効**
    - **IPsec：無効**
    - **有効プロトコル：**

      IPv4：有効

      IPv6：無効

      SMB：有効

      AppleTalk：有効
    - **イーサネット速度：自動設定**
    - **イーサネット用 IEEE 802.1X 認証：無効**
    - **IEEE 802.1X 認証初期化：－**
    - **インターフェース選択：イーサネット**
    - **SSL/TLS 通信許可設定：暗号文優先**
- **［ネットワーク設定］メニューでの設定が済みましたら、セキュリティーを設定してください。セキュリティーの設定については、管理者にお問い合わせください。**

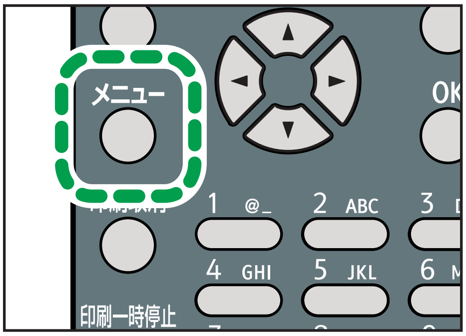
補足

- IPv4 を利用できる環境で IPv4 アドレスに関する設定をする場合は、Web Image Monitor も使用できます。詳しくは、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。

- DHCP 環境で使用する場合、IPv4 アドレス、サブネットマスク、IPv4 ゲートウェイアドレスは自動的に設定されます。
- [イーサネット速度] は必要に応じて設定してください。詳しくは、『ソフトウェアガイド』「インターフェース設定メニュー」を参照してください。

IP アドレスを手動で指定する

1. 操作部の [メニュー] キーを押します。

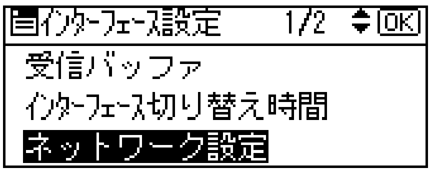


CED008

2. [▼] [▲] キーを押して [インターフェース設定] を選択し、[OK] キーを押します。



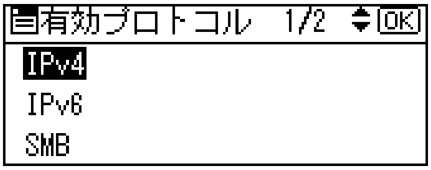
3. [▼] [▲] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。



4. [▼] [▲] キーを押して [有効プロトコル] を選択し、[OK] キーを押します。

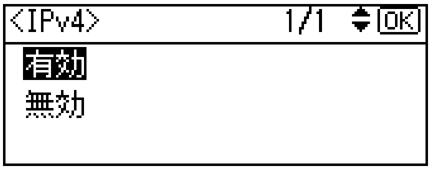


5. [▼] [▲] キーを押して使用するプロトコルを選択し、[OK] キーを押します。



ここでは IPv4 を有効にする例で説明します。

6. [▼] [▲] キーを押して [有効] を選択し、[OK] キーを押します。

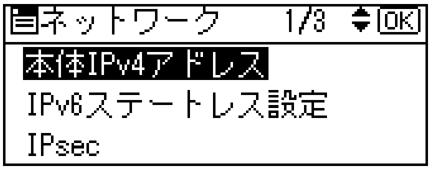


ご使用にならないプロトコルは [無効] にしておくことをお勧めします。

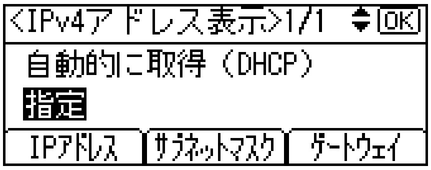
7. 使用するプロトコルを続けて設定します。

8. 有効にするプロトコルの設定が終了したら、[キャンセル] キーを押します。

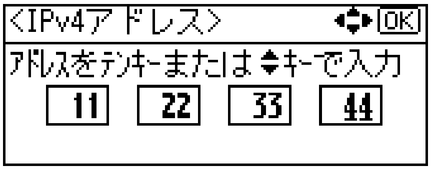
9. [▼] [▲] キーを押して [本体 IPv4 アドレス] を選択し、[OK] キーを押します。



10. [▼] [▲] キーを押して [指定] を選択し、[IP アドレス] の選択キーを押します。



11. フィールドの値を変更します。

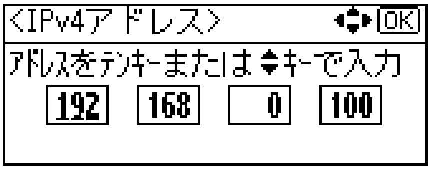


設定する IPv4 アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

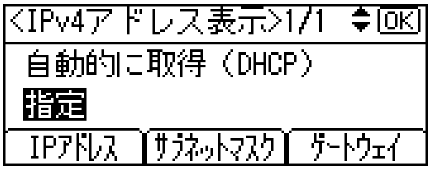
- [▼] [▲] キーを押し続けると、値が 10 ずつ増減します。

- ［▶］［◀］キーを押すと、フィールドを移動します。
- 11.22.33.44 は使用できません。指定しないでください。

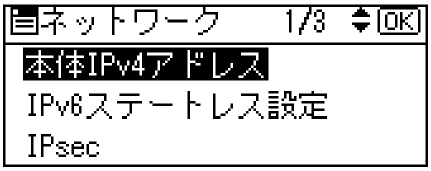
12. すべてのフィールドに値を入力して、［OK］キーを押します。



13. ［OK］キーを押して、本体の IPv4 アドレスを確定させます。



14. 設定が確定し、ネットワーク設定画面に戻ったら、［OK］キーを押します。



15. 続けて、サブネットマスク、IPv4 ゲートウェイアドレスを設定します。

［サブネットマスク］、［ゲートウェイ］の選択キーを押し、IPv4 アドレスと同様の手順で設定します。

16. ［メニュー］キーを押します。

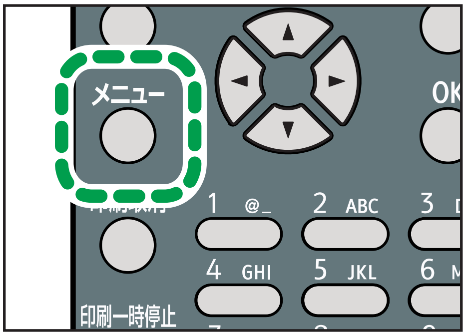
17.「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。

補足

- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.52「テスト印刷する」を参照してください。

IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

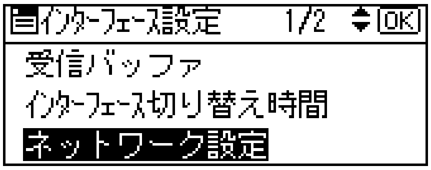


CED008

2. ［▼］［▲］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。



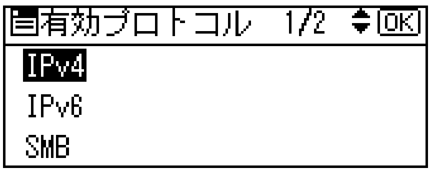
3. ［▼］［▲］キーを押して［ネットワーク設定］を選択し、［OK］キーを押します。



4. ［▼］［▲］キーを押して［有効プロトコル］を選択し、［OK］キーを押します。

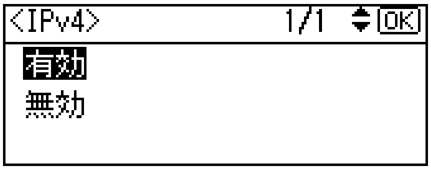


5. ［▼］［▲］キーを押して使用するプロトコルを選択し、［OK］キーを押します。



ここでは IPv4 を有効にする例で説明します。

6. [▼] [▲] キーを押して [有効] を選択し、[OK] キーを押します。

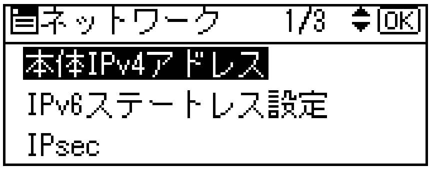


ご使用にならないプロトコルは [無効] にしておくことをお勧めします。

7. 使用するプロトコルを続けて設定します。

8. 有効にするプロトコルの設定が終了したら、[キャンセル] キーを押します。

9. [▼] [▲] キーを押して [本体 IPv4 アドレス] を選択し、[OK] キーを押します。



10. [▼] [▲] キーを押して [自動的に取得 (DHCP)] を選択し、[OK] キーを押します。



11. [メニュー] キーを押します。

12. 「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。

補足

- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.52「テスト印刷する」を参照してください。

通信速度を設定する

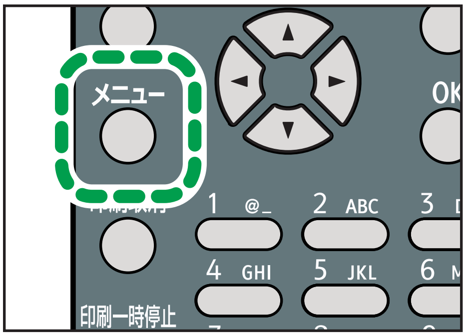
イーサネットの通信速度は、ご使用の環境（接続先の機器）を確認して、以下の表の○印の組み合わせになるように設定してください。

接続先	本体側				
	10BASE-T 半二重固定 [10Mbps 半二重固定]	10BASE-T 全二重固定 [10Mbps 全二重固定]	100BASE-TX 半二重固定 [100Mbps 半二重固定]	100BASE-TX 全二重固定 [100Mbps 全二重固定]	自動選択 [自動設定]
10BASE-T 半二重固定	○	-	-	-	○
10BASE-T 全二重固定	-	○	-	-	-
100BASE-TX 半二重固定	-	-	○	-	○
100BASE-TX 全二重固定	-	-	-	○	-
オートネゴシエーション（自動選択）	○	-	○	-	○

重要

- **インターフェースの種別が一致しないと接続できません。**
- **通常は［自動設定］を選択してください。**

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

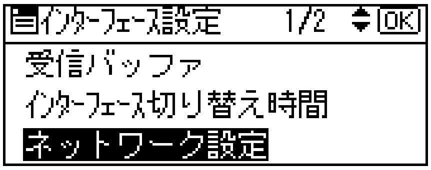


CED008

2. ［▼］［▲］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。



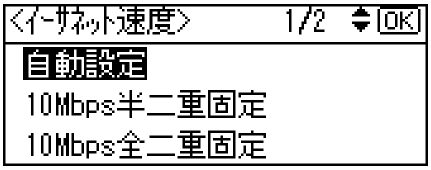
3. [▼] [▲] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。



4. [▼] [▲] キーを押して [イーサネット速度] を選択し、[OK] キーを押します。



5. [▼] [▲] キーを押して設定したい通信速度を選択し、[OK] キーを押します。



6. [メニュー] キーを押します。

7. 「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。

補足

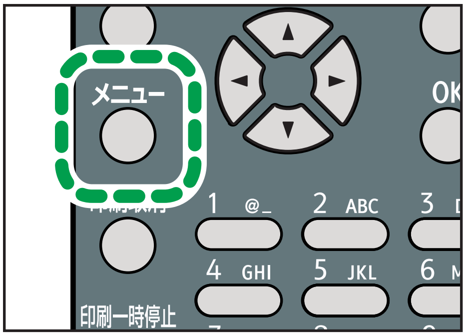
- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.52「テスト印刷する」を参照してください。

拡張無線 LAN を使用する

重要

- ［無線 LAN］メニューで設定できる項目と、工場出荷時の値は以下のとおりです。
    - 通信モード：インフラストラクチャー
    - SSID 設定：入力値設定なし
    - アドホックチャンネル：11（IEEE 802.11b/g）、36（IEEE 802.11a）
    - セキュリティー方式選択：しない
    - 電波状態
    - 設定値初期化
- 無線 LAN を使用するには、［インターフェース設定］で［無線 LAN］を選択し、［ネットワーク設定］で以下の項目を設定してください。設定方法については、P.91「イーサネットを使用する」を参照してください。
    - ［IPv4 アドレス］
    - ［サブネットマスク］
    - ［IPv4 ゲートウェイアドレス］
    - ［有効プロトコル］
- 拡張無線 LAN は、イーサネットインターフェースと同時に使用することはできません。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。



CED008

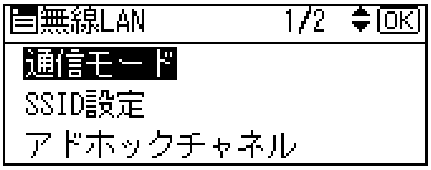
2. ［▼］［▲］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。



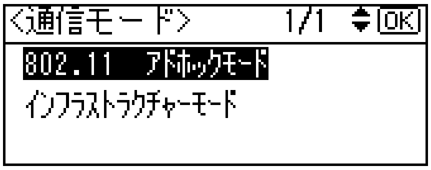
3. [▼] [▲] キーを押して [無線 LAN] を選択し、[OK] キーを押します。



4. [▼] [▲] キーを押して [通信モード] を選択し、[OK] キーを押します。



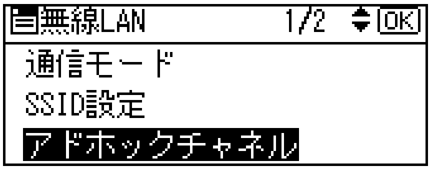
5. [▼] [▲] キーを押して使用する通信モードを選択し、[OK] キーを押します。



6. 選択した通信モードに応じた設定を行います。

[802.11 アドホックモード] を選択した場合

1. 通信に使用するチャンネルを設定します。[▼] [▲] キーを押して [アドホックチャネル] を選択し、[OK] キーを押します。



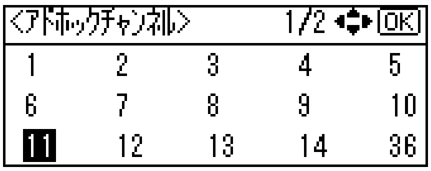
設定するチャンネルはネットワーク管理者に確認してください。

2. スクロールキーを押してチャンネル数値を入力し、[OK] キーを押します。

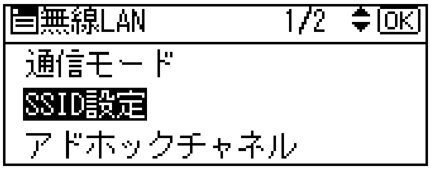
使用する無線 LAN の規格に合わせてチャンネルを選択してください。

IEEE 802.11 b/g を使用する場合：1～14

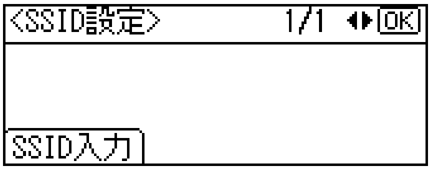
IEEE 802.11a を使用する場合：36、40、44、48



3. 通信に使用する SSID を設定します。[▼] [▲] キーを押して [SSID 設定] を選択し、[OK] キーを押します。



4. [SSID 入力] の選択キーを押します。



設定する SSID はネットワーク管理者に確認してください。

5. テンキーで文字を入力します。



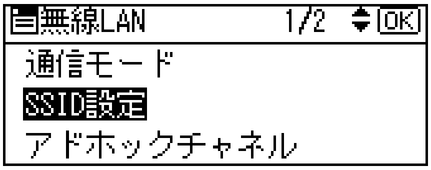
SSID で使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で 32 バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。

6. 文字列の入力が完了したら、[OK] キーを押します。

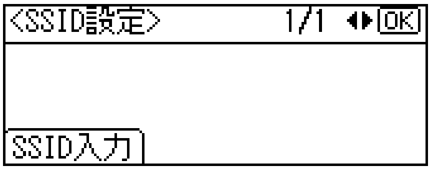


[インフラストラクチャーモード] を選択した場合

1. 通信に使用する SSID を設定します。[▼] [▲] キーを押して [SSID 設定] を選択し、[OK] キーを押します。



2. ［SSID 入力］の選択キーを押します。



設定する SSID はネットワーク管理者に確認してください。

3. テンキーで文字を入力します。



SSID で使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で 32 バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。

4. 文字列の入力が完了したら、［OK］キーを押します。



7. ［メニュー］キーを押します。

8. 「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。

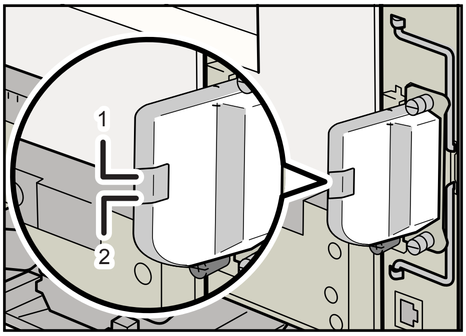
補足

- 各項目の設定については、『ソフトウェアガイド』「インターフェース設定メニュー」を参照してください。
- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.52「テスト印刷する」を参照してください。

無線 LAN の接続を確認する

カード内蔵型の無線 LAN ボードを取り付けている場合の、拡張無線 LAN の接続を確認する方法を説明します。

拡張無線 LAN ボードの LED が点灯していることを確認してください。



CEE158

1. 電力が、機器本体から拡張無線 LAN ボードへ正常に供給されると、緑色に点灯します。
2. ネットワークに正常に接続していると、オレンジ色に点灯します。

無線 LAN ご使用時の注意

無線 LAN では、LAN ケーブルの代わりに電波を利用して情報のやりとりを行います。無線 LAN の電波は、一定の範囲内であれば壁などの障害物も越えて到達するため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

個人情報の漏洩

- ID、パスワード、クレジットカードの番号やメールの内容などが、第三者に盗み見られる。

ネットワークへの不正侵入

- ウイルスなどによってデータやシステムを破壊・改ざんされる。
- 特定の人物になりすまして不正な情報を流される。
- 機密情報が持ち出される。

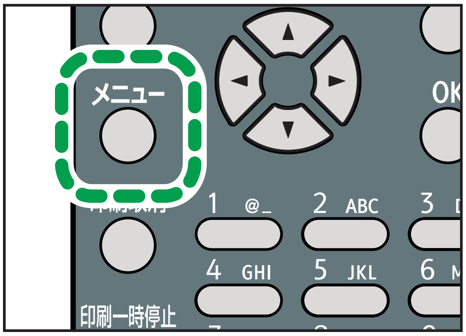
これらの問題が発生する可能性を少なくするためには、本機や無線 LAN アクセスポイントなどの無線 LAN 製品に搭載されている機能を確認し、セキュリティーに関する設定を行うことをお勧めします。

無線 LAN のセキュリティー方式を設定する

WEP キーを設定する

ネットワーク内で WEP キーを使用している場合は、通信に使用する WEP キーを設定します。設定する WEP キーはネットワーク管理者に確認してください。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

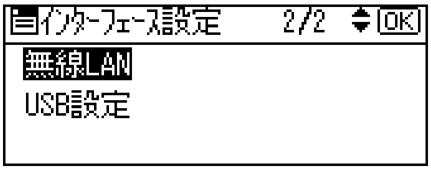


CED008

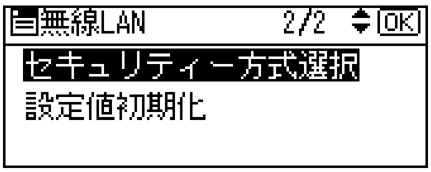
2. ［▼］［▲］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。



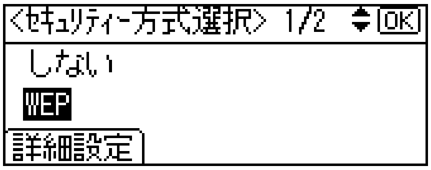
3. ［▼］［▲］キーを押して［無線 LAN］を選択し、［OK］キーを押します。



4. ［▼］［▲］キーを押して［セキュリティー方式選択］を選択し、［OK］キーを押します。



5. [▼] [▲] キーを押して [WEP] を選択し、[詳細設定] の選択キーを押します。



6. WEP キーを入力します。

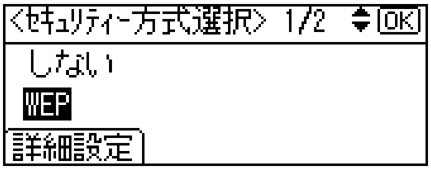


- [OK] キーを押すと、入力した WEP キーは「*」で表示されます。
- 64bit WEP を使用する場合、16 進数では 10 桁、ASCII 文字列では 5 桁の文字列が使用できます。128bit WEP を使用する場合、16 進数では 26 桁、ASCII 文字列では 13 桁の文字列が使用できます。
- 入力できる桁数は、16 進数の場合は 10 桁か 26 桁、ASCII 文字列の場合は 5 桁か 13 桁に限られます。それ以外の桁数で入力を完了させると、「入力したキーの文字または桁数が正しくありません。」というメッセージが操作部の画面に表示されます。
- ASCII 文字列の場合、大文字と小文字はそれぞれ別の文字として認識されます。

7. WEP キーの入力が完了したら、[OK] キーを押します。



8. WEP キーの設定を確定させます。[▼] [▲] キーを押して [WEP] を選択し、[OK] キーを押します。



9. [メニュー] キーを押します。

10. 「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。

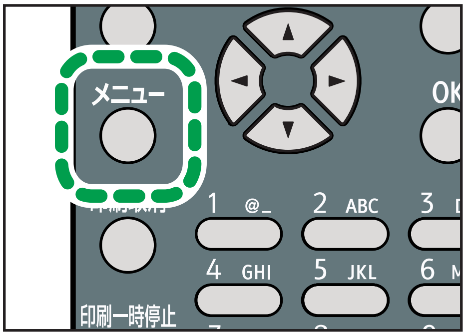
補足

- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.52「テスト印刷する」を参照してください。

WPA を設定する

ネットワーク内で WPA を使用している場合は、通信に使用する WPA を設定します。設定する WPA はネットワーク管理者に確認してください。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

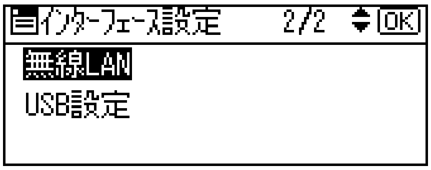


CED008

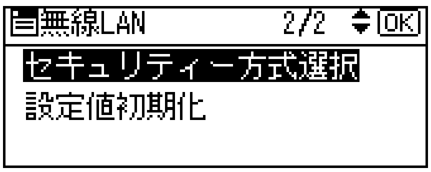
2. ［▼］［▲］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。



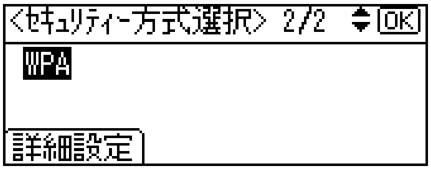
3. ［▼］［▲］キーを押して［無線 LAN］を選択し、［OK］キーを押します。



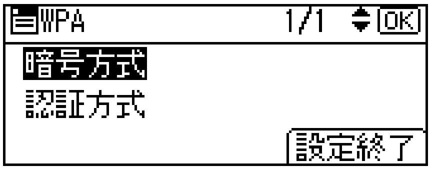
4. ［▼］［▲］キーを押して［セキュリティー方式選択］を選択し、［OK］キーを押します。



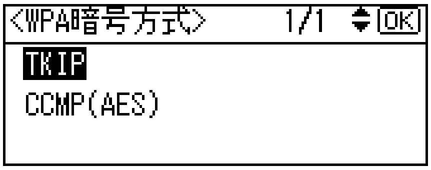
5. [▼] [▲] キーを押して [WPA] を選択し、[詳細設定] の選択キーを押します。



6. [▼] [▲] キーを押して [暗号方式] を選択し、[OK] キーを押します。



7. [▼] [▲] キーを押して使用する暗号方式を選択し、[OK] キーを押します。



暗号方式の設定値は次のとおりです。

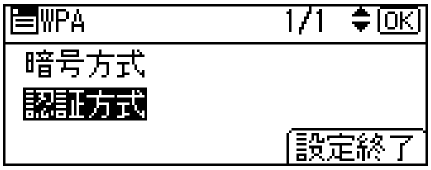
- TKIP

  アルゴリズムに WEP と同じ RC4 を用いながら鍵の攪拌等により脆弱性を下げることができます。

- CCMP（AES）

  AES（Advanced Encryption Standard）を使用することにより更にセキュリティーを高められます。

8. [▼] [▲] キーを押して [認証方式] を選択し、[OK] キーを押します。



9. [▼] [▲] キーを押して使用する認証方式を選択し、[OK] キーを押します。



認証方式の設定値は次のとおりです。

- WPA-PSK

  アクセスポイントとクライアントが共有する暗号鍵（共有鍵：Pre-Shared Key）を利用して認証を行います。事前共有鍵と呼ばれる 8〜63 桁の ASCII 文字列を設定します。

  PSK を入力する画面が表示されたらテンキーを押して入力します。

- WPA

  証明書の導入の設定画面で［設定する］か［しない］を選択します。

  この方式を選択した場合は、認証方式や機器証明書の導入などの設定が必要です。詳しくは、P.109「IEEE 802.1X を設定する」を参照してください。

- WPA2-PSK

  WPA-PSK と同じく、アクセスポイントとクライアントが共有する暗号鍵（共有鍵：Pre-Shared Key）を利用して認証を行います。事前共有鍵と呼ばれる 8〜63 桁の ASCII 文字列を設定します。

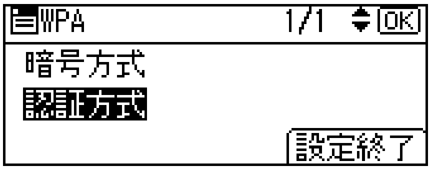
  PSK を入力する画面が表示されたらテンキーを押して入力します。

- WPA2

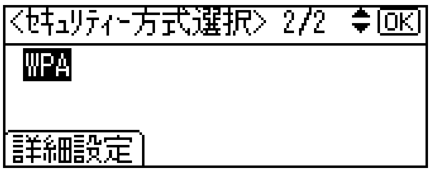
  WPA2 は、WPA の追加仕様で、IEEE 802.11i へ完全対応しています。

  この方式を選択した場合は、認証方式や機器証明書の導入などの設定が必要です。詳しくは、P.109「IEEE 802.1X を設定する」を参照してください。

10.［設定終了］の選択キーを押します。



11. WPA の設定を確定させます。［▼］［▲］キーを押して［WPA］を選択し、［OK］キーを押します。



12.［メニュー］キーを押します。

13.「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。

補足

- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.52「テスト印刷する」を参照してください。

IEEE 802.1X を設定する

セキュリティー向上のために IEEE 802.1X を設定する方法について説明します。

IEEE 802.1X は、Web Image Monitor の管理者モードで設定します。

IEEE 802.1X は、WPA-PSK/WPA2-PSK に比べ認証サーバーを利用することで更にセキュリティーの向上を図っています。

EAP タイプ（認証方式）は、EAP-TLS、LEAP、EAP-TTLS、PEAP の 4 つの種類を選択できますが、各 EAP タイプで証明書の要／不要、設定項目が異なります。ご注意ください。

証明書の種類、および要／不要については次のとおりです。

「サイト証明書」が必要な EAP タイプ

EAP-TLS、EAP-TTLS、および PEAP（LEAP 以外は必要です）

「サイト証明書」および「機器証明書」が必要な EAP タイプ

EAP-TLS、PEAP（フェーズ 2 メソッドが“TLS”のみ）

証明書が必要な場合は、証明書の導入を済ませた上で各項目の設定を行ってください。

サイト証明書の導入手順

認証局サーバーにアクセスし、「CA 証明書」を入手します。

証明書の入手方法は、ご使用の環境により異なります。

1. **Web Image Monitor に管理者としてログインします。**
2. **メニューエリアの［設定］をクリックします。**
3. **「セキュリティー」の［サイト証明書］をクリックします。**
4. **「インポートするサイト証明書」の［参照］をクリックし、入手した「CA 証明書」を選択します。**
5. **［インポート］をクリックします。**
6. **インポートした証明書の状態が「信頼できる」であることを確認します。**

   「サイト証明書チェック機能」が［有効］になっていて、証明書の状態が「信頼できない」場合合、通信できなくなることがあります。
7. **［OK］をクリックします。**
8. **［ログアウト］をクリックします。**
9. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

- Web Image Monitor については、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。

- ログインユーザー名とログインパスワードについては、管理者にお問い合わせください。

機器証明書の導入手順

機器証明書を導入する方法について説明します。

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。
2. メニューエリアの［設定］をクリックします。
3. 「セキュリティー」の［機器証明書］をクリックします。
4. 「機器証明書」画面で「証明書 2」を選択し、［要求］をクリックします。
5. 「証明書項目内容入力」画面で「共通名称」、「国コード」に適切な値を入力し、［OK］をクリックします。
6. 「設定の書き換え中」画面が表示されます。1~2 分経過してから［OK］をクリックします。
7. 「機器証明書」画面で、「要求中」である証明書の［詳細］（メモ型のアイコン）をクリックします。
8. 「証明書詳細情報」画面の「証明書要求用文字列」内のテキストをすべてコピーします。
9. 認証局サーバーにアクセスし、コピーした「証明書要求用文字列」を使用して「CA 署名済み証明書」を入手します。

   証明書の入手方法は、ご使用の環境により異なります。
10. 「機器証明書」画面で、「証明書 2」を選択し、［導入］をクリックします。
11. 手順 9 でダウンロードした「CA 署名済み証明書」をテキストエディタで開き、書かれているものをすべてコピーします。
12. 「証明書要求の入力」画面で、コピーした「CA 署名済み証明書」の内容をすべて貼り付けます。
13. ［OK］をクリックします。
14. 「設定の書き換え中」画面が表示されます。1~2 分経過してから［OK］をクリックします。
15. 「機器証明書」画面で、証明書の状態が「導入済み」になっていることを確認します。
16. 「利用する証明書」で、IEEE 802.1X に［証明書 2］を選択して［OK］をクリックします。
17. ［ログアウト］をクリックします。

18. Web Image Monitor を終了します。

補足

- Web Image Monitor については、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。
- 「機器証明書」画面で「証明書 1」と「証明書 2」はどちらも選択できますが、「証明書 1」を選択した場合は「利用する証明書」の「IEEE 802.1X」のドロップダウンメニューで［証明書 1］を選択してください。
- 二つの証明書の要求を同時に行うと、証明書の発行先が表示されない場合があります。
- 証明書の要求を取りやめる場合は、［取りやめ要求］をクリックします。
- ログインユーザー名とログインパスワードについては、管理者にお問い合わせください。
- 手順 6 や手順 14 で［OK］をクリックしたあとに「該当ページが見つかりません。」と表示された場合は、さらに 1～2 分待ってからブラウザーの［更新］をクリックしてください。

イーサネットで IEEE 802.1X を使用する

イーサネットで IEEE 802.1X を使用するための設定について説明します。

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

2. メニューエリアの［設定］をクリックします。

3. 「セキュリティー」の［IEEE 802.1X］をクリックします。

4. 「ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。

5. 「ドメイン名」に、ご利用環境のドメイン名を入力します。

6. 「EAP タイプ」を選択します。EAP タイプによって設定項目が異なります。

EAP-TLS

- お使いの環境に合わせて設定してください。
    - 「サーバー証明書の認証」を選択します。
    - 「中間認証局の信頼」を選択します。
    - 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。
    - 「サブドメイン許可」を選択します。

LEAP

- 「パスワード」の［変更］をクリックして、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。

EAP-TTLS

- 「パスワード」の［変更］をクリックして、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。
- 「フェーズ 2 ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。
- 「フェーズ 2 メソッド（EAP-TTLS）」を選択します。

  お使いの RADIUS サーバーにより、使用できないメソッドがあります。
- 以降の項目はお使いの環境に合わせて設定してください。
  - 「サーバー証明書の認証」を選択します。
  - 「中間認証局の信頼」を選択します。
  - 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。
  - 「サブドメイン許可」を選択します。

4

PEAP

- 「パスワード」の［変更］をクリックして、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。

  「フェーズ 2 メソッド」で［TLS］を選択する場合は、パスワードの設定は不要です。
- 「フェーズ 2 ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。
- 「フェーズ 2 メソッド（PEAP）」を選択します。

  メソッドに［TLS］を選択する場合は、「IEEE 802.1X クライアント証明書」が必要です。
- 以降の項目はお使いの環境に合わせて設定してください。
  - 「サーバー証明書の認証」を選択します。
  - 「中間認証局の信頼」を選択します。
  - 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。
  - 「サブドメイン許可」を選択します。

7.［OK］をクリックします。

8.「設定の書き換え中」画面が表示されます。1〜2 分経過してから［OK］をクリックします。

9. メニューエリアの［設定］をクリックします。

10.「インターフェース」の［インターフェース設定］をクリックします。

11.「イーサネット」の「セキュリティ（802.1X）」で［有効］を選択します。

12.［OK］をクリックします。

13.「設定の書き換え中」画面が表示されます。1~2 分経過してから［OK］をクリックします。

14.［ログアウト］をクリックします。

15. Web Image Monitor を終了します。

補足

- Web Image Monitor については、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。
- 設定の不具合により、お使いのプリンターと通信できなくなることがあります。本機からネットワークサマリーを印刷して状況を確認することができます。
- 原因が特定できない場合は、本機の設定を通常のインターフェースに戻した後、はじめから手順をやり直してください。

4

無線 LAN で IEEE 802.1X を使用する

無線 LAN で IEEE 802.1X を使用するための設定について説明します。

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

2. メニューエリアの［設定］をクリックします。

3.「セキュリティー」の［IEEE 802.1X］をクリックします。

4.「ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。

5.「ドメイン名」に、ご利用環境のドメイン名を入力します。

6.「EAP タイプ」を選択します。EAP タイプによって設定項目が異なります。

EAP-TLS

- お使いの環境に合わせて設定してください。
    - 「サーバー証明書の認証」を選択します。
    - 「中間認証局の信頼」を選択します。
    - 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。
    - 「サブドメイン許可」を選択します。

LEAP

- 「パスワード」の［変更］をクリックして、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。

EAP-TTLS

- 「パスワード」の［変更］をクリックして、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。

- 「フェーズ 2 ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。
- 「フェーズ 2 メソッド（EAP-TTLS)」を選択します。

  お使いの RADIUS サーバーにより、使用できないメソッドがあります。
- 以降の項目はお使いの環境に合わせて設定してください。
  - 「サーバー証明書の認証」を選択します。
  - 「中間認証局の信頼」を選択します。
  - 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。
  - 「サブドメイン許可」を選択します。

4

PEAP

- 「パスワード」の［変更］をクリックして、RADIUS サーバーに設定されているパスワードを入力します。

  「フェーズ 2 メソッド」で［TLS］を選択する場合は、パスワードの設定は不要です。
- 「フェーズ 2 ユーザー名」に、RADIUS サーバーに設定されているユーザー名を入力します。
- 「フェーズ 2 メソッド（PEAP)」を選択します。

  メソッドに［TLS］を選択する場合は、「IEEE 802.1X クライアント証明書」が必要です。
- 以降の項目はお使いの環境に合わせて設定してください。
  - 「サーバー証明書の認証」を選択します。
  - 「中間認証局の信頼」を選択します。
  - 「サーバー ID」に、RADIUS サーバーのホスト名を入力します。
  - 「サブドメイン許可」を選択します。

7. **［OK］をクリックします。**
8. **「設定の書き換え中」画面が表示されます。1~2 分経過してから［OK］をクリックします。**
9. **メニューエリアの［設定］をクリックします。**
10. **「インターフェース」の［無線 LAN 設定］をクリックします。**
11. **「ネットワークインターフェース選択」に［無線 LAN］を選択します。**
12. **「通信モード」に［インフラストラクチャーモード］を選択します。**
13. **「SSID」をご利用のアクセスポイントに合わせて入力します。**
14. **「セキュリティー方式」に［WPA］を選択します。**
15. **「WPA 暗号方式」を、ご利用のアクセスポイントに合わせて選択します。**

16. 「WPA 認証方式」に、［WPA］を選択します。

17. ［OK］をクリックします。

18. 「設定の書き換え中」画面が表示されます。1～2 分経過してから［OK］をクリックします。

19. 管理者モードから［ログアウト］します。

20. Web Image Monitor を終了します。

補足

- Web Image Monitor については、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。
- 設定の不具合により、お使いのプリンターと通信できなくなることがあります。本機からネットワークサマリーを印刷して状況を確認することができます。
- 原因が特定できない場合は、本機の設定を通常のインターフェースに戻した後、はじめから手順をやり直してください。

5. 用紙のセット

本機で使用できる用紙の種類やサイズ、用紙のセット方法について説明します。

使用できる用紙の種類とサイズ

各給紙トレイにセットできる用紙の種類、サイズと最大セット枚数について説明します。

用紙はすべて縦方向にセットしてください。

海外向けサイズの用紙は以下のとおり表示されます。

本書の表記	Legal	Letter	Half Letter
操作部の表示	$8^{1}/_{2}\times14$	$8^{1}/_{2}\times11$	$5^{1}/_{2}\times8^{1}/_{2}$
用紙ダイヤルの表示	$8^{1}/_{2}\times14$	$8^{1}/_{2}\times11$	$5^{1}/_{2}\times8^{1}/_{2}$
RPCS プリンタードライバーの表示	Legal（8.5×14）	Letter （8.5×11）	5.5×8.5

給紙トレイ［トレイ 1］

用紙の種類	給紙トレイでは、以下の用紙種類を使用することができます。定形サイズの用紙種類の設定については P.137「給紙トレイで用紙種類を設定する」を参照してください。 普通紙 厚紙 レターヘッド付き用紙 ラベル紙 特殊紙 色紙 再生紙
用紙サイズダイヤルで設定できる用紙サイズ	給紙トレイでは、以下の用紙サイズを使用することができます。用紙サイズダイヤルで設定できる用紙サイズの設定については P.135「給紙トレイで用紙を設定する」を参照してください。 • IPSiO SP 4310： A4、A5、B5、Legal、Letter、Half Letter • IPSiO SP 4300： A4、A5、B5、Letter、Half Letter
用紙サイズダイヤルを「✱」に合わせ、操作部での設定 を必要とする用紙サイズ	給紙トレイでは、以下の用紙サイズを使用することができます。用紙サイズダイヤルを「✱」に合わせて、操作部での設定を必要とする用紙サイズの設定については P.135「給紙トレイで用紙を設定する」を参照してください。 A5、A6、Half Letter、不定形サイズ

不定形サイズ	給紙トレイでは、定形サイズ以外にも、以下のサイズの用紙を印刷することができます。使用可能な不定形サイズは以下のとおりです。 • IPSiO SP 4310： 　• 幅 100 ～216mm 　• 長さ 140 ～356mm • IPSiO SP 4300： 　• 幅 100 ～216mm 　• 長さ 140 ～297mm 不定形サイズで印刷する場合には、用紙サイズダイヤルを「✱」に合わせ、操作部で不定形サイズを設定してください。詳しくは、P.136「給紙トレイで不定形サイズの用紙を設定する」を参照してください。
用紙厚	52～162g/m^2（45～140kg）
最大セット枚数	• IPSiO SP 4310：500 枚 • IPSiO SP 4300：250 枚 セットする用紙の量は、トレイ内の上限表示を超えないようにしてください。

500 枚増設トレイ

用紙の種類	500 枚増設トレイでは、以下の用紙種類を使用することができます。 普通紙 厚紙 レターヘッド付き用紙 ラベル紙 特殊紙 色紙 再生紙
用紙サイズダイヤルで設定できる用紙サイズ	500 枚増設トレイでは、以下の用紙サイズを使用することができます。用紙サイズダイヤルで設定できる用紙サイズの設定についてはP.135「給紙トレイで用紙を設定する」を参照してください。 A4、A5、B5、Legal、Letter、Half Letter
不定形サイズ	500 枚増設トレイでは、定形サイズ以外にも、以下のサイズの用紙を印刷することができます。使用可能な不定形サイズは以下のとおりです。 • 幅 140～216mm • 長さ 160 ～356mm 不定形サイズで印刷する場合には、用紙サイズダイヤルを「✱」に合わせ、操作部で不定形サイズを設定してください。詳しくは、P.136「給紙トレイで不定形サイズの用紙を設定する」を参照してください。
用紙厚	52～162g/m^2（45～140kg）
最大セット枚数	500 枚 セットする用紙の量は、トレイ内の上限表示を超えないようにしてください。

250 枚増設トレイ

用紙の種類	250 枚増設トレイでは、以下の用紙種類を使用することができます。 普通紙 厚紙 レターヘッド付き用紙 ラベル紙 特殊紙 色紙 再生紙
用紙サイズダイヤルで設定できる用紙サイズ	250 枚増設トレイでは、以下の用紙サイズを使用することができます。用紙サイズダイヤルで設定できる用紙サイズの設定については P.135「給紙トレイで用紙を設定する」を参照してください。 A4、A5、B5、Letter、Half Letter
不定形サイズ	250 枚増設トレイでは、定形サイズ以外にも、以下のサイズの用紙を印刷することができます。使用可能な不定形サイズは以下のとおりです。 • 幅 140〜216mm • 長さ 160 〜356mm 不定形サイズで印刷する場合には、用紙サイズダイヤルを「✱」に合わせ、操作部で不定形サイズを設定してください。詳しくは、P.136「給紙トレイで不定形サイズの用紙を設定する」を参照してください。
用紙厚	52〜162g/m^2（45〜140kg）
最大セット枚数	250 枚 セットする用紙の量は、トレイ内の上限表示を超えないようにしてください。

手差しトレイ

用紙の種類	手差しトレイでは、以下の用紙種類を使用することができます。定形サイズの用紙種類の設定については P.143「手差しトレイで用紙種類を設定する」を参照してください。 普通紙 厚紙 レターヘッド付き用紙 ラベル紙 特殊紙 OHP フィルム 封筒 色紙 再生紙
用紙サイズ	手差しトレイでは、以下の用紙サイズを使用することができます。定形サイズの用紙サイズの設定については P.141「手差しトレイで定形サイズの用紙を設定する」を参照してください。 A4、A5、A6、B5、B6、Legal、Letter、Half Letter、郵便ハガキ、往復ハガキ、封筒 長形 3 号、封筒 洋長 3 号、不定形サイズ

不定形サイズ	手差しトレイでは、定形サイズ以外にも、以下のサイズの用紙を印刷することができます。使用可能な不定形サイズは以下のとおりです。 • 幅 64〜216mm • 長さ 140〜900mm 不定形サイズで印刷する場合には、操作部で不定形サイズを設定してください。詳しくは、P.141「手差しトレイで不定形サイズの用紙を設定する」を参照してください。
用紙厚	52〜162g/m^2（45〜140kg）
最大セット枚数	100 枚 セットする用紙の量は、用紙ガイドに収まる枚数をセットしてください。

用紙の種類ごとの注意

本機で使用できる用紙種類について説明します。トレイに用紙をセットする場合は、その他の注意を確認してから使用してください。

普通紙

紙の厚さ	52〜105g/m^2（45〜90kg）
操作部の設定	[用紙設定] →[用紙種類設定：(トレイの名前)] →[表示しない（普通紙)] を選択
プリンタードライバーの設定	[普通紙／再生紙] または [普通紙（52 から 105 g/m^2)]
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
両面印刷	可

厚紙

紙の厚さ	106〜162g/m^2（90〜 140kg）
操作部の設定	[用紙設定] →[用紙種類設定：(トレイの名前)] →[厚紙] を選択
プリンタードライバーの設定	[厚紙（105 から 162 g/m^2)]
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
両面印刷	不可
その他の注意	印刷速度が普通紙よりも遅くなります。

レターヘッド付き用紙

操作部の設定	[用紙設定] →[用紙種類設定：(トレイの名前)] →[レターヘッド] を選択
プリンタードライバーの設定	[レターヘッド付き用紙]
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
両面印刷	可

ラベル紙

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：(トレイの名前)］→［ラベル紙］を選択
プリンタードライバーの設定	［ラベル紙］
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
両面印刷	不可

特殊紙

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：(トレイの名前)］→［特殊紙］を選択
プリンタードライバーの設定	［特殊紙］
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
両面印刷	不可

色紙

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：(トレイの名前)］→［色紙］を選択
プリンタードライバーの設定	［色紙］
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
両面印刷	不可

OHP フィルム

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙設定種類：手差しトレイ］→［OHP］を選択
プリンタードライバーの設定	［OHP フィルム］
給紙可能トレイ	手差しトレイ
両面印刷	不可

その他の注意	• リコー推奨の OHP フィルムを使用してください。推奨以外の用紙を使用すると、定着ユニットに用紙が巻き付くことがあり、故障の原因になります。リコー推奨の用紙については、P.236「消耗品一覧」を参照してください。 • OHP フィルムをセットするときは、裏表を誤らないように注意してください。故障の原因となります。 • OHP フィルムは印刷のたびに、さばいてからセットしてください。トレイにセットしたまま放置していると密着して用紙送りを妨げる原因になります。 • OHP フィルムに印刷したときは、排紙された OHP フィルムを 1 枚ずつ排紙トレイから取り除いてください。 • OHP フィルムを投影するときは、4000ANSI ルーメン以上の透過型オーバーヘッドプロジェクターのご使用を推奨します。

再生紙

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：（トレイの名前）］→［再生紙］を選択
プリンタードライバーの設定	［再生紙］または［普通紙／再生紙］
給紙可能トレイ	すべてのトレイ
両面印刷	可

封筒

操作部の設定	［用紙設定］→［用紙種類設定：手差しトレイ］→［封筒］を選択
プリンタードライバーの設定	［封筒］
給紙可能トレイ	手差しトレイ
両面印刷	不可

5

その他の注意	• 封筒を押さえて中の空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと押さえてからセットしてください。また封筒が反っているときは、まっすぐに直してからセットしてください。封筒の厚さが均一でない場合は、きれいに印刷できないことがあります。 • 異なる種類の封筒や印刷方向を混在させて印刷しないでください。 • 推奨封筒または推奨封筒以外でも、環境によってはシワが発生したりするなど、正しく印刷されないことがあります。特に湿度の高い環境では、シワが発生しやすくなります。 • 印刷速度が普通紙よりも遅くなります。 • セットする封筒の量は、用紙ガイドを超えないようにしてください。 • 印刷時のしわの発生を防ぐために、印刷するときは、プリンタードライバーの［項目別設定］タブの［基本］メニューを選択し、［原稿方向：］で［180 度回転］を選択してください。 • 正しく保管されていない封筒を使用した場合、しわや印刷品質の低下の原因になることがあります。 • 場合によっては、封筒の長辺の端に細かいしわができて排紙されたり、裏面が汚れて排紙されたり、ぼやけて印刷されることがあります。また黒くベタ刷りする場合に、封筒の用紙が重なりあっている部分にスジが入ることがあります。 • 封筒のサイズを設定するときは、短辺側にフラップがある封筒は、フラップが開いた状態の長さを指定してください。

郵便はがき

操作部の設定	次の 2 つを設定します。 • ［用紙設定］→［用紙種類設定：手差しトレイ］→［厚紙］を選択 • ［用紙設定］→［用紙サイズ設定：手差しトレイ］→［郵便ハガキ］または［往復ハガキ］を選択
プリンタードライバーの設定	次の 2 つを設定します。 • ［用紙］メニュー→［用紙種類］→［厚紙（106 から 162 g/m^2)］を選択 • ［基本］メニュー→［印刷用紙サイズ］→［郵便ハガキ（100×148mm)］または［往復ハガキ（148×200mm)］を選択
給紙可能トレイ	［手差しトレイ］
用紙セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。手差しトレイの用紙ガイドの上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷	不可

その他の注意	• 印刷速度が普通紙より遅くなります。 • 絵入りのはがきなどを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ローラーに付着し、給紙できなくなる場合があります。 • 郵便はがきの裏面にバリ（裁断したときにできた返し）があるときは、郵便はがきを平らなところに置き、定規などを水平に 1～2 回動かして、郵便はがきの 4 辺のバリを取り除き、バリを取り除いたときに出た紙粉を払います。 • はがきの両面に印刷するときは、裏面→宛名面の順で印刷してください。宛名面を先に印刷した場合、裏面はトナーがかすれたり、色むらができることがあります。 • よりきれいに印刷するためには、裏面から先に印刷し、宛名面は後から印刷することをお勧めします。 • 以下のはがきは印刷できません。 　• インクジェットプリンター専用はがき 　• 絵はがきなどの厚いはがき 　• 絵入りはがきなど裏写り防止用の粉がついているはがき 　• 他のプリンターで一度印刷したはがき 　• 表面加工されているはがき 　• 表面に凸凹のあるはがき

用紙を保管するとき

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 湿気の多い所には置かない。
- 直射日光の当たる所には置かない。
- 立て掛けない。
- 残った用紙は、購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。

使用できない用紙

重要

- **市販されているすべての用紙での印刷結果を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。**
- **リコー推奨の用紙をご利用ください。それ以外を使用した印刷についてはその印刷結果は保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。リコー推奨の用紙については、P.236「消耗品一覧」を参照してください。**
- **インクジェット専用紙はセットしないでください。定着ユニットへの用紙の巻き付きが発生し、故障の原因になります。**

以下のような用紙は使用しないでください。

- インクジェット専用紙
- ジェルジェット専用紙
- しわ、折れ、破れ、端が波打っている用紙
- カール（反り）のある用紙
- 湿気を吸っている用紙
- 乾燥して静電気が発生している用紙
- 一度印刷した用紙

  他の機種（モノクロ・カラー複写機、インクジェットプリンターなど）で印刷されたものは、定着温度の違いにより定着ユニットに影響を与えることがあります。
- 表面が加工された用紙（指定用紙を除く）
- 感熱紙やノンカーボン紙など特殊な用紙
- 厚さが規定以外の用紙（極端に厚い・薄い用紙）
- ミシン目などの加工がされている用紙
- 糊がはみ出したり、台紙の見えるラベル紙
- ステープラー・クリップなどを付けたままの用紙
- 汚れている用紙
- 写真用のはがき、インクジェット用のはがき
- 絵入りはがきなど裏写り防止用の粉がついているはがき
- 私製はがき

  絵はがきなどの厚いはがき、絵入りはがきなど裏写り防止用の粉のついているはがき、他のプリンターで一度印刷したはがき、表面加工されているはがき、表面に凹凸のあるはがき

補足

- 絵入りのはがきなどを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ローラーに付着し、給紙できなくなる場合があります。
- パンチ穴など穴のある用紙を使用すると、紙づまりや用紙サイズの誤検知がおこる場合があります。
- プリンターに適切な用紙でも、保存状態が悪い場合は、紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因になることがあります。

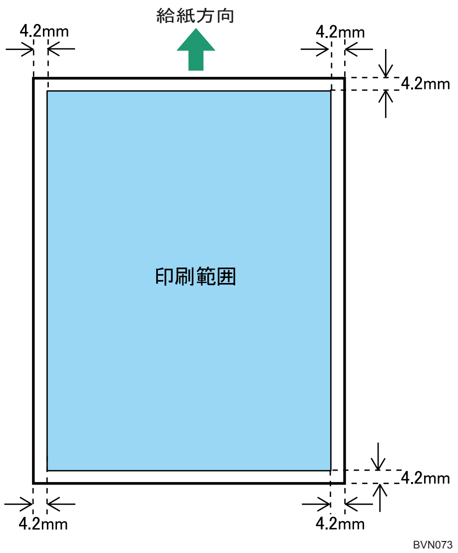
印刷範囲

本機では、用紙やはがき、封筒などで印刷範囲が異なります。使用する用紙種類ごとの印刷範囲を説明します。

補足

- 本機では、プリンタードライバーや印刷条件の設定によっては印刷範囲外の余白まで印刷することができますが、推奨する印刷範囲に含まれていません。
- 縁無し印刷には対応していません。

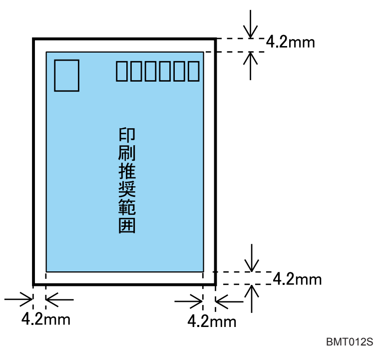
用紙



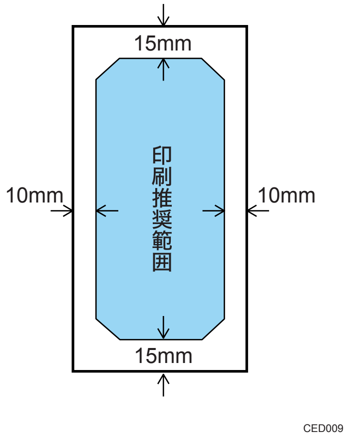
補足

- 手差しトレイでは、用紙の厚さや紙幅により用紙の送られ方や画質が異なりますので、事前にご使用になる用紙で印刷結果を確認してください。

はがき



封筒



補足

- 封筒の表面（宛名の面）の上図の範囲（印刷推奨範囲）に印刷できます。裏面には印刷しないでください。

用紙をセットする

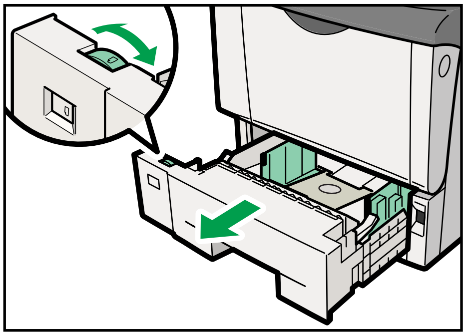
給紙トレイまたは増設トレイに用紙をセットする

給紙トレイと増設給紙トレイの用紙のセット方法は同じです。ここでは給紙トレイ（トレイ 1）を例に説明します。

重要

- セットする用紙のサイズ・用紙の方向に、用紙サイズダイヤルの表示を必ず合わせてください。用紙サイズダイヤルの表示があってないと、機械内部を汚したり、思い通りの印刷ができない原因になります。
- セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。紙づまりの原因になることがあります。
- 1 つのトレイに、異なる種類の用紙を混在させてセットしないでください。
- 給紙トレイ内の用紙を使い切る前に、用紙を追加してセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙は、印刷面を下にしてセットしてください。
- 用紙サイズダイヤルにない用紙サイズと印刷方向を使用する場合は、用紙サイズダイヤルを「✳」に設定してください。用紙サイズダイヤルを「✳」に設定したときは、操作部で用紙サイズを指定してください。
- 使用する用紙サイズにあわせて、操作部または用紙サイズダイヤルで用紙サイズを、操作部で用紙種類を指定してください。印刷をするときは、プリンタードライバーで用紙サイズと用紙種類を本機の設定にあわせてください。
- 用紙サイズまたは用紙種類については、P.117「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。
- サイドガイドやエンドガイドを無理に動かさないでください。故障の原因になります。
- 用紙をセットした給紙トレイをプリンターにセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイのサイドガイドやエンドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドがずれることがあります。
- 用紙がカールしている場合は、一度カールしている方向と逆方向へ曲げるなどして、カールを直してからセットしてください。
- 用紙をセットする場合に、用紙の表面に触れないように注意してください。
- 印刷中に、前カバーや手差しトレイの開閉、給紙トレイの引き出しを行わないでください。

1. **給紙トレイを止まる位置まで引き出します。用紙サイズダイヤルの表示を、セットする用紙のサイズ・用紙の方向に合わせます。**

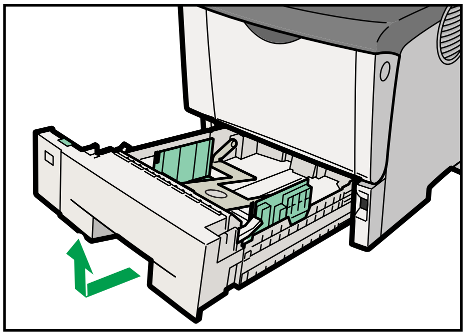


CEE013

A5、A6、または Half Letterの用紙を本体給紙トレイにセットするときは、用紙サイズダイヤルを「✳」に合わせて、操作部で用紙サイズを設定します。詳しくは、P.135「給紙トレイで用紙を設定する」を参照してください。

不定形サイズの用紙をするときは、用紙サイズダイヤルを「✳」に合わせて、操作部で用紙サイズを設定します。詳しくは、P.136「給紙トレイで不定形サイズの用紙を設定する」を参照してください。

2. **前面を持ち上げて引き抜きます。**



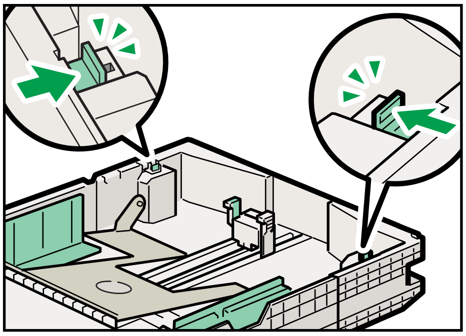
CEE011

3. **A4より大きいサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを引き出します。**

重要

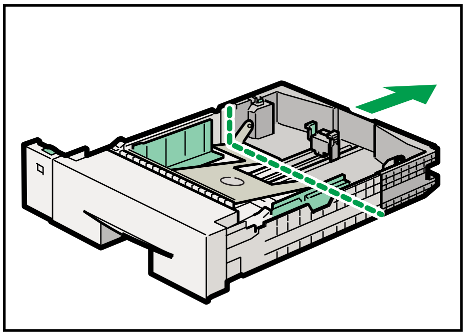
- トレイの延長は IPSiO SP 4310、500 枚増設トレイまたは 250 枚増設トレイで使用できます。

1. **延長トレイの 2 カ所のロックを内側にスライドさせて外します。**



CEE029

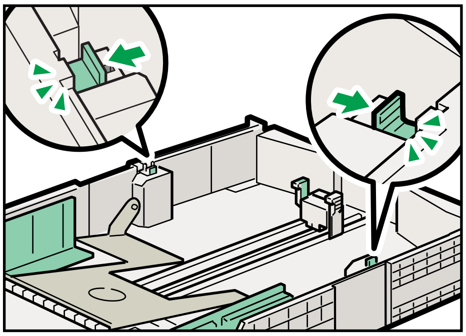
2. **延長トレイを引き出します。**



CEE028

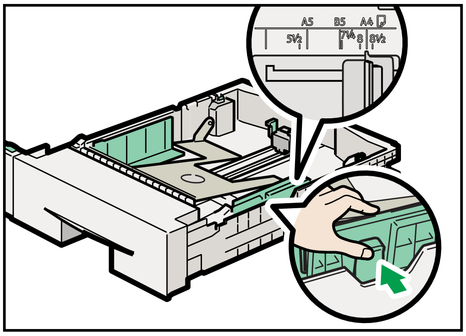
3. **延長トレイの 2 カ所のロックを外側にスライドさせて元に戻します。**

   延長トレイのロックがきちんとロックされていないと、用紙が正しく送られない原因になります。



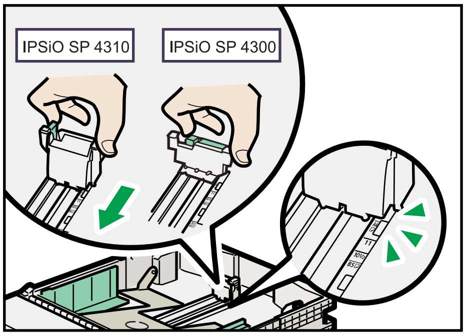
CEE030

4. **サイドガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。**



CEE096

5. **エンドガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。**



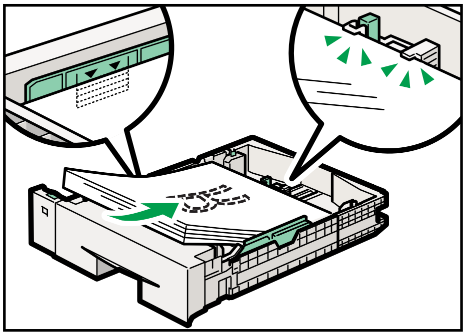
CED027

6. **用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。**


CBK254

5

7. **印刷する面を下にして用紙をセットします。**



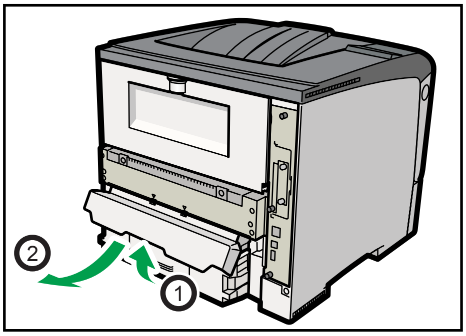
CEE116

8. **サイドガイドとエンドガイドの位置をセットした用紙に合わせて調整します。**

   用紙とサイドガイドやエンドガイドの間にすき間がないことを確認してください。すき間がある場合は、サイドガイドやエンドガイドを操作して調整してください。

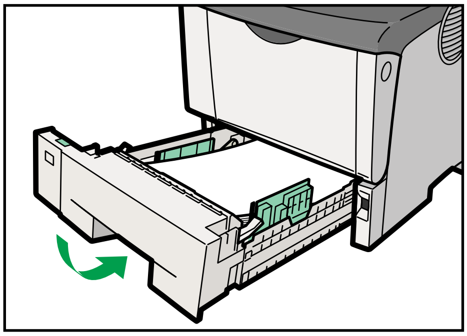
   サイドガイドやエンドガイドを用紙にきつく押し当てすぎると、給紙がうまくいかない原因になるので注意してください。

9. **延長トレイを引き出した場合は、給紙トレイカバーを外します。給紙トレイカバー下部を少し引き上げ（①）、本体背面から取り外します（②）。**



CEE042

10. **前面を持ち上げるようにして給紙トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。**



CEE012

紙づまりを防ぐため、きちんとトレイを閉めてください。

補足

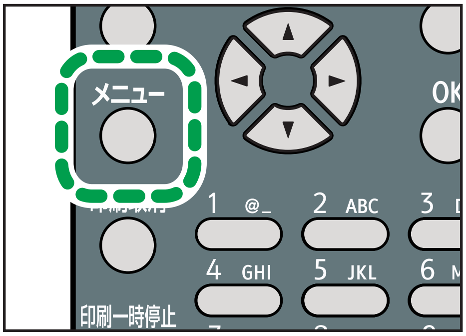
- A4▯より小さいサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを使用しないでください。

給紙トレイで用紙を設定する

重要

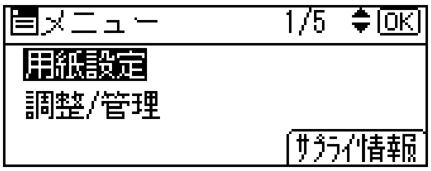
- **使用する用紙サイズが用紙ダイヤルにない場合は、用紙サイズダイヤルを「✱」にセットしてください。この場合は、必ず操作部で用紙サイズを設定してください。**

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

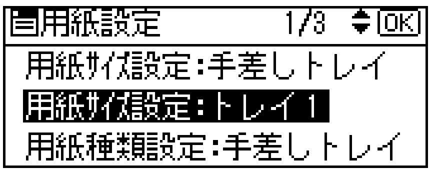


CED008

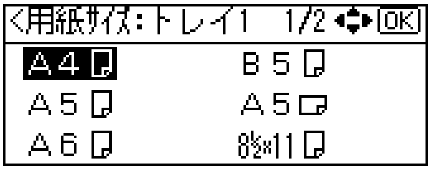
2. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。



3. ［▼］［▲］キーを押して［用紙サイズ設定：トレイ 1］を選択し、［OK］キーを押します。



4. スクロールキーを押して、セットした用紙サイズとセット方向の組み合わせを表示させ、［OK］キーを押します。



5. ［メニュー］キーを押します。

補足

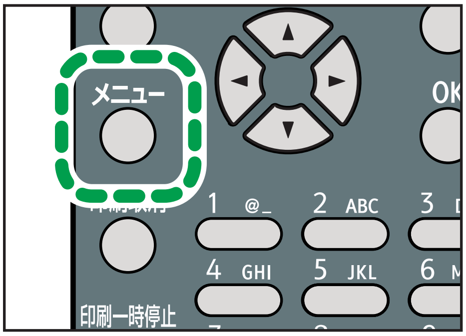
- 給紙トレイで印刷できる用紙サイズについては、P.117「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

給紙トレイで不定形サイズの用紙を設定する

重要

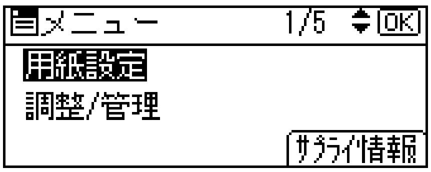
- **不定形サイズの用紙を印刷するときは、必ず操作部およびプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。**
- **不定形サイズの設定ができないアプリケーションでは、印刷できません。**

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

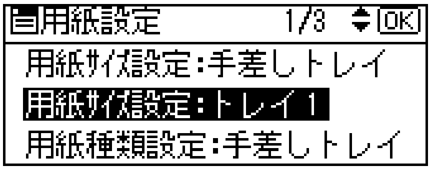


CED008

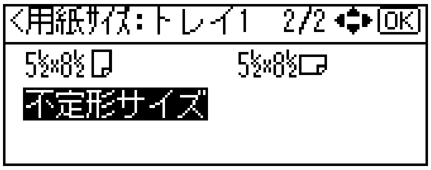
2. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。



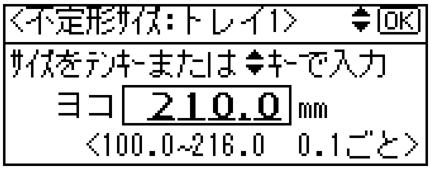
3. [▼] [▲] キーを押して [用紙サイズ設定：トレイ 1] を選択し、[OK] キーを押します。



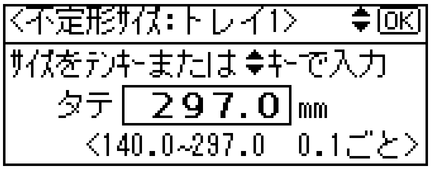
4. スクロールキーを押して [不定形サイズ] を選択し、[OK] キーを押します。



5. テンキーを押して給紙方向に対して横のサイズを入力し、[OK] キーを押します。



6. テンキーを押して給紙方向に対して縦のサイズを入力し、[OK] キーを押します。



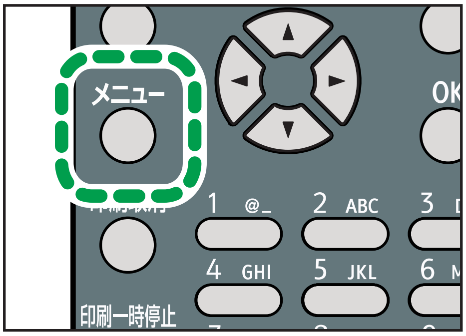
7. [メニュー] キーを押します。

給紙トレイで用紙種類を設定する

セットした用紙の種類を設定することで、より適切な印刷を行うことができます。

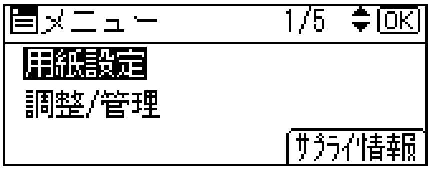
「+Custom」に登録した用紙種類を選択することもできます。詳しくは、P.156「用紙に独自の名前をつけて使用する」を参照してください。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

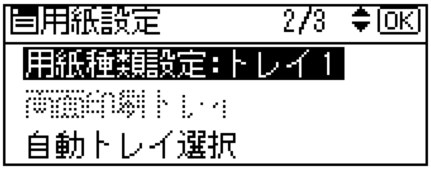


CED008

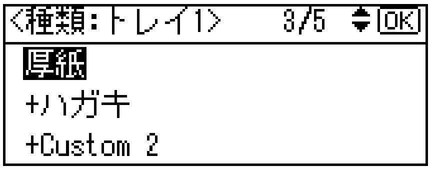
2. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。



3. ［▼］［▲］キーを押して［用紙種類設定：トレイ 1］を選択し、［OK］キーを押します。



4. ［▼］［▲］キーを押してセットした用紙の種類を選択し、［OK］キーを押します。



5. ［メニュー］キーを押します。

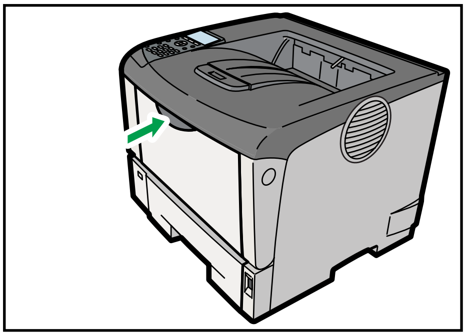
手差しトレイに用紙をセットする

重要

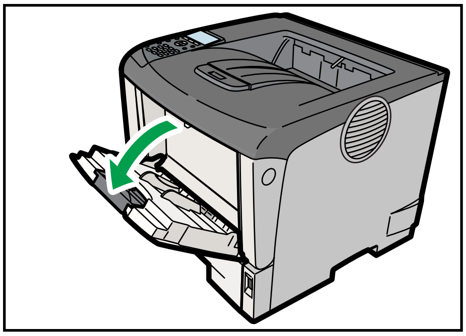
- セットした用紙の用紙サイズとセット方向を、操作部とプリンタードライバーで正しく設定してください。それぞれの設定が異なる場合は、紙づまりの発生や、印刷品質への影響が出ることがあります。

- 用紙は、印刷面を上にしてセットしてください。
- 異なる種類の用紙を混在させてセットしないでください。
- 手差しトレイにセットするときは、用紙が用紙ガイドのつめの下に収まるようにしてください。
- 用紙がカールしている場合は、一度カールしている方向と逆方向へ曲げるなどして、カールを直してからセットしてください。
- A4▯以上の長さの用紙は 1 枚ずつセットし、正しく用紙が送られるように手で持って支えてください。また、用紙の厚さや紙幅により用紙の送られ方や画質が異なりますので、事前にご使用になる用紙で印刷結果を確認してください。

1. 手差しトレイの中央部分を押して開けます。

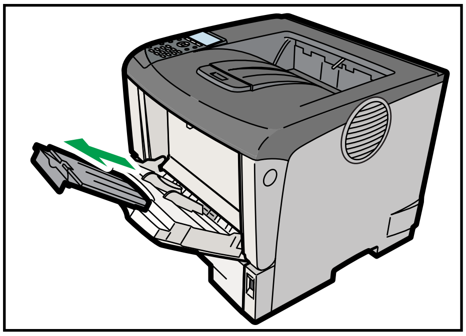


CEE002



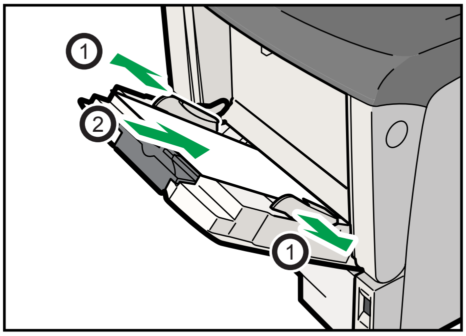
CEE006

B5▯より長い用紙をセットするときは、延長ガイドを引き出します。



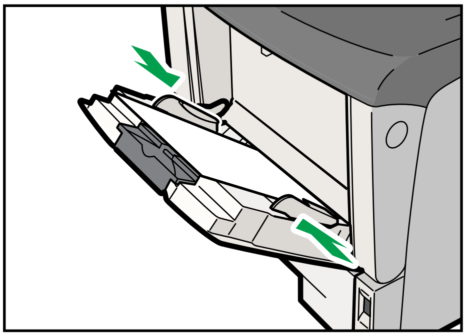
CEE024

2. 用紙ガイドを広げ（①）、印刷する面を上にして、用紙の先端が突き当たるまで差し込みます（②）。



CEE025

3. 用紙ガイドを用紙に押し当てます。



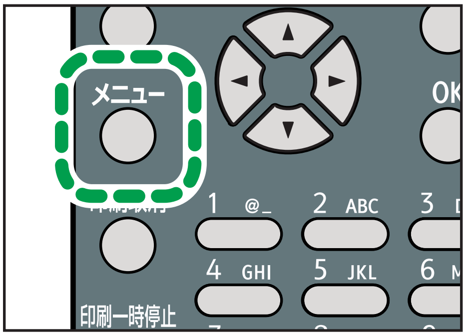
CEE076

補足

- 手差しトレイにセットできる用紙については、P.117「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

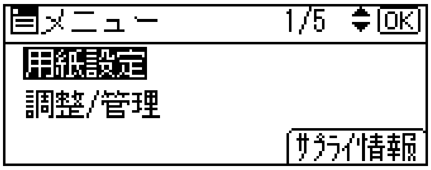
手差しトレイで定形サイズの用紙を設定する

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

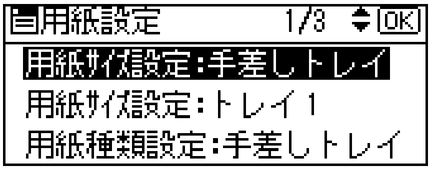


CED008

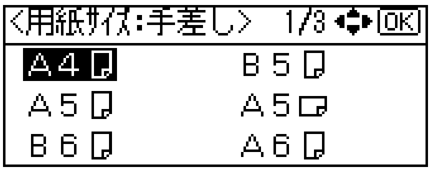
2. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。



3. ［▼］［▲］キーを押して［用紙サイズ設定：手差しトレイ］を選択し、［OK］キーを押します。



4. スクロールキーを押して、セットした用紙サイズとセット方向の組み合わせを選択し、［OK］キーを押します。



5. ［メニュー］キーを押します。

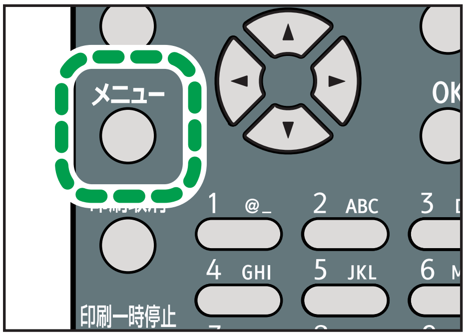
手差しトレイで不定形サイズの用紙を設定する

重要

- 不定形サイズの用紙を印刷するときは、必ず操作部またはプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。

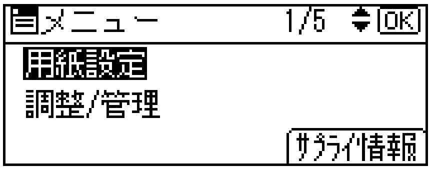
- 不定形サイズの設定は、操作部での設定よりもプリンタードライバーでの設定が優先されます。プリンタードライバーで用紙サイズを設定している場合は、操作部からの設定は不要です。
- [用紙設定] の [優先給紙トレイ] 設定で、優先的に給紙するトレイを設定している場合は、プリンタードライバーでの設定よりも、操作部での設定が優先されます。
- 不定形サイズの設定ができないアプリケーションでは、印刷できません。

1. 操作部の [メニュー] キーを押します。

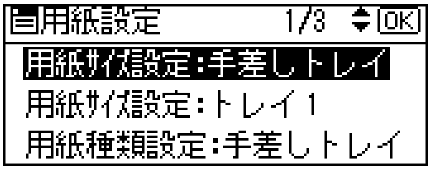


CED008

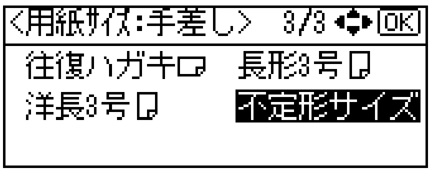
2. [▼] [▲] キーを押して [用紙設定] を選択し、[OK] キーを押します。



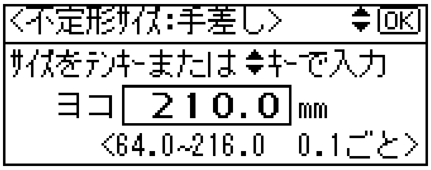
3. [▼] [▲] キーを押して [用紙サイズ設定：手差しトレイ] を選択し、[OK] キーを押します。



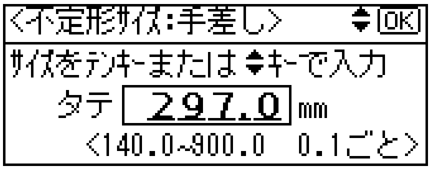
4. スクロールキーを押して [不定形サイズ] を選択し、[OK] キーを押します。



5. テンキーを押して給紙方向に対して横のサイズを入力し、［OK］キーを押します。



6. テンキーを押して給紙方向に対して縦のサイズを入力し、［OK］キーを押します。



7. ［メニュー］キーを押します。

手差しトレイで用紙種類を設定する

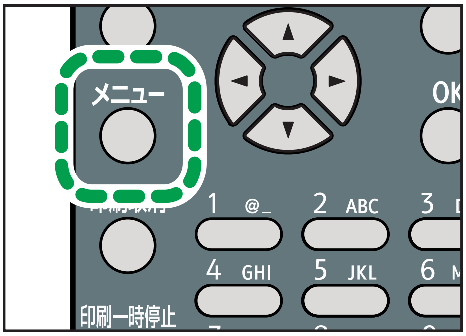
セットした用紙の種類を設定することで、より適切な印刷を行うことができます。

「+Custom」に登録した用紙種類を選択することもできます。詳しくは、P.156「用紙に独自の名前をつけて使用する」を参照してください。

重要

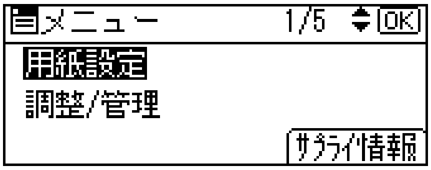
- **厚紙を手差しトレイにセットしたときは、必ず用紙の種類を設定してください。**

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

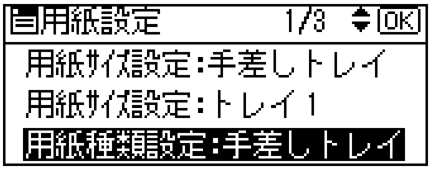


CED008

2. ［▼］［▲］キーを押して［用紙設定］を選択し、［OK］キーを押します。



3. ［▼］［▲］キーを押して［用紙種類設定：手差しトレイ］を選択し、［OK］キーを押します。



4. ［▼］［▲］キーを押してセットした用紙の種類を選択し、［OK］キーを押します。



5. ［メニュー］キーを押します。

封筒または郵便はがきをセットする

本機では、手差しトレイで封筒または郵便はがきを印刷することができます。

封筒をセットする

手差しトレイに封筒をセットする方法を説明します。

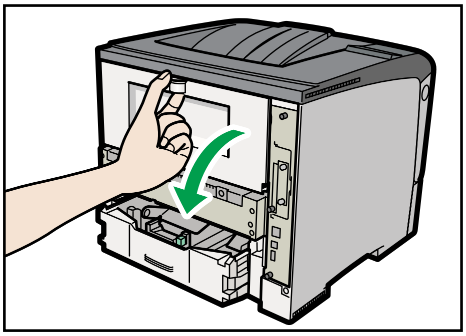
機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

重要

- **封筒をおさえて中の空気を抜いてからセットしてください。**
- **異なるサイズと種類の封筒を混在させてセットしないでください。**
- **封筒の進行方向側の端に鉛筆や定規を当てて、平らにしてからセットください。**

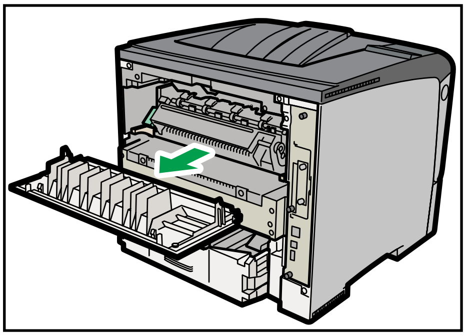
1. 本機の背面カバーを開けます。

両面印刷ユニットを取り付けている場合は、手順 3 へ進んでください。



CEE040

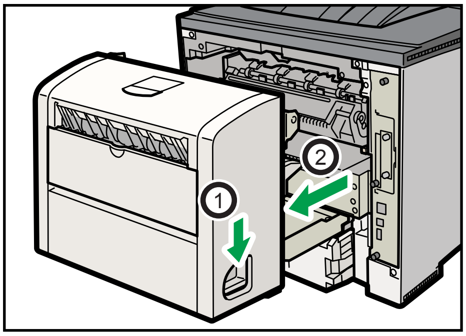
2. 背面カバーを水平方向に取り外します。



CEE041

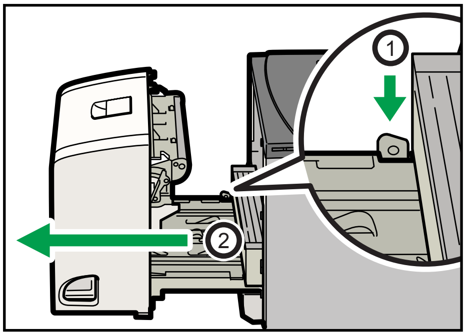
手順 5 へ進んでください。

3. 両面印刷ユニットを取り付けている場合は、両面印刷ユニット側面のレバーを押し下げ（①）、両面印刷ユニットを止まる位置まで引き出します（②）。



CEE056

4. 両面印刷ユニット底板のレバーを押して（①）両面印刷ユニットを本機から引き抜きます（②）。

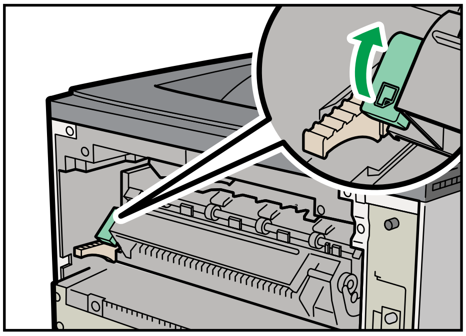


CEE083

5. 封筒レバーを操作します。

- 封筒レバーを上げると紙圧が弱くなります。
- 封筒レバーを下げると紙圧が強くなります。

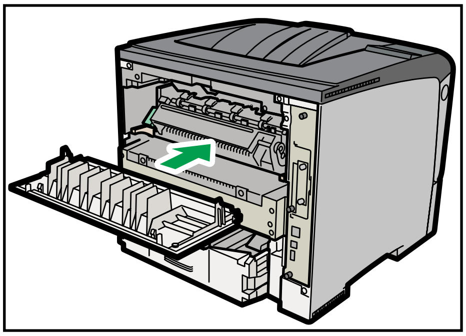
  通常時は下げて使用してください。



CEE058

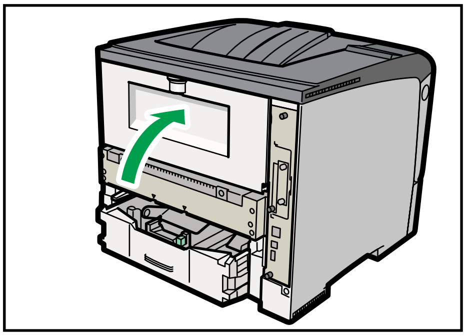
6. プリンター内部に沿わせて、背面カバーを水平方向にセットします。

両面印刷ユニットを取り付ける場合は、手順 8 へ進んでください。



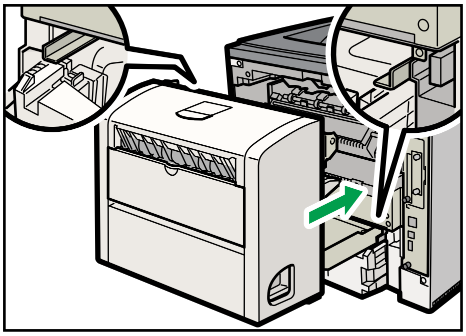
CEE044

7. 本機の背面カバーを閉じます。



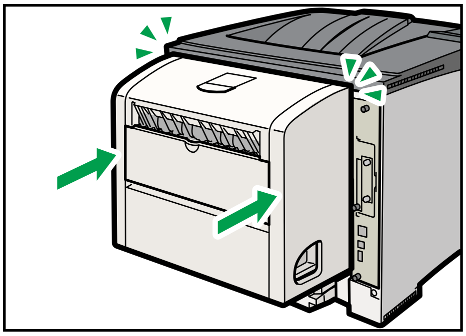
CEE045

8. 両面印刷ユニットを本機背面のレールに差し込みます。



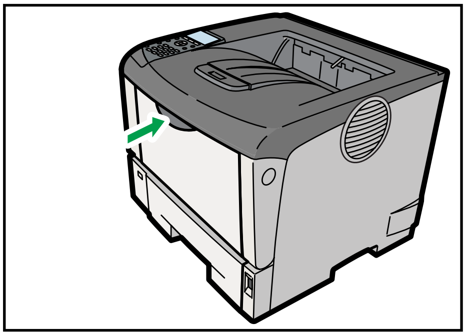
CEE057

9. 両面印刷ユニットをしっかりと本機に押し込みます。

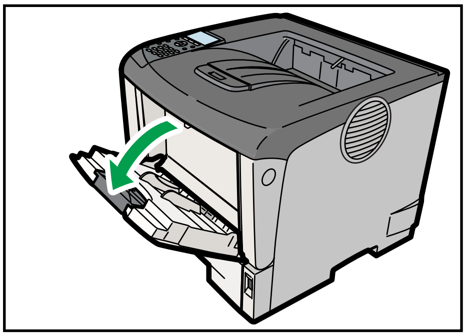


CEE050

10. 手差しトレイの中央部分を押して開けます。

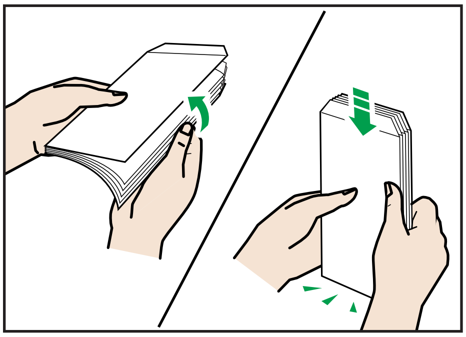


CEE002



CEE006

11. 封筒をセットする前に、封筒をさばいて端をそろえます。

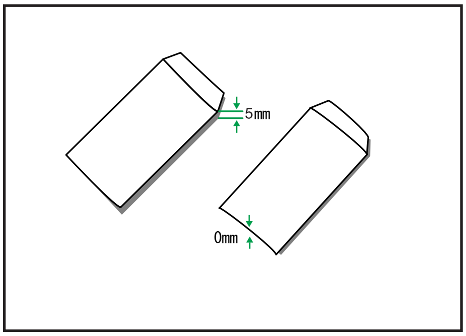


CBJ018

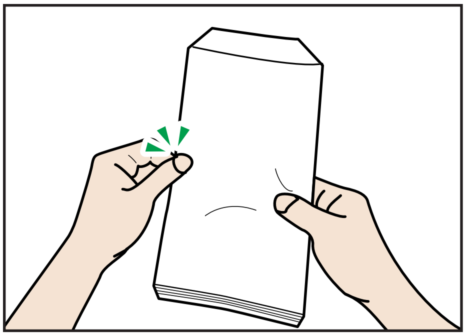
さばくときに、封筒どうしが接着していないか確認し、接着していればはがしてください。

さばくときに、フラップが接着していないか確認し、接着していればはがしてください。

封筒が反っていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響が出る場合があります。セットする前に反りが下図の範囲になるように直してください。それでも反りが大きい場合は、封筒のカールしている部分を図のように指でのして曲がりを直してください。

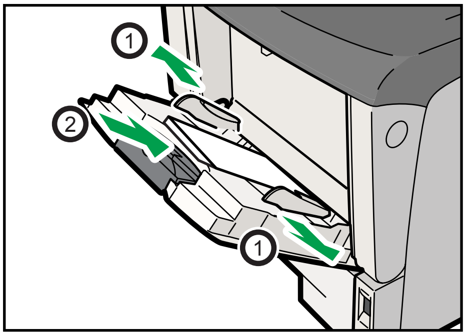


CBJ019



CBJ020

12. 印刷面を上にして、封筒をセットします。



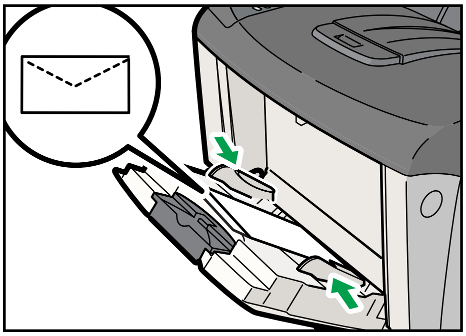
CED011

封筒のフラップ（ふた）の位置により、セット方向が変わります。

短辺側にフラップがあるような和封筒の場合は、開いた状態のフラップが手前側にくるようにセットしてください。長辺側にフラップがあるような洋封筒の場合は、フラップを閉じた状態でフラップが左側にくるようにセットしてください。

セットする封筒の量は、用紙ガイドを超えないようにしてください。

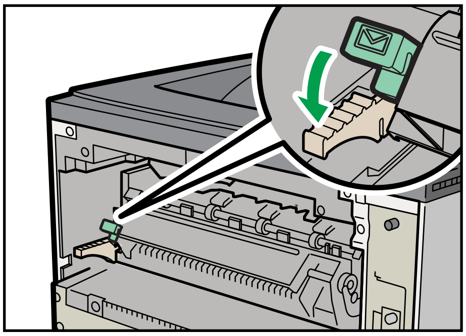
13. 用紙ガイドを封筒に押し当てます。



CED012

補足

- 通常時、もしくは封筒印刷をしないときは、封筒レバーを下げて使用してください。



CEE162

- 印刷後、封筒が大きくカールしたときは、しごいて直してください。

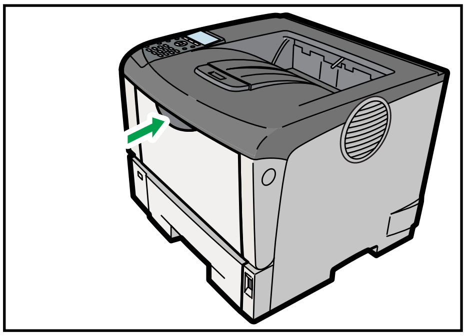
郵便はがきをセットする

手差しトレイに郵便はがきをセットする方法を説明します。

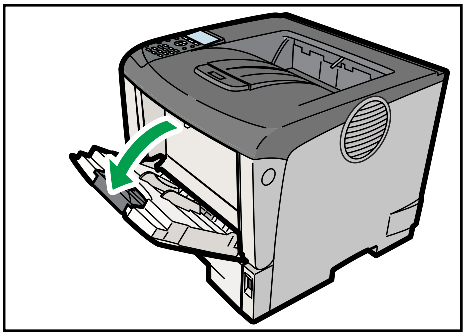
重要

- **印刷面を上にしてセットしてください。**

1. 手差しトレイの中央部分を押して開けます。

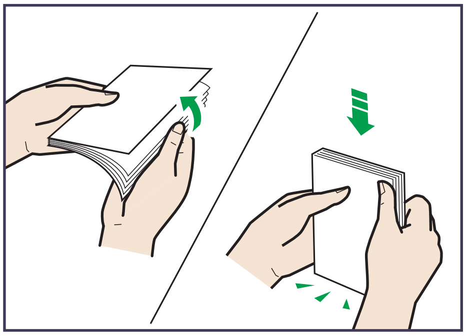


CEE002



CEE006

2. 郵便はがきをセットする前に、郵便はがきをさばいて端をそろえます。

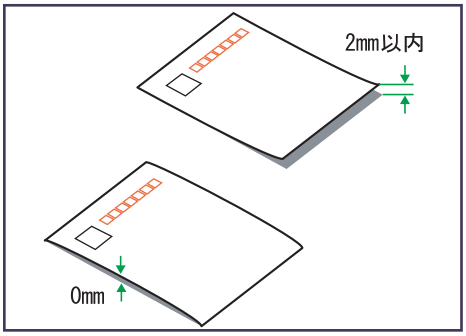


CBJ021

郵便はがきが反っていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響が出る場合があります。セットする前に反りが下図の範囲になるように直してください。

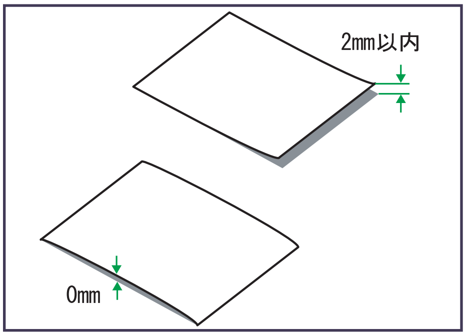
5

- ハガキの表面(宛先記入面)に印刷する場合



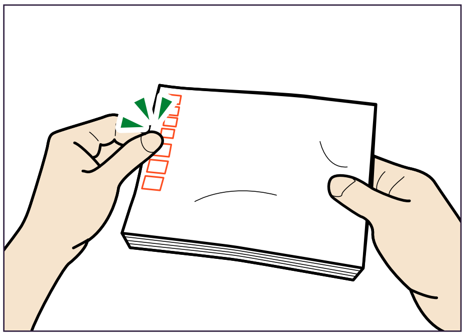
CBJ022

- ハガキの裏面に印刷する場合



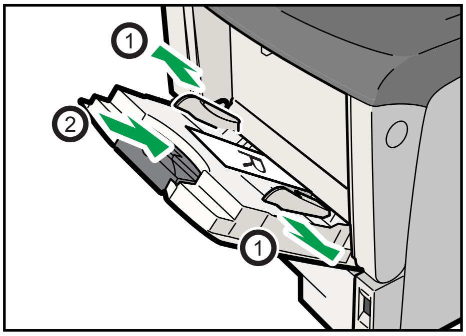
CBJ023

郵便はがきの先端部が曲がっていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響が出る場合があります。セットする前に先端部を図のように指でのして曲がりを直してください。



CBJ024

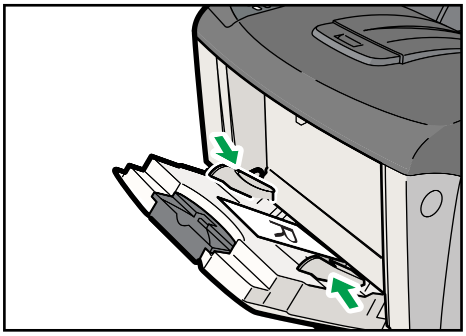
3. 印刷面を上にして、郵便はがきの上側を本体に向けてセットします。



CED013

セットするはがきの量は、用紙ガイドの内側にある「厚紙」の積載量のマークを越えないようにしてください。

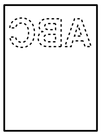
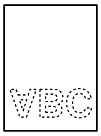
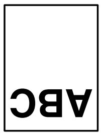
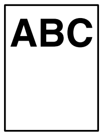
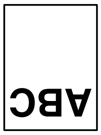
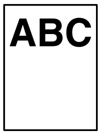
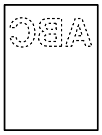
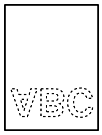
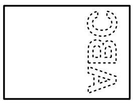
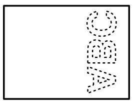
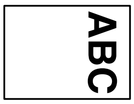
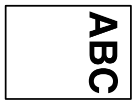
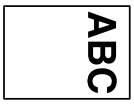
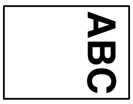
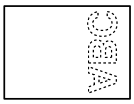
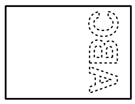
4. 用紙ガイドをはがきに押し当てます。


CED014

天地の向き、表裏のある用紙に印刷する

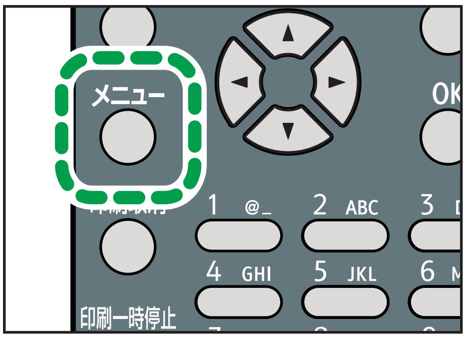
レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏のある用紙は、正しく印刷されないことがあります。正しく印刷する方法を説明します。

操作部とドライバーで、用紙のセット方向と［レターヘッド紙の使用設定］を組み合わせることで、必ず一定方向に印刷できます。

用紙のセット方向	トレイ 1～3		手差しトレイ	
	［レターヘッド紙使用設定］を使用する場合	［レターヘッド紙使用設定］を使用しない場合	［レターヘッド紙使用設定］を使用する場合	［レターヘッド紙使用設定］を使用しない場合
片面印刷				
両面印刷				
片面印刷				
両面印刷				

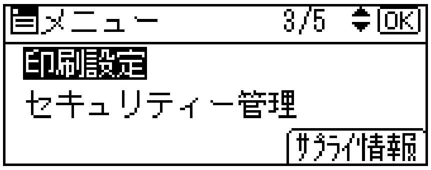
レターヘッド紙で印刷する場合は、必ず印刷設定を変更してください。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

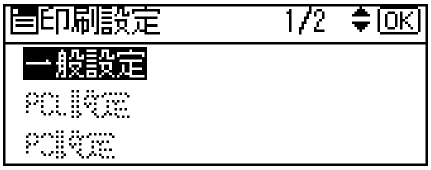


CED008

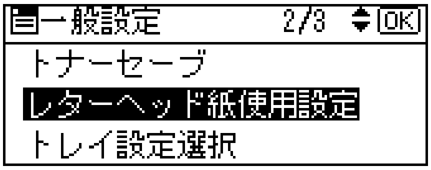
2. [▼][▲]キーを押して[印刷設定]を選択し、[OK]キーを押します。



3. [▼][▲]キーを押して[一般設定]を選択し、[OK]キーを押します。



4. [▼][▲]キーを押して[レターヘッド紙使用設定]を選択し、[OK]キーを押します。



5. [▼][▲]キーを押して設定を変更し、[OK]キーを押します。

設定内容は以下のとおりです。

使用する(常時)	常に一定方向に印刷します。
使用する(自動判定)	プリンタードライバーで、用紙種類が[レターヘッド]を選択しているときだけ、一定方向に印刷します。
使用しない	用紙種類やプリンタードライバーのセッティングに関係なく、一定の用紙方向に印刷されます。

印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

用紙に独自の名前をつけて使用する

本機では、Web Image Monitor を使って、ユーザー用紙種類として独自の名前を付けて登録することができます。この機能を使うことで、用途にあった用紙種類や設定を簡単に選択することができます。

重要

- **この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。**
- **本機とお使いのパソコンとの間で双方向通信が働いているときに使用できます。**
- **RPCS プリンタードライバーで使用できます。**
- **ユーザー用紙種類の名称はログ収集の対象にはなりません。**

補足

- 双方向通信の働く条件に関しては、『ドライバーインストール手順書』「双方向通信が働く条件」を参照してください。

5

用紙種類に名前をつけて登録する

Web Image Monitor の管理者モードで設定します。

重要

- **ご使用になっているプリンタードライバーの各国言語以外で名称を登録すると、プリンタードライバーで文字が正しく表示されない場合があります。**
- **英数カタカナ半角文字以外の名称を登録すると、本機操作部の画面の文字が正しく表示されない場合があります。**

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**
2. **画面左のメニューから［設定］をクリックします。**
3. **［機器］エリアの［ユーザー用紙種類］をクリックします。**
4. **以下の項目を設定します。**

   はがきに印刷する場合を例にして説明します。

   - 用紙名称：用紙の用途を判別できるような名称を入力します。

     「ハガキ」と入力します。

   - 用紙種類：用途にあった用紙の種類をドロップダウンメニューから選びます。

     ［厚紙（106～162g/m^2)］を選択します。はがきを印刷する場合は、用紙種類として［厚紙（106～162g/m^2)］を設定しておきます。設定が不適切な場合、紙づまりなどの原因になります。



5. ［OK］をクリックします。

補足

- 設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 最大 8 種類までユーザー用紙種類を登録できます。
- 使用する用紙と用紙種類との関係については、P.121「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。

トレイにユーザー用紙種類を設定する

各給紙トレイと登録した用紙種類を関連付けます。

印刷する前に、各給紙トレイに用紙をセットします。Web Image Monitor、または本機の操作部を使って、トレイにユーザー用紙種類を設定します。

Web Image Monitor からトレイの設定をする

1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。
2. 画面左のメニューから［設定］をクリックします。
3. ［機器］エリアの［用紙］をクリックします。
4. 設定したいトレイの［用紙種類：］をユーザー用紙種類にして、登録しておいた用紙種類の名称を選びます。



ここでは例として、手差しトレイにユーザー用紙種類「ハガキ」を設定しました。用紙登録については、P.156「用紙種類に名前をつけて登録する」を参照してください。

必要に応じてその他の項目を設定します。

5. ［OK］をクリックします。

6. ［ログアウト］をクリックします。

7. Web ブラウザーを閉じます。

補足

- 各給紙トレイに用紙をセットする方法については、P.130「用紙をセットする」を参照してください。
- 用紙種類を本機の操作部から設定する方法については、P.137「給紙トレイで用紙種類を設定する」または P.143「手差しトレイで用紙種類を設定する」を参照してください。

5

登録した用紙種類に印刷をする

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定を開きます。

2. ［印刷設定］タブで、［用紙種類：］から登録しておいた用紙種類を選択します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、［印刷設定］タブをクリックします。

3. 印刷の指示をします。

あらかじめ登録しておいた設定で印刷されます。

補足

- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

6. 消耗品の交換

消耗品はお早めにお求めくださることをお勧めします。消耗品をお買い求めの際は、P.236「消耗品一覧」を参照してください。

トナーカートリッジを交換する

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠警告

- 本製品に使用しているポリ袋・手袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意

- トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散った場合、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだ場合は、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

重要

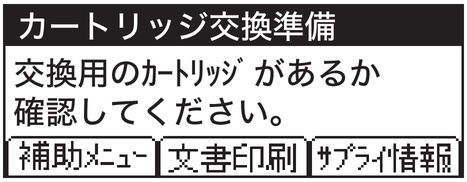
- **前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。トナーカートリッジは、長時間光に当てると性能が低下します。トナーカートリッジの交換はすみやかに行ってください。**
- **トナーカートリッジを斜めに立てかけたり逆さまにしないでください。**
- **トナーカートリッジは冷暗所に保管してください。**
- **トナーカートリッジの寿命は、トナーの残量およびカートリッジ部品の消耗度合いで決まります。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、セット方向、印刷内容、一度に印刷する枚数、環境条件によって異なります。トナーカートリッジは使用期間によっても劣化するため、ご使用の条件によっては、寿命が最大半分程度になる場合があります。**
- **印刷品質を保つため、純正トナーの使用をお勧めします。**
- **商品本来の性能を発揮させるために、リコー純正の消耗品をご使用ください。純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保証期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となる場合があります。（純正品**

以外の消耗品の使用がすべて不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分ご注意ください。）

- **機械の中にゼムクリップ、ステープラーの針、その他の小さな金属片を落とさないようにしてください。**
- **カバーが外れた状態で、長時間トナーカートリッジを直射日光の当たる場所に置かないでください。**

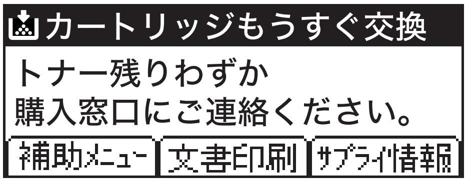
トナーカートリッジの交換時期

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、アラームランプが黄色に点滅します。また、操作部に次のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジを用意してください。

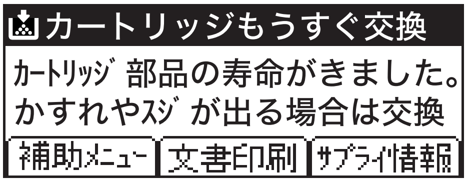


CED019

「カートリッジ交換準備」が表示された後、およそ 200 枚の印刷を行うと、次のメッセージが表示されます。



CED020



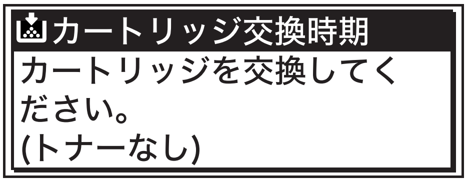
CED021

「カートリッジもうすぐ交換」が表示された後、印刷を続行することはできますが、印刷結果は保証いたしかねます。印刷面にかすれ、スジ、汚れが発生する場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。

操作部に次のメッセージが表示されると、アラームランプが赤色に点灯し印刷が停止します。新しいトナーカートリッジに交換してください。

「カートリッジを交換してください」

- トナーがなくなった場合には、以下の画面が表示されます。



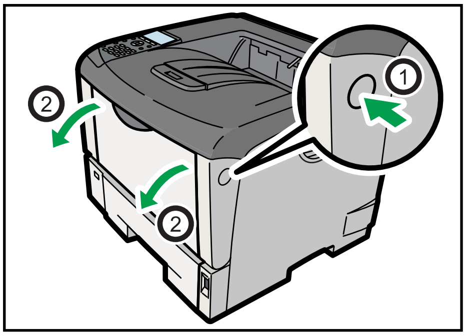
CED022

- トナーカートリッジ内の廃トナーボトルが満杯となった場合には、以下の画面が表示されます。



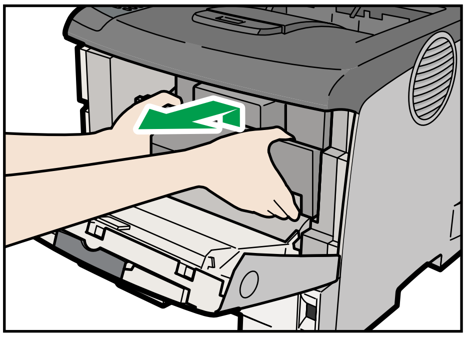
CED023

1. 前カバーオープンボタンを押して（①)、前カバーを開けます（②)。



CEE008

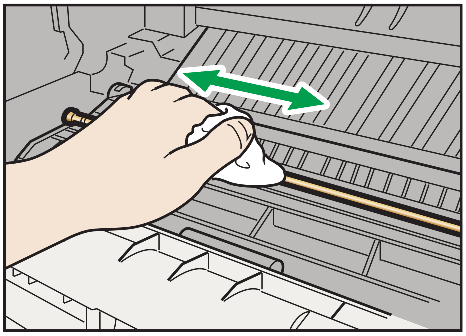
2. トナーカートリッジの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。



CEE017

3. 金属製のレジストローラーの位置を目安に、水でぬらし固く絞った布でレジストローラー周辺の紙粉を拭きとります。

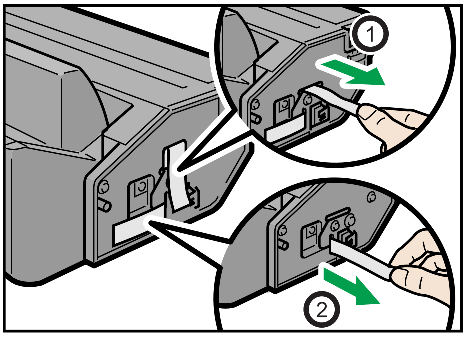
アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。



CEC040

4. 新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出します。

5. トナーカートリッジを水平な場所に置き、片手を添えながらトナーシールを2本水平に引き抜きます。



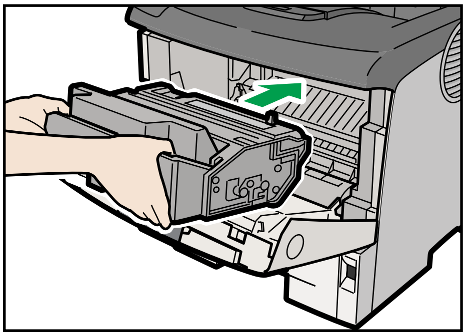
CEE115

トナーシールを引き抜かないで使用すると故障の原因になります。必ずトナーシールを2本とも引き抜いてから使用してください。

トナーシールを引き抜くときは、トナーカートリッジを水平にしてください。立てたり、斜めにした状態で引き抜くと故障の原因になります。

トナーシールは必ず水平に引き抜いてください。上方向や下方向に引き抜くとトナーがこぼれやすくなる原因になります。

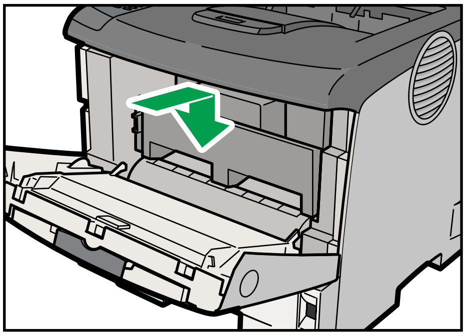
6. トナーカートリッジの取っ手を持ち、プリンター内部に押し込みます。



CEE009

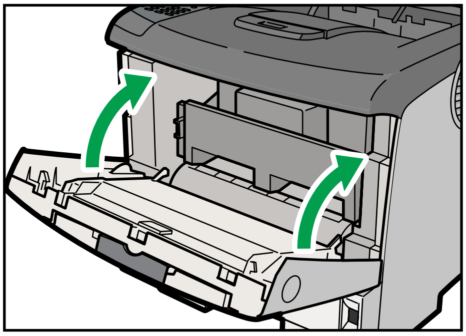
6

7. 奥に突き当たったところで、トナーカートリッジを押し下げます。



CEE007

8. 前カバーを閉めます。



CEE005

補足

- ご使用後のトナーカートリッジの廃棄などのお取り扱いに関しましては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、P.234「使用済み製品の回収とリサイクルについて」を参照してください。
- 消耗品のご購入は、最寄りの販売店にご連絡ください。
- 消耗品をお買い求めの際は、P.236「消耗品一覧」を参照してください。

ご使用後のトナーは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物あるいは回収システムにより処理してください。

環境貢献トナーは、株式会社リコーがトナーカートリッジ（容器）の所有権を有し、使用済み品の回収にご協力いただくことを条件にご提供する消耗品です。使用後は、「回収コールセンター」にご連絡いただき、回収にご協力ください。
回収コールセンター
TEL：0120-05-3958
受付時間：月～金 9：00～17：00（祝日、12：00～13：00 を除く）
FAX：0120-05-3952
受付時間：年中無休 24 時間

7. 清掃

プリンターの清掃について説明します。

清掃するときの注意

⚠警告

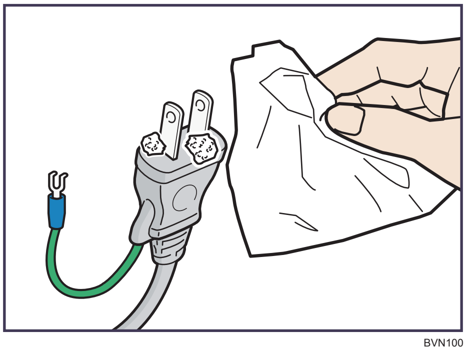
- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー放射により失明の恐れがあります。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- 電源プラグは年に 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。



プリンターを良好な状態に保ち、きれいに印刷するために、定期的に清掃してください。

まず、やわらかい布で空拭きします。空拭きで汚れが取れないときは、やわらかい布を水でぬらし、固く絞ってから拭いてください。水でも取れない汚れは、中性洗剤を使って拭き、水拭きして、そのあと空拭きし、水気を十分に取ります。

重要

- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。変形、変色、ひび割れの原因となります。
- プリンターの内部にほこりや汚れがあるときは、乾いた清潔な布で拭いてください。

フリクションパッドと給紙コロを清掃する

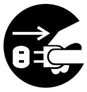
フリクションパッドや給紙コロが汚れると、用紙が多重送りされたり、つまったりする原因になります。その場合、フリクションパッドと給紙コロを清掃します。

⚠注意



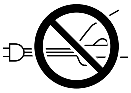
- IPSiO SP 4310 本体は約 17.5kg あります。
- IPSiO SP 4300 本体は約 15.8kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

⚠注意



- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

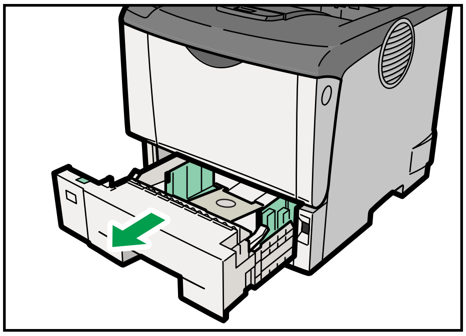
重要

- **アルコールや洗浄剤などは使わないでください。**

1. 本機の電源を切ります。

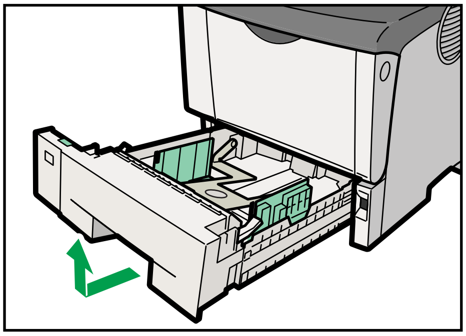
2. 電源プラグをコンセントから抜き、ケーブルを本機から取り外します。

3. 給紙トレイを止まるまで引き出します。



CEE010

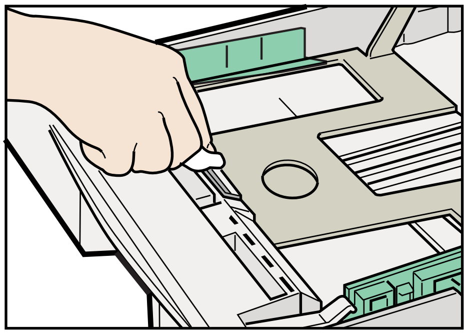
4. 給紙トレイの前面を持ち上げるように引き抜きます。



CEE011

用紙が入っているときは取り出します。

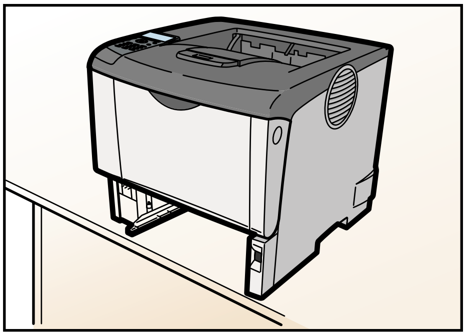
5. 水でぬらし固く絞った布で、フリクションパッド（茶色／白色の部分）を拭きます。



CEE166

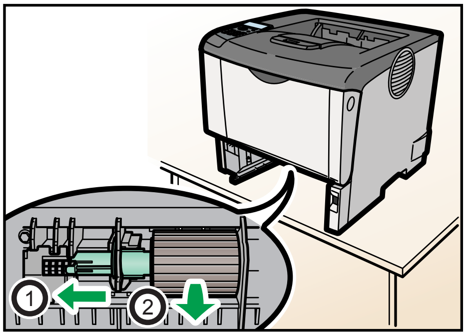
6. 本機を机の端に移動させます。

本機の移動方法については、P.231「移動」を参照してください。



CEE022

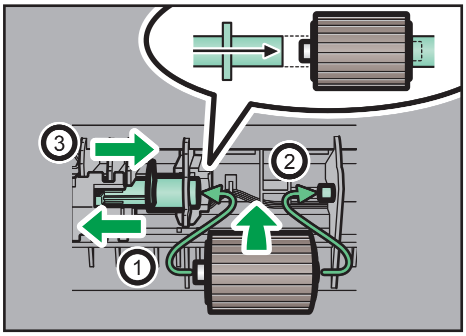
7. 給紙コロ固定レバー（緑色）を左側にスライドさせて（①）、給紙コロを取り外します（②）。



CEE026

8. 水でぬらし固く絞った布で、給紙コロのゴムの部分を拭きます。

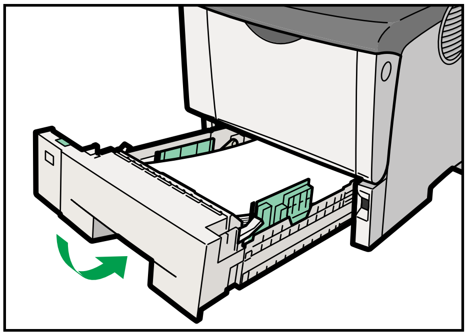
9. 給紙コロ固定レバー（緑色）を左側にスライドさせた状態で（①）、給紙コロをくぼみに入れ（②）、レバーを戻します（③）。



CEC037

緑色の給紙コロ固定レバーの先が、給紙コロの突起部分を完全に覆っていることを確認してください。覆っていない場合は、給紙コロを回しながらレバーを軽く戻し、再度固定しなおしてください。

10. 本体を設置場所に戻し、トレイ 1 を本体にゆっくりとセットします。



CEE012

用紙をセットした給紙トレイをプリンターにセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイのサイドガイドやエンドガイドがずれることがあります。

11. 電源プラグをコンセントに差し込み、インターフェースケーブルを接続します。

12. 本機の電源を入れます。

補足

- オプションの増設トレイを使用している場合は、給紙トレイと同様にフリクションパッドと給紙コロを清掃してください。
- オプションの 500 枚増設トレイユニットおよび 250 枚増設トレイユニットを取り付けているときは、本体給紙トレイ用の給紙コロと同様の手順で 500 枚増設トレイユニットおよび 250 枚増設トレイユニット用の給紙コロを取り外して清掃してください。
- 清掃しても用紙が多重送りされたり、つまったりする場合は、サービス実施店に連絡してください。

7

レジストローラー周辺と給紙トレイを清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときなど、多くの紙粉が出てレジストローラーの周辺が汚れることがあります。

紙粉によって印刷結果に部分的な白ヌケが起きるときは、レジストローラー周辺の紙粉を清掃してください。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- レジストローラー周辺を清掃するときは、プリンターの電源が切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

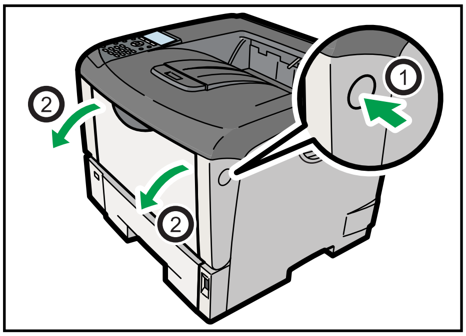
重要

- **アルコールや洗浄剤などは使わないでください。**

1. 本機の電源を切ります。

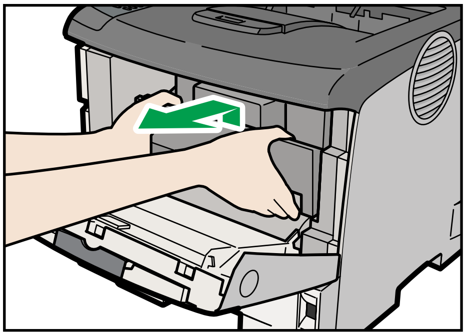
2. 電源プラグをコンセントから抜き、ケーブルを本機から取り外します。

3. 前カバーオープンボタンを押して（①)、前カバーを開けます（②)。



CEE008

4. トナーカートリッジの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。

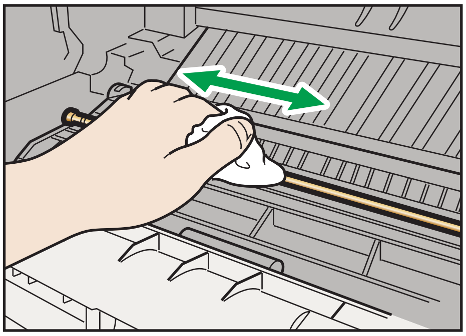


CEE017

トナーカートリッジを置くときは、机などの平らで突起物などのない場所を選んでください。

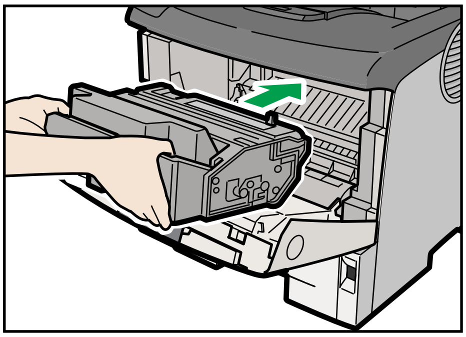
トナーカートリッジは、斜めに立て掛けたり逆さまにしないでください。

5. 金属製のレジストローラーの位置を目安に、水でぬらし固く絞った布でレジストローラー周辺の紙粉を拭きとります。



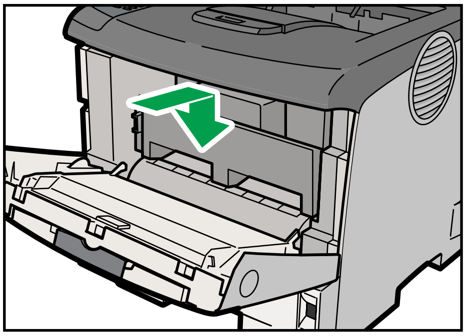
CEC040

6. トナーカートリッジの取っ手を持ち、プリンター内部に押し込みます。



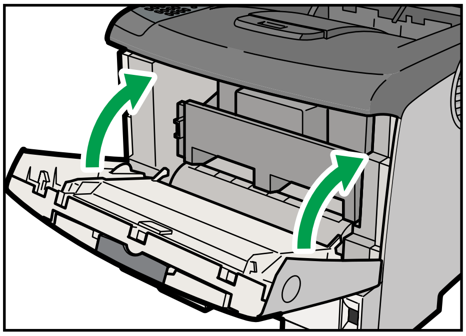
CEE009

7. 奥に突き当たったところで、トナーカートリッジを押し下げます。



CEE007

8. 前カバーを閉めます。



CEE005

トナーカートリッジが奥まで正しくセットされていないと、前カバーが閉まりません。そのときはトナーカートリッジを一度取り出し、セットし直してください。

9. 電源プラグをコンセントに差し込み、ケーブルを接続します。

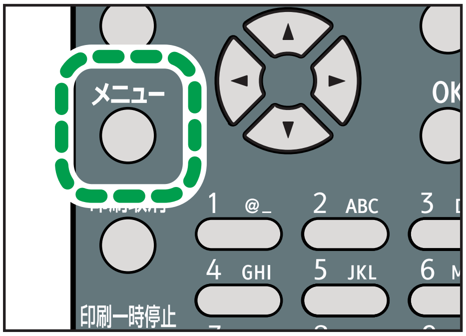
10. 本機の電源を入れます。

8. 調整

印刷濃度を調整する

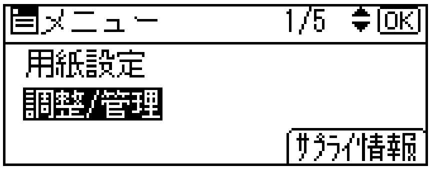
印刷面にかすれや汚れが出たときなどに印刷濃度を調整します。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

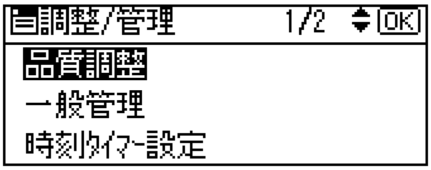


CED008

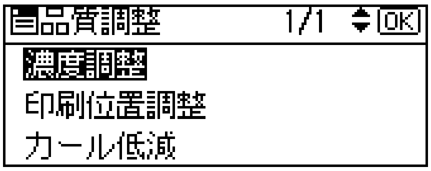
2. ［▼］［▲］キーを押して［調整／管理］を選択し、［OK］キーを押します。



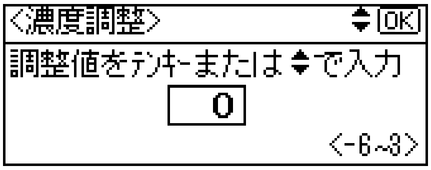
3. ［▼］［▲］キーを押して［品質調整］を選択し、OK キーを押します。



4. ［▼］［▲］キーを押して［濃度調整］を選択し、［OK］キーを押します。



5. テンキーまたは［▼］［▲］キーを押して印刷濃度の調整値を現在の設定から変更します。



印刷濃度は−6〜+3 の 10 段階で調整できます。数値をプラス方向に増やすと濃くなり、マイナス方向に増やすと薄くなります。

6.［OK］キーを押します。

設定が確定し、約 2 秒後に印刷濃度を調整する項目の選択画面に戻ります。

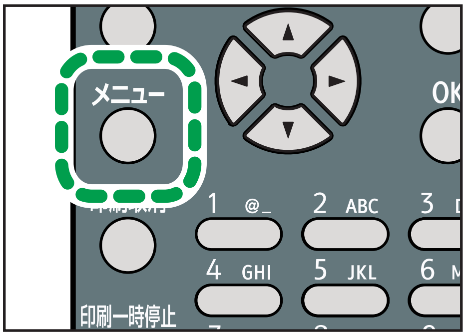
7.［メニュー］キーを押します。

通常の画面に戻ります。

印刷位置を調整する

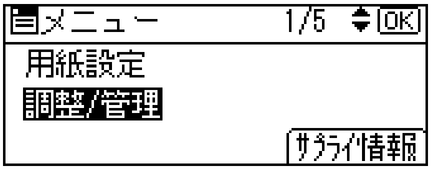
トレイごとの印刷位置を合わせるために印刷位置を調整することができます。縦横の方向は各トレイ共通です。通常は特に設定する必要はありませんが、オプションの増設トレイを取り付けたときに調整します。

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

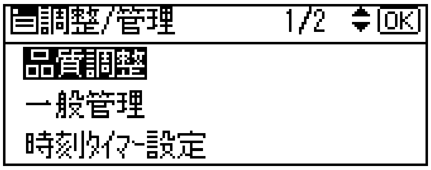


CED008

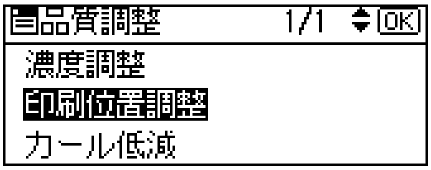
2. ［▼］［▲］キーを押して［調整／管理］を選択し、［OK］キーを押します。



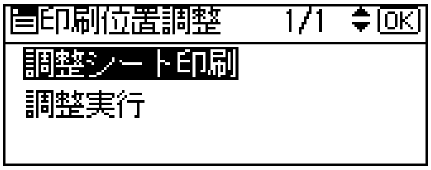
3. ［▼］［▲］キーを押して［品質調整］を選択し、［OK］キーを押します。



4. ［▼］［▲］キーを押して［印刷位置調整］を選択し、［OK］キーを押します。



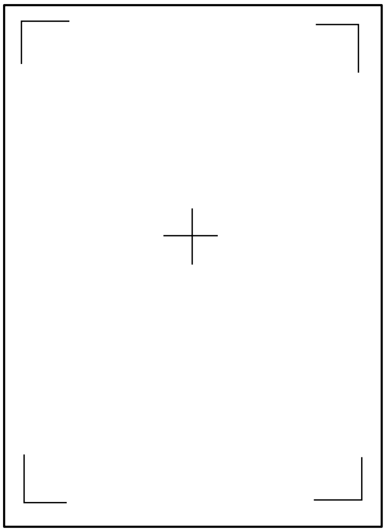
5. 印刷位置を調整するための目安とする調整シートを印刷します。[調整シート印刷] が表示されていることを確認して、[OK] キーを押します。



6. [▼] [▲] キーを押して調整するトレイを選択し、[OK] キーを押します。

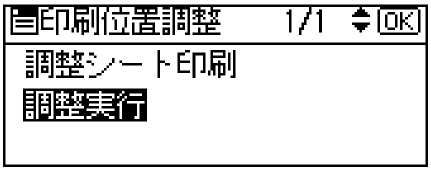


7. 印刷した調整シートを確認して、実際に印刷位置を調整します。

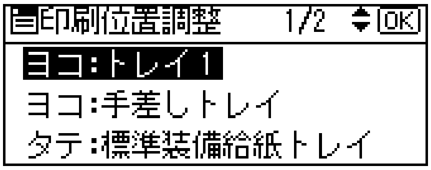


8. [キャンセル] キーを押します。

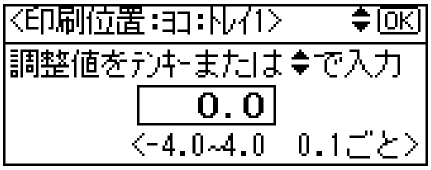
9. [▼] [▲] キーを押して [調整実行] を選択し、[OK] キーを押します。



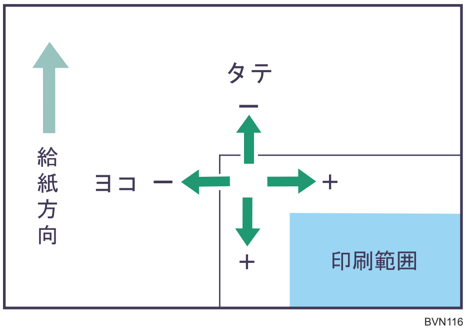
10. [▼] [▲] キーを押して調整するトレイを選択し、[OK] キーを押します。



11. テンキーまたは [▼] [▲] キーを押して、数値（1 単位：0.1mm）を現在の設定から変更します。



印刷位置は、−4mm〜+4mm の段階で設定できます。数値を大きくすると、印刷範囲を+方向にずらして印刷します。数値を小さくすると、印刷範囲を−方向にずらして印刷します。



[▼] [▲] キーを押しつづけると、1mm 単位で設定できます。

12. [OK] キーを押します。

13. [キャンセル] キーを押します。

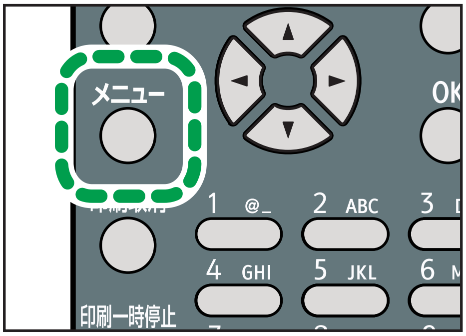
14. [▼] [▲] キーを押して [調整シート印刷] を表示させ、[OK] キーを押します。

15. 手順 5〜手順 6 を行い、調整した結果を確認します。

16. [メニュー] キーを押します。

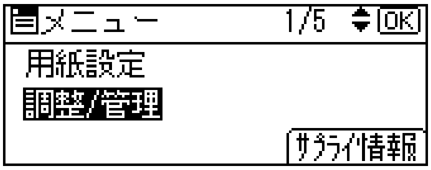
用紙の反りを低減する

1. 操作部の［メニュー］キーを押します。

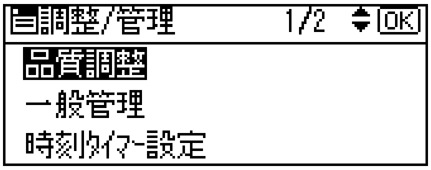


CED008

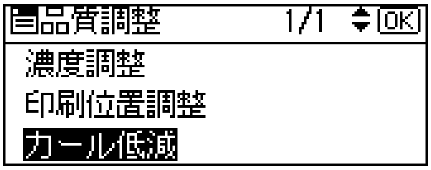
2. ［▼］［▲］キーを押して［調整／管理］を選択し、［OK］キーを押します。



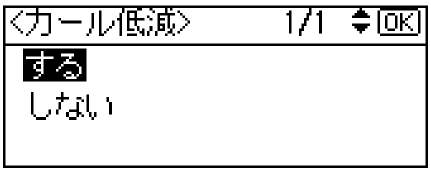
3. ［▼］［▲］キーを押して［品質調整］を選択し、OK キーを押します。



4. ［▼］［▲］キーを押して［カール低減］を表示させ、［OK］キーを押します。



5. ［▼］［▲］キーを押してカール低減を［する］または［しない］を選択します。



6. ［OK］キーを押します。

7. ［メニュー］キーを押します。

補足

- 用紙の種類によっては、印字品質の低下を招く場合があります。
- ファーストプリント／省エネ復帰時間が多少長くなります。

9. 困ったときには

困ったときの対処方法や思いどおりに印刷できないときの対処方法について説明します。

操作部にメッセージが表示されたとき

操作部のディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、以下の表を参考にして対処してください。

補足

- 「エラーコードが表示されるメッセージ」は、[システム設定] メニューの [エラー表示設定] を [すべて表示] に設定すると、画面に表示されるようになります。
- 省エネモード中にエラーが発生した場合は、エラーメッセージは表示されません。
- エラーメッセージが表示されたまま省エネモードに移行すると、エラーの対処を行ってもメッセージは消えません。その場合は操作部のいずれかのボタンを押して、省エネモードを解除してください。

状態表示メッセージ

メッセージ	状態
Energy Saver Mode	省エネモード中です。
印刷中です	印刷実行中です。
印刷一時停止中	印刷は一時停止しています。印刷を再開する場合は、[印刷一時停止／再開] キーを押してください。
印刷できます	印刷可能な状態です。
印刷データ待ち	データ待ちの状態です。しばらくお待ちください。
ウェイティング	データ待ちの状態です。しばらくお待ちください。
オフライン	印刷を実行するときは、[印刷一時停止／再開] キーを押して、オンライン状態にしてください。
おまちください	準備中または定着クールダウン中です。 「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。
@Remote 証明書の更新中です	@Remote 証明書の更新中です。 「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。
印刷取消中です	印刷ジョブを取り消しています。 「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。
設定変更中です	設定変更中です。
停止中ジョブあり	リモートから印刷一時停止指示がありました。機器内にあるすべての印刷ジョブが一時停止中です。

9

メッセージ	状態
ヘキサダンプ	16 進数でデータを印刷できるモードです。 印刷終了後に電源を切り、再度電源を入れてください。

エラーコードが表示されないメッセージ

アルファベット順

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
：A トレイに詰まっている用紙を取り除き、前カバー開閉	本体内部の用紙搬送部で紙づまりが発生しました	給紙トレイを引き出して用紙を取り除いてください。取り除けないときは、前カバーを開けて用紙を取り除いてください。手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイを開けて用紙を取り除いてください。 P.211「紙づまり（A）が発生したとき」を参照してください。
：B 排紙口カバーを開け用紙を取り除いてください。	本体排紙部で紙づまりが発生しました。	排紙口カバーを開けて排紙部から用紙を取り除いてください。 P.216「紙づまり（B）が発生したとき」を参照してください。
：C 後ろカバーを開けて用紙を取り除いてください。	定着ユニットで紙づまりが発生しました。	背面カバーを開けて定着ユニットから用紙を取り除いてください。 P.218「紙づまり（C）が発生したとき」を参照してください。
DHCP サーバーからアドレスが取得できません	DHCP サーバーに接続できません。	DHCP サーバーが動作しているか、イーサネットケーブルが外れていないかなど、DHCP サーバーとの接続状態を確認してください。また、DHCP サーバーをお使いにならない場合は、DHCP の設定を Off にしてください。詳しくは、『ソフトウェアガイド』「インターフェース設定メニュー」を参照してください。
IPv4 アドレスが重複しています	ネットワーク内に同じ IPv4 アドレスを持つ機器が存在します。	本機のインターフェース設定で、重複しない IPv4 アドレスに設定し直してください。管理者に連絡してください。

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
IPv6 アドレスが重複しています ／リンクローカルアドレス ／ステートレスアドレス ／手動設定アドレス	ネットワーク内に同じ IPv6 アドレスを持つ機器が存在します。	管理者に連絡してください。
IPv6 アドレス、ゲートウェイに不正な値が設定されています。	IPv6 アドレス、ゲートウェイアドレスの値が正しくありません。	IPv6 アドレス、ゲートウェイアドレスの設定を確認してください。 管理者に連絡してください。
PDF ファイルエラー	構文エラーなどが発生しました。	印刷しようとしている PDF ファイルが正しいかどうか確認してください。
PS3 モジュールが故障しています ／サービスにご連絡ください	PS3 カードに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
SDRAM モジュールを認識できません ／サービスにご連絡ください	SDRAM モジュールに異常が発生しました。	SDRAM モジュールを交換するか電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
SD カードからの認証に失敗 ／エラー再発生時はサービスに連絡	エミュレーションカードの認証に失敗しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
SRAM 異常 ／SRAM を初期化しました	SRAM に異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
USB エラーです ／サービスにご連絡ください	USB インターフェースに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
WPA 認証完了していない	WPA の認証が未完了です。	WPA の認証方式に応じて設定してください。
：Y1 トレイ 2 に詰まっている用紙を取り除き前カバー開閉	増設トレイ 1 で紙づまりが発生しました。	増設トレイ 1 段目を引き出して用紙を取り除いてください。 P.223「紙づまり（Y1）（Y2）が発生したとき」を参照してください。
：Y2 トレイ 3 に詰まっている用紙を取り除き前カバー開閉	増設トレイ 2 で紙づまりが発生しました。	増設トレイ 2 段目を引き出して用紙を取り除いてください。 P.223「紙づまり（Y1）（Y2）が発生したとき」を参照してください。

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
：Z 両面ユニットを開けて用紙を取り除いてください。	両面印刷ユニット内で紙づまりが発生しました。	両面印刷ユニット後ろカバーを開けて用紙を取り除いてください。 P.225「紙づまり（Z）が発生したとき」を参照してください。
@Remote 証明書の更新失敗 ／サービスにご連絡ください	@Remote 証明書の更新に失敗しました。	電源を入れ直して再度更新してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。

50 音順

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
イーサネットボードエラーです。	イーサネットボードに異常が発生しました。	拡張ギガビットイーサネットボードをセットし直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
印刷できません	印刷不許可のファイルを印刷しようとしています。	印刷不許可の設定を解除して印刷してください。
印刷できる最大サイズを超えています。印刷を取り消してください。	指定された用紙サイズが、使用可能な用紙の最大サイズを超えています。	［印刷取消］の選択キーを押して印刷を中止してください。
印刷保留中 ／印刷を再開する場合は、PC から指示してください。	試し印刷や機密印刷などの印刷ジョブを保留しています。	保留／解除の設定は、Web Image Monitor で行ってください。Web Image Monitor については、『ソフトウェアガイド』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。
遠隔診断機器との接続エラー ／管理者にご連絡ください	RCG（Remote Communication Gate）と通信できません。	管理者に連絡してください。
オプション RAM エラーです。	SDRAM モジュールに異常が発生しました。	SDRAM モジュールを交換してください。 SDRAM モジュールの交換については、P.66「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
カートリッジを交換してください。(トナーなし)	トナーがなくなりました。	トナーカートリッジを交換してください。 P.159「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
カートリッジを交換してください。 (廃トナー満杯)	トナーカートリッジ内の廃トナーボトルが満杯となりました。	トナーカートリッジを交換してください。 P.159「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
カートリッジ交換準備／交換用カートリッジがあるか確認してください。	トナーカートリッジ内の感光体の寿命により、トナーカートリッジの交換時期が近づいています。	新しいトナーカートリッジを用意してください。
カートリッジもうすぐ交換／カートリッジ部品の寿命がきました。かすれやスジが出る場合は交換	トナーカートリッジ内の感光体の寿命です。印刷は継続できますが、印刷品質への影響がでることがあります。	新しいトナーカートリッジを用意してください。
カートリッジもうすぐ交換／トナー残りわずか購入窓口にご連絡ください。	トナーが残りわずかです。	新しいトナーカートリッジを用意してください。
カートリッジを正しくセットしてください。	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。 トナーカートリッジのセット方法はP.159「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
カバーオープン 白黒反転または矢印の部分を閉めてください。	本体前カバー、背面部カバー、排紙口または両面ユニットカバーが開いています。	本体前カバー、背面部カバー、排紙口または両面ユニットカバーを閉めてください。
給紙トレイに用紙がありません。 用紙を補給してください。	指定したトレイに用紙がセットされていません。	指定したトレイに用紙をセットしてください。P.130「用紙をセットする」を参照してください。
給紙トレイを正しくセットしてください。	指定したトレイが、正しくセットされていません。	指定したトレイが正しくセットされているか確認してください。 他の用紙がセットされているトレイを新たに指定して印刷するときは［強制印刷］、データを取り消すときは［印刷取消］の選択キーを押してください。
現在の無線LANカードではWPAは動作しません	WPA非対応の無線LANカードを使用しています。	WPAに対応した無線LANカードを使用してください。

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
故障時自動通報 SC：####	故障しています。	電源を入れ直して確認してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。その際、エラーコード（左記の「####」部分）も連絡してください。
この NetBIOS 名は使用されています	ネットワーク内で NetBIOS 名が重複しています。	NetBIOS 名が重複しないよう設定し直してください。
サーバーと通信できません	サーバーに接続できない。応答がない。	管理者に連絡してください。
最大サイズオーバーです。 強制印刷また印刷を取り消してください。	印刷できる最大サイズを超えています。	設定を変更して印刷するときは［設定変更］、データを取り消すときは［印刷取消］、設定を変更しないで印刷するときは［強制印刷］を、それぞれの選択キーを押して実行します。
修理依頼通報 SC：####	故障の可能性があります。	電源を入れ直して確認してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。その際、エラーコード（左記の「####」部分）も連絡してください。
消耗品の自動発注に失敗 ／ XXX	消耗品の自動発注に失敗しました。 （XXX：カートリッジ、用紙などの各種消耗品）	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。
センターに接続できませんでした／プロキシユーザー名／パスワードを確認	プロキシユーザー名もしくはパスワードが間違っています。	プロキシユーザー名もしくはパスワードを正しく設定してください。
定着ユニットを正しくセットしてください。	定着ユニットがセットされていないか、正しくセットされていません。	サービス実施店に連絡してください。
手差しトレイに用紙をセットしてＯＫを押してください。	手差しトレイに用紙がセットされていません。	手差しトレイに用紙をセットてから［OK］キーを押して印刷を継続してください。

9

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
トレイ#に用紙がありません。補給してください。 ・用紙サイズ（用紙種類）	表示されたトレイ#（1〜3、手差し）に用紙がセットされていません。	表示されたトレイに用紙を補給してください。 他の用紙がセットされているトレイを新たに指定して印刷するときは［強制印刷］、データを取り消すときは［印刷取消］の選択キーを押してください。
トレイ#は片面印刷のみの設定となっているため両面印刷できません	表示されたトレイ#（トレイの名前）の設定が片面印刷に設定されています。	両面印刷できるトレイを選択し直すか、表示されたトレイの設定を変更します。 設定を変更して印刷するときは［用紙設定］メニューの［両面印刷トレイ］から表示されたトレイを選択し［両面印刷する］を選択します。
トレイ#を下記設定に変更してください。 ・用紙サイズ（用紙種類）	表示されたトレイ#（1〜3）の用紙種類または用紙サイズが、プリンタードライバーや操作部で指定した用紙種類または用紙サイズと異なります。	表示されたトレイに、指定したサイズの用紙をセットした上で、操作部で用紙サイズを変更してください。 設定を変更して印刷するときは［設定変更］、データを取り消すときは［印刷取消］、設定を変更しないで印刷するときは［強制印刷］を、それぞれの選択キーを押して実行します。
ネットワークに接続できません ／管理者にご連絡ください	ネットワークに接続できません。	管理者に連絡してください。
ネットワークに接続できません ／IP アドレスの設定を確認	IPv4 アドレスの設定が正しくありません。	IPv4 アドレスの設定を確認してください。管理者に連絡してください。
ネットワークの設定を確認してください	IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定が正しくありません。	ネットワーク（IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の設定を確認してください。管理者に連絡してください。
ハードディスクが故障しました ／サービスにご連絡ください	拡張 HDD に異常が発生しました。	拡張 HDD をセットし直してください。それでもメッセージが消えないときは、サービス実施店に連絡してください。 拡張 HDD のセット方法については、P.62「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
排紙先が満杯です。／用紙を取り除いてください。	本体の排紙トレイが満杯になりました。	本体排紙トレイの用紙を取り除いてください。データを取り消すときは［印刷取消］の選択キーを押してください。
パスワード不一致	暗号化された PDF ファイルのパスワードが一致していません。	正しいパスワードを入力してください。
パラレル I/F エラーです。	パラレルインターフェースに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。また、適切なインターフェースケーブルを使用していることを確認してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
非純正トナーがセットされています	セットされているトナーカートリッジが純正ではないトナーカートリッジの可能性があります。	純正ではないトナーカートリッジを装着している場合は、純正のトナーカートリッジをセットしてください。
ファイルシステムエラー	PDF ダイレクト印刷用の領域を確保できません。	［システム設定］メニューの［RAM ディスク］の設定値を増やすか、不要なファイルを削除してください。もしくは拡張 HDD を増設してください。拡張 HDD の増設については、P.62「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。
ファイルシステムフル	PDF ダイレクト印刷用の領域が不足しているため、PDF ダイレクト印刷を実行できません。	［システム設定］メニューの［RAM ディスク］の設定値を増やすか、または、不要なファイルを削除してください。
複数のインターフェースで IPv4 アドレスが重複しています。	ネットワーク内の複数の機器が、同一の IPv4 アドレスを使用している。	IPv4 アドレスが重複しないよう設定してください。
プリンターフォントエラーです。	プリンターのフォントファイルに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
プロキシの設定を確認。再エラー時： ／サービスにご連絡ください	Proxy が設定されていません。Proxy のアドレスまたはポート番号が間違っています。	Proxy のアドレスまたはポート番号を正しく設定し、電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。

メッセージ ／交互表示されるメッセージ	原因	対処方法・参照先
無線カードが故障しています ／サービスにご連絡ください	拡張無線 LAN カードに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、拡張無線 LAN カードをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
無線カードに接続できません ／主電源を切り、カードを確認	拡張無線 LAN カードに異常が発生しました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときは、拡張無線 LAN カードをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
メンテナンスキットの交換時期です。	定期交換部品キット（定着ユニット、転写ローラー、給紙コロ、フリクションパッド）の交換時期です。	サービス実施店に連絡してください。
メンテナンスキットもうすぐ交換	定期交換部品キット（定着ユニット、転写ローラー、給紙コロ、フリクションパッド）の交換時期が近づきました。	サービス実施店に連絡してください。
用紙種類／サイズが異なります。下記設定に変更してください。 ・用紙サイズ（用紙種類）	自動選択の対象となるトレイ#（1〜3、手差し）に、プリンタードライバーや操作部で指定した用紙サイズ、用紙種類と一致するトレイがありません。	任意のトレイを選び、指定したサイズ・種類の用紙をセットします。操作部に表示されたサイズ・種類の用紙に変更して印刷するときは［設定変更］、データを取り消すときは［印刷取消］、設定を変更しないで印刷するときは［強制印刷］を、それぞれの選択キーを押して実行します。

9

エラーコードが表示されるメッセージ

コード番号順

エラーメッセージ	原因	対処方法
84：ワークエラー	イメージを処理するためのメモリー領域がありません。	SDRAM モジュールを増設するか、送信データを小さくしてください。SDRAM モジュールの増設については、P.66「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
85：グラフィック	指定されたグラフィックスライブラリがありません。	送信データが正しいか確認してください。
86：パラメーター	モノクロエミュレーションをご使用で、自作プログラムソフトでご利用の場合などに、制御コードのパラメーターが不適当です。	正しいパラメーターを設定してください。
87：メモリーオーバー	印刷する用紙サイズのためのメモリー領域がありません。	SDRAM モジュールを増設するか、小さいサイズの用紙サイズを指定してください。P.66「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
89：メモリースイッチ	印刷条件の設定値が不適当です。	印刷条件を正しく設定してください。
90：メディアフル	拡張 HDD の容量が不足しています。	拡張 HDD に登録されている不要なデータを削除してください。
92：メモリーオーバー	イメージ／フォームオーバーレイのためのメモリー領域がありません。	SDRAM モジュールを増設するか、送信データを小さくしてください。P.66「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
93：メモリーオーバー	外字またはフォントなどを登録するメモリー領域が足りません。	SDRAM モジュールを増設するか、送信データを小さくしてください。P.66「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
94：ダウンロード	フォントのダウンロードデータに誤りがありました。	フォントセットダウンロードのパラメーターを修正してください。
95：フォントエラー	指定されたフォントがフォントテーブルにありません。	文字コードを正しく設定してください。

9

エラーメッセージ	原因	対処方法
96：セレクトエラー	指定されたフォントを選択できませんでした。	存在するフォントを選択するようにパラメーターを修正してください。
97：アロケーションエラー	フォントを登録する領域がありません。	SDRAM モジュールを増設してください。P.66「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
98：アクセスエラー	拡張 HDD に正常にアクセスできません。	拡張 HDD を正しく取り付けてください。P.62「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。
99：ワーニング	RTIFF データの処理中に警告レベルのエラーが発生しました。	詳しくは、『RTIFF 編』を参照してください。
99：データエラー	RTIFF データの処理中に警告レベルのエラーが発生しました。	詳しくは、『RTIFF 編』を参照してください。
9B：認証不適合	認証が不適合なユーザーが、プログラムの登録または給紙トレイの情報登録をしようとしました。	ユーザーの権限を確認してください。
A3：オーバーフロー	受信バッファがオーバーフローしました。	プリンターの受信バッファを多く設定してください。
A4：ソートオーバー	ソートできる枚数をオーバーしています。	ソート枚数を適切な数値にしてください。
A6：ページフル	印刷中に画像メモリーが不足しました。	SDRAM モジュールを増設するか、送信データを小さくしてください。P.66「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
A9：ページエラー	試し印刷、機密印刷でページオーバーが起こりました。	印刷するページ数を減らしてください。
AA：文書数エラー	試し印刷、機密印刷で文書数がオーバーしました。	登録されている文書を削除するか、文書のデータのサイズを小さくしてください。
AB：ハードディスクフル	試し印刷、機密印刷で拡張 HDD がオーバーフローしました。	登録されている文書を削除するか、文書のデータのサイズを小さくしてください。
AC：ハードディスクフル	拡張 HDD のフォーム、フォント用領域でオーバーフローしました。	不要なフォームまたはフォントを削除してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
AD：蓄積エラー	拡張 HDD が装着されていない状態で、機密印刷の指示が出されました。	機密印刷を実行するときは、本機に拡張 HDD を装着してください。P.62「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。
AF：登録数エラー	イメージオーバーレイのフォーム登録で登録数オーバーが発生しました。	登録されているイメージオーバーレイファイルを削除してください。
AG：ハードディスクフル	イメージオーバーレイのフォーム登録で HDD オーバーフローが発生しました。	登録されているイメージオーバーレイファイルを削除するか、登録データサイズを小さくしてください。
AH：登録エラー	イメージオーバーレイのフォーム登録で登録済みのフォーム番号に登録しようとした。	イメージオーバーレイのフォーム登録の場合はフォーム番号を変えるか登録済みのフォームを削除してから登録してください。
AI：用紙サイズエラー	給紙できない用紙サイズの印刷が指定されたため、オートジョブリセットが実行されました。	給紙可能な用紙サイズを指定してください。
AJ：用紙種類エラー	給紙できない紙種の印刷が指定されたため、オートジョブリセットが実行されました。	給紙可能な紙種を指定してください。
B6：ユーザーの自動登録に失敗	登録件数が満杯で、LDAP 認証、Windows 認証時に認証情報を機器のアドレス帳に自動登録できません。	管理者に連絡してください。
B7：登録済ユーザーと情報が重複	LDAP や RDH 認証で、異なるサーバに別の ID で同じ名前が登録されていて、ドメイン（サーバー）の切り替えによるなどで、名前（アカウント名）の重複が発生しました。	管理者に連絡してください。
B8：サーバー応答なし	LDAP 認証、Windows 認証の際にサーバへの認証問い合わせでタイムアウトが発生しました。	認証問い合わせ先のサーバーの状態を確認してください。
B9：他機能でアドレス帳使用中	他の機能でアドレス帳を使用中の状態が続いており、認証問い合わせができません。	しばらくしてからもう一度操作をやり直してください。
BA：利用権限がありません	利用者制限により印刷ジョブがキャンセルされました。	ユーザーコードの許可条件を確認してください。

9

エラーメッセージ	原因	対処方法
BC：ソートエラー	ソートが解除されました。	電源を入れ直してください。それでもメッセージが消えないときはサービス実施店に連絡してください。
BF：両面エラー	メモリー不足のため、または両面印刷できない用紙サイズが指定されたため、両面印刷の指定が解除されました。	SDRAM モジュールを増設するか、送信データを減らしてください。SDRAM モジュールの増設については、P.66「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
BI：紙種名称エラー	指定された紙種名称が機器内に設定されていません。	本機の電源を入れなおすか、リセットしてください。
BJ：分類コードが不正です	分類コードが必要な機器設定なのにジョブに分類コードが指定されていません。	プリンタージョブに対して分類コードが指定されていません。プリンターのプロパティーから分類コードを指定し、再度印刷をしてください。
BQ：圧縮データエラー	圧縮データが破損しています。	PC とプリンターが正常に通信できているか確認してください。 圧縮データ作成ツールが正常に動作を完了しているか確認してください。
P1：コマンドエラー	RPCS のコマンドエラーが発生しました。	電源を入れ直してしてください。それでも同じメッセージが表示されるときは、次のいずれかを確認してください。 • ホストとプリンターの間で正常に通信ができるか。 • 機種に合ったプリンタードライバーを使用しているか。 • プリンタードライバーのメモリーを正しく設定しているか。
P2：メモリーエラー	メモリー取得エラーが発生しました。	SDRAM モジュールを増設してください。P.66「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
P3：メモリーエラー	メモリー取得エラーが発生しました。	電源を入れ直してしてください。それでも同じメッセージが表示されるときは、SDRAM モジュールを交換してください。P.66「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。
P4：送信中止	プリンタードライバーから、データ送信中断コマンドを受信しました。	ホストが正しく動作しているか確認してください。
P5：受信中止	データの受信が中断しました。	データを再送してください。

補足

- エラーの内容はエラー履歴に印刷されます。あわせてご確認ください。詳しくは、P.52「テスト印刷する」を参照してください。

9

ブザー音が鳴ったとき

本機は、機器の状況などをブザー音でお知らせします。それぞれのブザー音について説明します。

ブザー音のパターン	意味	状態
“ピーピー”	準備完了音	電源を入れ、使用可能な状態になったときに鳴ります。
“ピッ”	入力完了音	操作部で正常なキー操作をしたときに鳴ります。
“ピッピー”	入力無効音	操作部で無効なキー操作をしたときに鳴ります。
“ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー”	弱注意音 （同じパターンを 4 回繰り返します）	用紙切れなどで、プリントジョブが完了できないときに鳴ります。
“ピピピピピ” “ピピピピピ” “ピピピピピ” “ピピピピピ” “ピピピピピ”	強注意音 （同じパターンを 5 回繰り返します）	紙づまりやトナー補給など、お客様による対処が必要となったときに鳴ります。

補足

- 鳴動中のブザー音を止めることはできません。このため紙づまりやトナー補給のときに、前カバーなどの開閉を続けて行うと、本機が正常な状態に戻っていてもブザー音が鳴り続けることがあります。
- ブザー音を鳴らすか鳴らさないかの設定について、『ソフトウェアガイド』「プリンター本体の設定」を参照してください。

9

印刷がはじまらないとき

確認すること	対処方法
電源が入っていますか？	電源プラグがコンセントとプリンターに確実に差し込まれていることを確認した後、電源スイッチを「On」側にしてください。
[印刷一時停止／再開] キーが点灯していますか？	[印刷一時停止／再開] キーを押して、印刷を再開させてください。
アラームランプは点灯していませんか？	点灯しているときは、操作部のエラーメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。
用紙はセットされていますか？	給紙トレイまたは手差しトレイまたは増設トレイに用紙をセットしてください。 詳しくは、P.130「用紙をセットする」を参照してください。
テスト印刷ができますか？	テスト印刷ができない場合は、本機が故障している可能性があります。サービス実施店に相談してください。 詳しくは、P.52「テスト印刷する」を参照してください。
インターフェースケーブルがきちんと接続されていますか？	インターフェースケーブルがパソコン、プリンターにしっかりと接続されていることを確認してください。
インターフェースケーブルは適切なものを使用していますか？	使用するインターフェースケーブルは使用するパソコンの機種によって異なります。適切なケーブルを使用してください。 断線が考えられるときは、ほかのケーブルを接続して確認してください。 詳しくは、P.85「パソコンとの接続」を参照してください。
印刷実行後、データインランプが点滅・点灯しますか？	印刷を実行してもデータインランプが点滅・点灯しないときは、プリンターにデータが届いていません。 **パソコンとケーブルで接続しているとき** 印刷ポートの設定が適切かどうかを確認してください。印刷ポートの確認方法は、P.199「パソコンとケーブルで直接接続しているとき」を参照してください。 **パソコンとネットワークで接続しているとき** ネットワークの管理者に相談してください。

9

確認すること	対処方法
拡張無線 LAN ボードを使用している場合、電波状態は良好ですか？	**アドホックモード** 電波の通る場所へ移動するか、障害物を取り除いてください。 **インフラストラクチャーモード** 操作部の［調整／管理］メニューから、電波状態を確認してください。電波状態が悪い場合は、電波の通る場所へ移動するか、障害物を取り除いてください。

それでも印刷がはじまらないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。

パソコンとケーブルで直接接続しているとき

データインランプが点滅・点灯しないときの、印刷ポートの確認方法は以下のとおりです。印刷ポートの設定が適切かどうか確認してください。

- パラレルインターフェースで接続しているときは、LPT1 または LPT2 に設定します。
- USB インターフェースで接続しているときは、USB00（n）に設定します。

  ※（n）はプリンターの接続台数によって異なります。

Windows 2000 の場合

1. **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**
2. **本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**
3. **［ポート］タブをクリックします。**
4. **［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。**

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合

1. **［スタート］ボタンをクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。**
2. **本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**
3. **［ポート］タブをクリックします。**
4. **［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。**

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合

1. **［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。**

9

2. ［ハードウェアとサウンド］から［プリンタ］をクリックします。
3. 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、右クリックして表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。
4. ［ポート］タブをクリックします。
5. ［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。

Windows 7、Windows Server 2008 R2 の場合

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。
2. 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、右クリックして表示されたメニューから［プリンターのプロパティ］をクリックします。
3. ［ポート］タブをクリックします。
4. ［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。

補足

- インストールやポートの設定の詳細については、『ドライバーインストール手順書』「プリンタードライバーをポート別にインストールする」を参照してください。

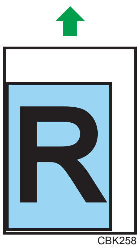
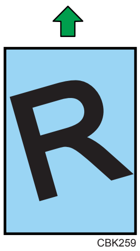
思いどおりに印刷できないとき

パソコンから印刷を実行しても、思いどおりに印刷できないときの対処方法に関する説明です。

きれいに印刷できないとき

状態	原因・対処方法・参照先
用紙の印刷面に汚れが出る	印刷濃度を下げて印刷してみてください。印刷濃度を調整するときは、操作部の［メニュー］キーを押し、［調整／管理］メニューから［濃度調整］を選択します。 詳しくは、P.175「印刷濃度を調整する」を参照してください。
用紙の印刷面に汚れが出る	用紙が反ったり、曲がったりしていませんか？ 用紙が反っていたり、曲がっていたりすると、汚れの原因になります。特にはがきは反りが発生しやすいので、セットする前に必ず直してください。詳しくは、P.138「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。
用紙の印刷面に汚れが出る	用紙の表／裏を逆にして、トレイにセットしてみてください。
用紙の印刷面に汚れが出る	トナーシールを引き抜いた後でトナーカートリッジに振動を与えると、印刷面に汚れが出たり、トナーこぼれや故障の原因になります。誤ってトナーカートリッジを振ってしまったときは、印刷面に汚れが出なくなるまで（50 枚程度）印刷を繰り返してください。
用紙の裏面が汚れる	セットした用紙と用紙サイズダイヤルが合っていない可能性があります。セットした用紙サイズと方向の組み合わせに用紙サイズダイヤルを合わせてください。詳しくは、P.130「給紙トレイまたは増設トレイに用紙をセットする」を参照してください。 手差しトレイにセットしている用紙サイズ・方向と、操作部の設定が合っていない可能性があります。操作部で設定を確認し、セットした用紙サイズと方向に合わせてください。詳しくは、P.138「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。
用紙の裏面が汚れる	原稿サイズが用紙サイズより大きい場合（例：A4 の原稿を B5 に印刷しようとする場合）、次に印刷する用紙の裏面が汚れることがあります。
全体がかすれる	印刷濃度を上げて印刷してみてください。印刷濃度を調整するときは、操作部の［メニュー］キーを押し、［調整／管理］メニューから［濃度調整］を選択します。 詳しくは、P.175「印刷濃度を調整する」を参照してください。
全体がかすれる	適切な用紙がセットされていません。当社推奨の用紙に変えてください。（目の粗い用紙や表面が加工されている用紙に印刷するとかすれて印刷されることがあります） 詳しくは、P.236「消耗品一覧」を参照してください。

9

状態	原因・対処方法・参照先
指でこするとにじむ	厚紙を使用している場合、用紙種類の設定が厚紙になっていない可能性があります。 プリンタープロパティの［項目別設定］タブの［用紙］メニューで、［用紙種類］を［厚紙］に設定してください。
印刷の濃度が変わってしまった	印刷結果が濃くなったり薄くなったりしたときは、印刷濃度を調整してください。詳しくは、P.175「印刷濃度を調整する」を参照してください。
画像がぼやける	結露が発生すると画像がぼやける原因になります。寒い部屋から暖かい部屋に急に移動した場合など、結露が発生したときは、本機を室温に十分なじませてから印刷してください。 また、アプリケーションによっては、解像度を下げて印刷するものがあります。アプリケーションの設定で解像度を上げて印刷してください。
何も印刷されない	トナーカートリッジのトナーシールを引き抜いていますか？ トナーシール 2 本を引き抜かずに電源を入れると故障の原因になります。トナーカートリッジを交換するときは、必ずトナーシールを 2 本引き抜いてください。 詳しくは、P.159「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
意味不明の文字が印刷される	エミュレーションが正しく選択されていない可能性があります。エミュレーションを呼び出すには、操作部から［補助メニュー］を押し、［エミュレーション呼び出し］を選択します。
正しい位置に印刷されない 	用紙をセットするときに、給紙トレイまたは増設トレイのエンドガイドとサイドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドを調整して、用紙サイズにあわせてください。 詳しくは、P.130「用紙をセットする」を参照してください。 印刷位置を調整してください。詳しくは P.177「印刷位置を調整する」を参照してください。
用紙に対して斜めに印刷される 	用紙をセットするときに、給紙トレイまたは増設トレイのエンドガイドとサイドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドを調整して、用紙サイズにあわせてください。 詳しくは、P.130「用紙をセットする」を参照してください。

9

状態	原因・対処方法・参照先
縦の線が印刷される 	トナーカートリッジの寿命が近づいています。トナーカートリッジを交換してください。 P.159「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
意図した方向に印刷されない	印刷条件の［印刷方向］の設定が合っていない可能性があります。正しく設定してください。 Windows からの印刷時は操作部で給紙トレイを選択しても、プリンタードライバーの設定が優先します。オプション設定を確認のうえ、プリンタードライバーで給紙するトレイを選択してください。 プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
R98 モードで印刷したとき、正しい位置に印刷されない	印刷条件の［印刷位置］の設定が、ソフトウェアの設定と合っていない可能性があります。正しく設定してください。

ドライバーの設定が必要なとき

状態	原因・対処方法・参照先
全体がかすれる	プリンタープロパティの［項目別設定］タブの［印刷品質］メニューで、［トナーセーブ］を［トナーセーブ 1］または［トナーセーブ 2］に設定すると、全体的に薄く印刷されます。 プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
画面どおりに印刷されない	拡大や縮小などの機能を使うと、画面上のレイアウトと異なることがあります。
画面どおりに印刷されない	グラフィックスコマンドを使用する設定で印刷すると、表やグラフのレイアウトが変わることがあります。 プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
画面どおりに印刷されない	色付き文字をグレーで印刷するには、プリンタープロパティの［項目別設定］タブの［印刷品質］メニューで、［文字を黒で印刷］のチェックを外してください。 プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
画像が途中で切れたり、余分なページが印刷される	アプリケーションで設定した用紙サイズより小さい用紙に印刷している可能性があります。アプリケーションで設定したサイズと同じサイズの用紙をセットしてください。同じサイズの用紙をセットできないときは、変倍の機能を使って縮小して印刷することができます。 プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

給紙がうまくいかないとき

状態	原因・対処方法・参照先
何度も用紙がつまる	• セットした用紙がトレイ内の上限を超えている可能性があります。用紙がトレイ内の上限を超えないようにしてください。 詳しくは、P.130「用紙をセットする」を参照してください。 • 給紙トレイまたは増設トレイのサイドガイドやエンドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドが正しい位置にセットされていない可能性があります。サイドガイドやエンドガイド、または用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 詳しくは、P.130「用紙をセットする」を参照してください。 • セットした用紙と、用紙サイズダイヤルまたは操作部の設定が合っていない可能性があります。用紙サイズダイヤルまたは操作部の設定を確認し、セットした用紙サイズと方向の組み合わせに合わせてください。 詳しくは、P.130「給紙トレイまたは増設トレイに用紙をセットする」を参照してください。 • 手差しトレイにセットしている用紙サイズ・方向と、操作部の設定が合っていない可能性があります。操作部の設定を確認し、セットした用紙サイズと方向に合わせてください。 詳しくは、P.138「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。
何度も用紙がつまる	• 用紙が重なって送られていませんか？用紙をセットするまえに、用紙をさばいてからセットしてみてください。 詳しくは、P.138「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。 • 用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？ 詳しくは、P.121「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。 • 用紙が折れていたり、しわになっていたりしませんか？折れやしわのない用紙をお使いください。 詳しくは、P.121「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。 • 他の機種で一度印刷した用紙を使っていませんか？ 詳しくは、P.126「使用できない用紙」を参照してください。 • 用紙が湿っていませんか？適切に保管された用紙を使ってください。 詳しくは、P.121「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。

状態	原因・対処方法・参照先
何度も用紙がつまる	フリクションパッド、給紙コロ、レジストローラーが汚れている可能性があります。関連する部品を清掃してみてください。 詳しくは、P.167「フリクションパッドと給紙コロを清掃する」、および P.171「レジストローラー周辺と給紙トレイを清掃する」を参照してください。
思ったトレイとは違うトレイから給紙される	［用紙設定］メニューの［自動トレイ選択］で［対象にしない］を設定していませんか？
用紙が一度に何枚も送られる	• 給紙トレイまたは増設トレイのサイドガイドやエンドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドが正しい位置にセットされていない可能性があります。サイドガイドやエンドガイド、または用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 詳しくは、P.130「用紙をセットする」を参照してください。 • セットした用紙がトレイ内の上限を超えている可能性があります。用紙がトレイ内の上限を超えないようにしてください。 詳しくは、P.130「用紙をセットする」を参照してください。 • 給紙トレイに用紙が残っているときに用紙を追加しませんでしたか？ 給紙トレイに用紙がなくなってから、用紙を補給してください。 • 用紙をセットするまえに、用紙をさばいてからセットしてみてください。
用紙が一度に何枚も送られる	• 用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？ 詳しくは、P.121「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。 • 他の機種で一度印刷した用紙を使っていませんか？ 詳しくは、P.126「使用できない用紙」を参照してください。 • 用紙が乾燥して静電気を発しています。正しく保管された用紙をお使いください。 詳しくは、P.126「使用できない用紙」を参照してください。
用紙が一度に何枚も送られる	フリクションパッド、給紙コロが汚れている可能性があります。関連する部品を清掃してみてください。 詳しくは、P.167「フリクションパッドと給紙コロを清掃する」を参照してください。
印刷の指示をしてから 1 枚目の印刷が始まるまで時間がかかる	データが大きいため、処理に時間がかかっている場合があります。データインランプが点滅していれば、プリンターにデータは届いています。そのまましばらくお待ちください。

状態	原因・対処方法・参照先
印刷の指示をしてから印刷が終わるまで時間がかかる	• 写真などデータが大きいものは、処理に時間がかかります。そのまましばらくお待ちください。 プリンタードライバーの設定を変えると、印刷速度が速くなることがあります。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • データの量が多いため、処理に時間がかかっている場合があります。データインランプが点滅していれば、プリンターにデータは届いています。そのまましばらくお待ちください。 • 操作部のデータインランプが点滅しているときは、プリンターがウォーミングアップ中です。そのまましばらくお待ちください。
異常音がする	異常音がする周辺で、最近交換した消耗品や取り付けたオプションなどがある場合、それらがしっかりと取り付けられているかを確認してください。それでも異常音が発生する場合は、サービス実施店に連絡してください。

排紙がうまくいかないとき

状態	原因・対処方法・参照先
印刷された用紙が落下する	• 延長排紙トレイを引き出してください。 詳しくは、P.35「全体」を参照してください。 • 反りが大きい場合は、排紙トレイからこまめに用紙を引き取ってください。
印刷された用紙が正常に積載されない	• 用紙が湿っていませんか？適切に保管された用紙を使ってください。 詳しくは、P.121「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。 • 延長排紙トレイを引き出してください。 • 詳しくは、P.35「全体」を参照してください。

補足

- それでも思いどおりに印刷できないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在については、プリンターをご購入の販売店に確認してください。

その他のトラブルシューティング

本機の動作に関するトラブルシューティングです。

状態	原因・対処方法・参照先
PDF ダイレクトプリントが実行できない（PDF ファイルが印刷されない）	PDF ダイレクトプリントを実行するためには、操作部から［システム設定］メニューの［RAM ディスク］に 2MB 以上の値を設定してください。それでも実行できないときは、オプションの拡張 HDD が必要です。拡張 HDD を取り付けてください。拡張 HDD の増設については、P.62「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。
PDF ダイレクトプリントが実行できない（PDF ファイルが印刷されない）	SDRAM モジュールを増設して、［システム設定］メニューの［RAM ディスク］に 8MB を設定した後に SDRAM モジュールを取り外すと、［RAM ディスク］の設定値が 0MB になります。この場合は、［RAM ディスク］の設定値を 2MB 以上に設定し直してください。
PDF ダイレクトプリントが実行できない（PDF ファイルが印刷されない）	パスワードが設定されている PDF ファイルを印刷する場合は、［PDF 設定］メニュー、または Web ブラウザーで、PDF ファイルのパスワードを設定してください。
PDF ダイレクトプリントが実行できない（PDF ファイルが印刷されない）	PDF ファイルのセキュリティーの設定で、印刷が許可されていない PDF ファイルは印刷できません。
PDF ダイレクトプリントの印刷結果で、文字が抜けていたり、文字の形が変わっていたりする	印刷する PDF ファイルにフォントを埋め込んでから、印刷してください。
PDF ダイレクトプリントを実行したが、操作部に用紙サイズが表示され、印刷が実施されない	PDF ダイレクトプリントでは、PDF ファイルの中に指定されている用紙サイズで本機は印刷を実行します。メッセージが表示された場合は、表示されたサイズの用紙を給紙トレイにセットするか、または、強制印刷を実行してください。なお、［システム設定］メニューの［補助用紙サイズ］を［自動］に設定すると、Letter と A4 は同じサイズと見なされて、印刷が実行されます。たとえば、給紙トレイに Letter をセットしている状態で A4 サイズの PDF ファイルを PDF ダイレクトプリントで印刷した場合、印刷は実行されます。逆の場合も同じです。
エラー発生時、またはエラー解除後にメールが送られてこない	Web ブラウザーで本機にアクセスして表示される Web Image Monitor に管理者モードでログインし、［通知］内の以下の設定を確認してください。 • 本機のメールアドレス • 通知先グループ • 項目ごとの通知先 設定の詳細については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

9

状態	原因・対処方法・参照先
エラー発生時、またはエラー解除後にメールが送られてこない	Web ブラウザーで本機にアクセスして表示される Web Image Monitor に管理者モードでログインし、[メール] 内の SMTP サーバの設定を確認してください。
エラー発生時、またはエラー解除後にメールが送られてこない	本機がメールを発信する前に電源を切ると、メールは送られてきません。
エラー発生時、またはエラー解除後にメールが送られてこない	宛先に指定したメールアドレスが正しいかどうかを確認してください。 Web Image Monitor の [ネットワーク] 内の [システムログ] でプリンターの動作履歴を確認し、メールが発信されているのに届いていない場合は宛先が正しくない可能性があります。 メールサーバのエラーメールに関する情報も確認してください。
エラー発生を知らせるメールは来たが、エラー解除を知らせるメールが来ない	Web Image Monitor の [通知] で、エラー解除時にも E-mail を発信するように設定しているかどうかを確認してください。 [通知] 内の [項目ごとの通知先] の [編集] ボタンをクリックして表示される「通知項目詳細」画面で、[通知する時] を [発生・解除] に設定する必要があります。
エラー解除を知らせるメールを発信するように設定しているが、エラー解除を知らせるメールが来ない	エラー発生後に本機の電源を Off にし、電源 Off の間にエラーが解除された場合は、エラー解除を知らせるメールは発信されません。
エラー発生時とエラー解除時にメールを発信するように設定しているが、エラー発生メールが来ないで、エラー解除を知らせるメールだけが来た	エラー発生を知らせるメールを発信するまでの設定時間が過ぎる前にエラーが解除された場合、エラー発生メールは発信されず、エラーが解除されたことを知らせるメールだけが送信されます。
エラー発生を知らせる通知レベルを変更したが、そのタイミングでエラーが来なかった	変更前の通知レベルでエラー発生を知らせるメールが来ている場合、その後に通知レベルを変更してもメールは発信されません。

それでも思いどおりに動作しないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。

10. 紙づまりの対処

用紙がつまったとき

プリンターに用紙がつまったときは、画面にエラーメッセージとつまっている場所が表示されます。紙づまりの位置を確認し、用紙を取り除いてください。

注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

注意

- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

注意

- 紙づまりを取り除くときは、指をはさんだり、けがをしないように注意してください。

重要

- **用紙を取り除くときは電源を切らないでください。電源を切ると設定した機能や数値が取り消されます。**
- **用紙は破れないように確実に取り除いてください。本体内部に紙片が残ると、再び用紙がつまったり、故障の原因になります。**
- **何度も用紙がつまるときは、以下の原因が考えられます。**
    - **用紙サイズダイヤルまたは操作部の設定と、セットした用紙のサイズ・方向が合っていない。**

    - 給紙トレイまたは増設トレイのサイドガイドやエンドガイド、または手差しトレイの用紙ガイドの位置がずれている。詳しくは、P.130「用紙をセットする」を参照してください。
    - フリクションパッドや給紙コロが汚れている。詳しくは、P.167「フリクションパッドと給紙コロを清掃する」を参照してください。
- つまった用紙にはトナーが付着しています。手や衣服などに触れると汚れますのでご注意ください。
- 上記の内容を確認した上でも用紙がつまるときはサービス実施店に連絡してください。

紙づまり（A）が発生したとき

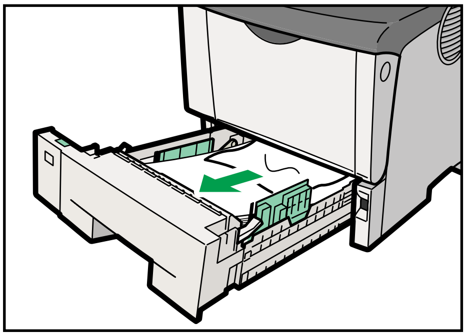
「⁂A トレイに詰まっている用紙を取り除き、前カバー開閉」が表示されたときの対処方法について説明します。

★重要

- **つまった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、本機内部に紙片が残る可能性があります。**
- **手差しトレイから給紙した用紙が紙づまりを起こしたときは、手差しトレイにセットしてある用紙を取り除いて、手差しトレイを閉めてから前カバーを開閉させてください。**

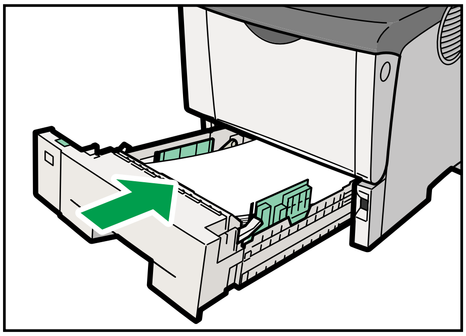
給紙トレイの場合

1. 給紙トレイを止まるまで引き出し、つまった用紙を取り除きます。



CEE014

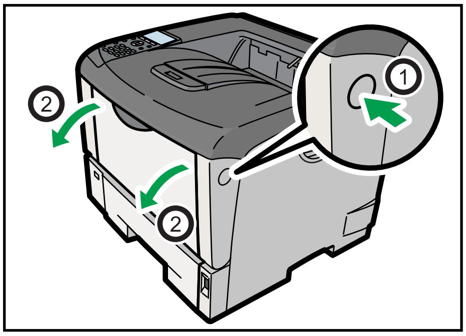
2. 給紙トレイを奥までゆっくりと押し込みます。



CEE074

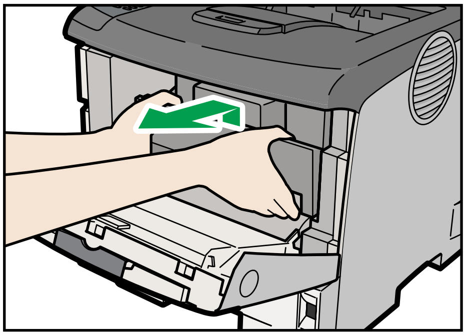
10

3. 前カバーオープンボタンを押して（①）、前カバーを開けます（②）。



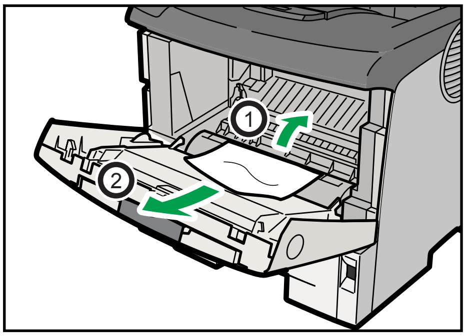
CEE008

4. トナーカートリッジの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。



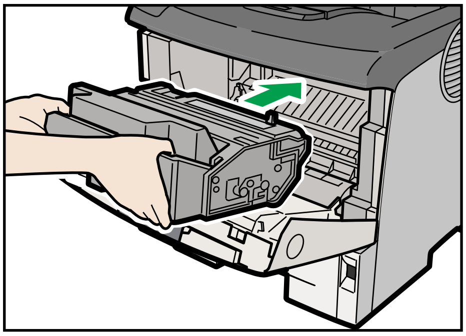
CEE017

5. トナーが手に付着しないようにガイド板を上げて（①）、用紙の両端を持って内部からつまった用紙を取り除きます（②）。



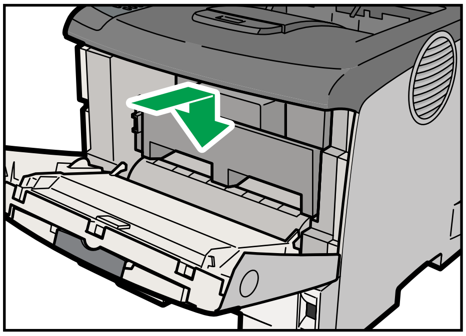
CEE167

6. トナーカートリッジの取っ手を持ち、プリンター内部に押し込みます。



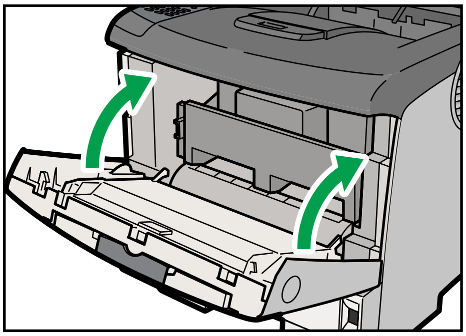
CEE009

7. 奥に突き当たったところで、トナーカートリッジを押し下げます。



CEE007

8. 前カバーを閉めます。



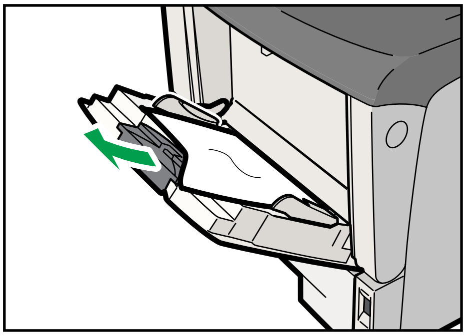
CEE005

補足

- トナーカートリッジを置くときは、机などの平らで突起物などのない場所を選んでください。
- トナーカートリッジは、斜めに立て掛けたり逆さまにしないでください。

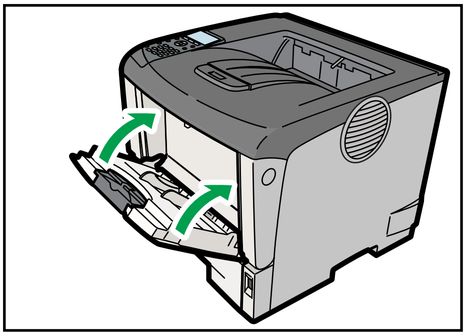
手差しトレイの場合

1. 手差しトレイにつまっている用紙を取り除きます。



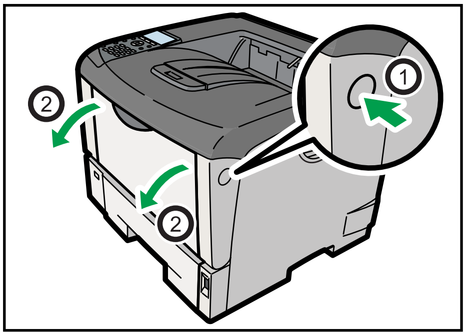
CEE087

2. 手差しトレイを閉じます。



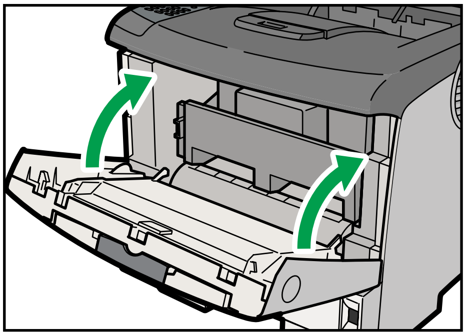
CEE088

3. 前カバーオープンボタンを押して（①)、前カバーを開けます（②)。



CEE008

4. 前カバーを閉めます。



CEE005

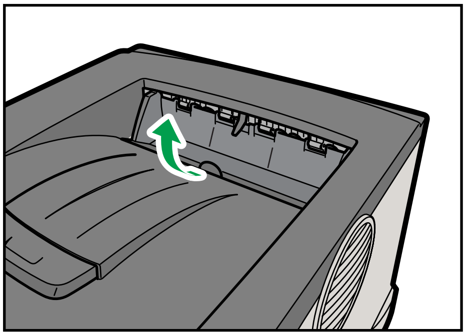
紙づまり（B）が発生したとき

「✂B 排紙口カバーを開け用紙を取り除いてください。」が表示されたときの対処方法について説明します。

★重要

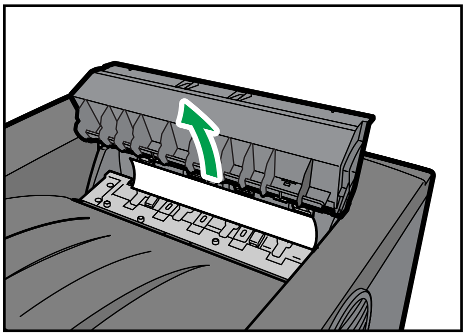
- **つまった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、本機内部に紙片が残る可能性がありますので、ゆっくり引き抜いてください。**

1. 排紙口カバーを開けます。



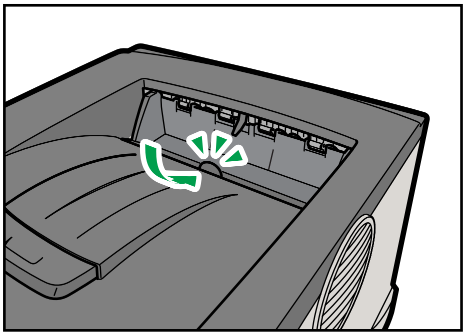
CEE084

2. 用紙を取り除きます。



CEE086

3. 排紙口カバーをカチッと音がするまで押し戻します。


CEE085

紙づまり（C）が発生したとき

「C 後ろカバーを開けて用紙を取り除いてください。」が表示されたときの対処方法について説明します。

注意

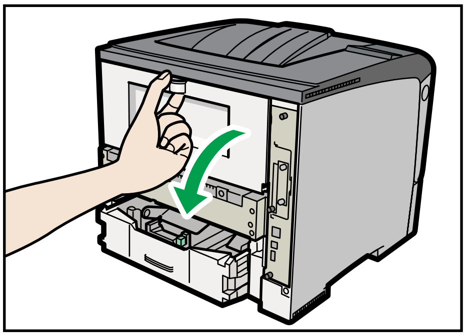
- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

- 定着ユニットは高温になります。定着ユニットを取り外す際は、背面カバーを開けてから（両面印刷ユニットを引き出してから）1 時間以上待ち、定着ユニットが常温になってから行ってください。やけどの原因になります。

重要

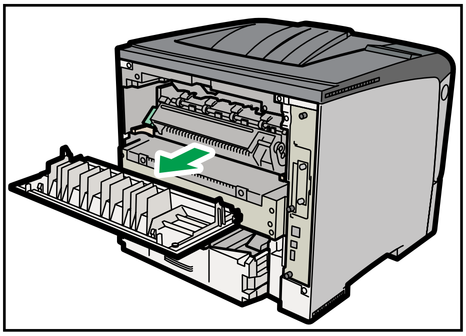
- **つまった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、本機内部に紙片が残る可能性がありますので、ゆっくり引き抜いてください。**
- **定着ユニットの金属部は高温ですので触らないでください。やけどの原因になります。**

1. 本機の背面カバーを開けます。



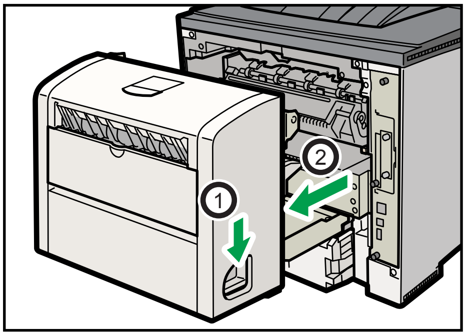
CEE040

2. 背面カバーを水平方向に取り外します。



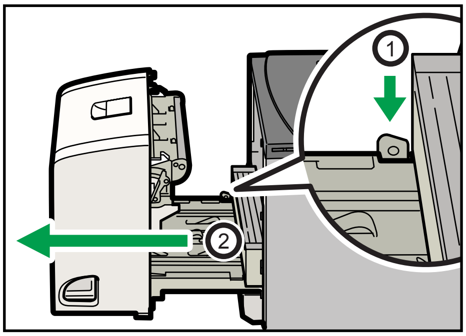
CEE041

3. 両面印刷ユニットを取り付けている場合は、両面印刷ユニット側面のレバーを押し下げ（①)、両面印刷ユニットを止まる位置まで引き出します（②)。



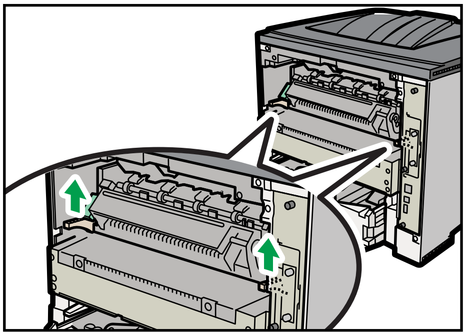
CEE056

4. 両面印刷ユニット底板のレバーを押して（①)、両面印刷ユニットを本機から引き抜きます（②)。



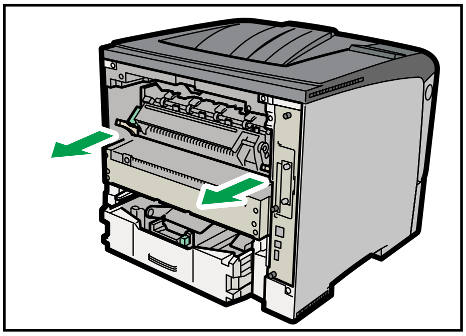
CEE083

5. 定着ユニット固定レバーを上げてロックを解除します。



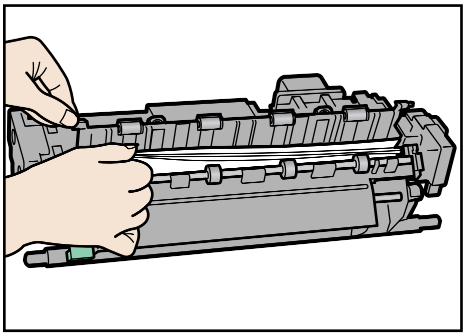
CEE046

6. 定着ユニットを取り出します。



CEE048

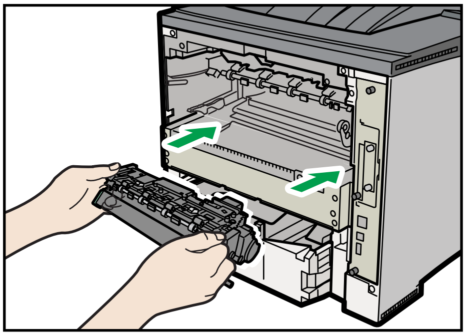
7. カバーを開いて、つまっている用紙を取り除きます。



CEE091

用紙を取り除いた後、カバーを閉めます。

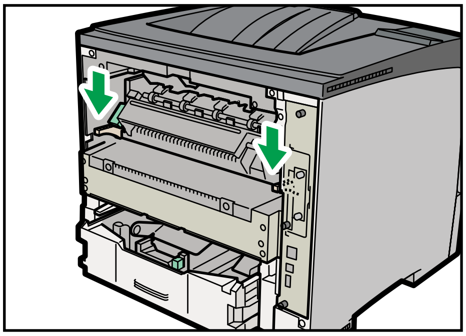
8. 定着ユニットをプリンター内部にセットします。



CEE049

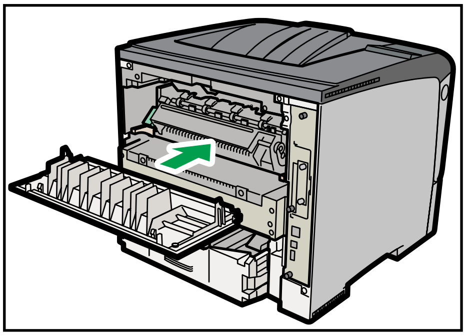
9. 定着ユニット固定レバーをカチッと音がするまで、押し下げます。

両面印刷ユニットを取り付けている場合は、手順 12 へ進んでください。



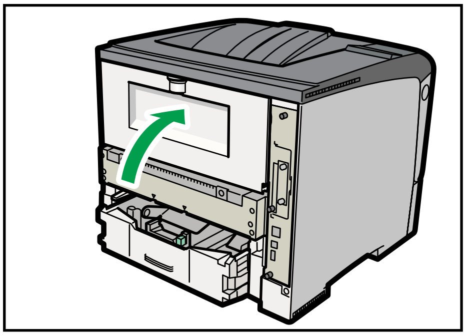
CEE047

10. プリンター内部に沿わせて、背面カバーを水平方向にセットします。



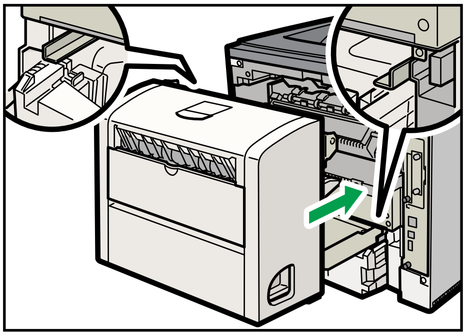
CEE044

11. 本機の背面カバーを閉めます。



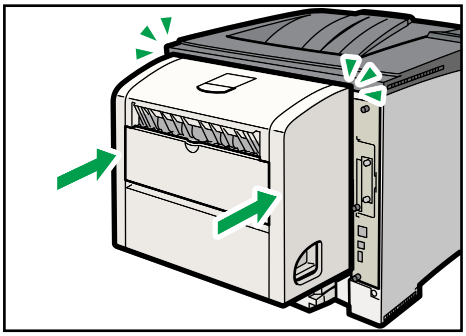
CEE045

12. 両面印刷ユニットを本機背面のレールに差し込みます。



CEE057

13. 両面印刷ユニットをしっかりと本機に押し込みます。



CEE050

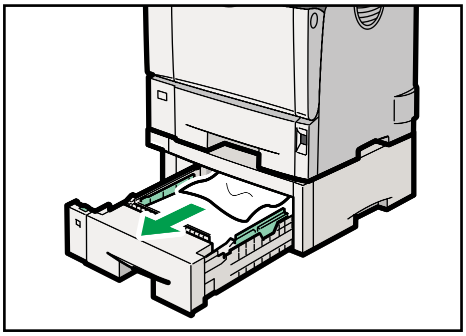
紙づまり（Y1）（Y2）が発生したとき

「🝖(Y1) トレイ 2 に詰まっている用紙を取り除き前カバー開閉」または「🝖(Y2) トレイ 3 に詰まっている用紙を取り除き前カバー開閉」が表示されたときの対処方法について説明します。

補足

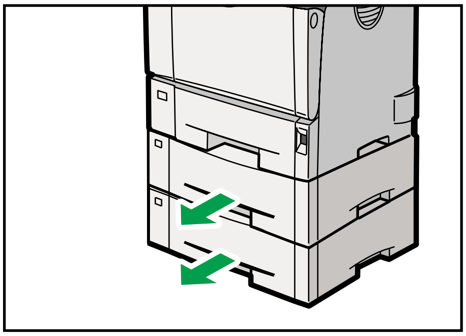
- 増設トレイで用紙がつまっていて、つまった用紙が見えにくいときは、増設トレイを取り出してから用紙を取り除いてください。
- ここでは、トレイ 2 で紙づまりが発生したときの手順について説明します。トレイ 3 も対処方法は同様です。

1. 増設トレイを止まるまで引き出し、つまった用紙を取り除きます。



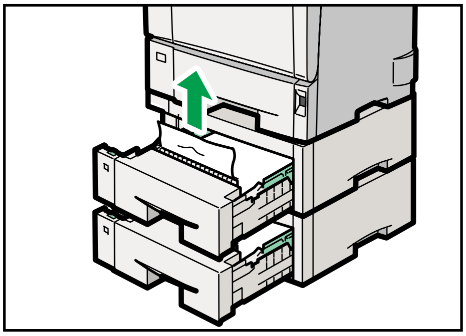
CEE168

複数のトレイで紙づまりが発生している場合は、該当箇所のメッセージが表示されます。画面に表示されたすべてのトレイからつまった用紙を取り除いてください。



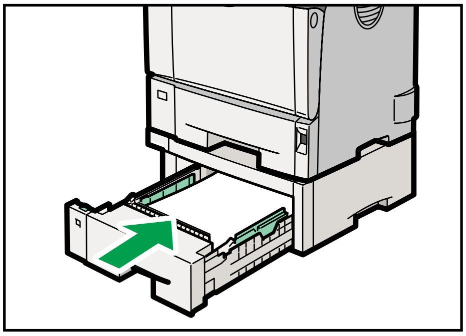
CEE170

10



CEE169

2. 増設トレイを奥までゆっくりと押し込みます。



CEE171

紙づまり（Z）が発生したとき

「Z 両面ユニットを開けて用紙を取り除いてください。」が表示されたときの対処方法について説明します。

⚠注意



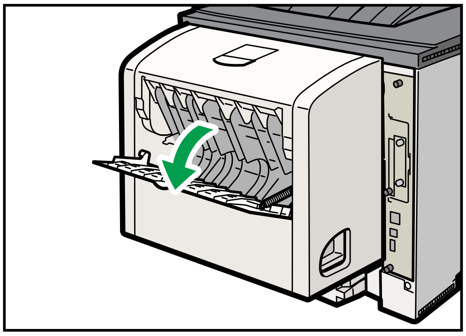
- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

★重要

- **つまった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、両面ユニット内部に紙片が残る可能性がありますので、ゆっくり引き抜いてください。**

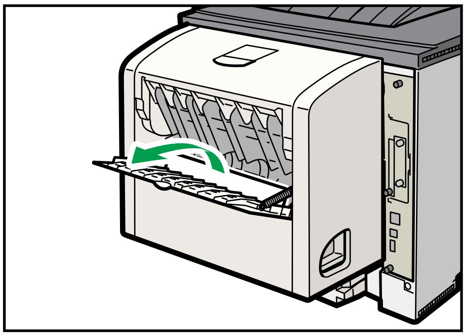
両面印刷ユニット後ろカバーの用紙を取り除く場合

1. 両面印刷ユニット後ろカバーを開けます。



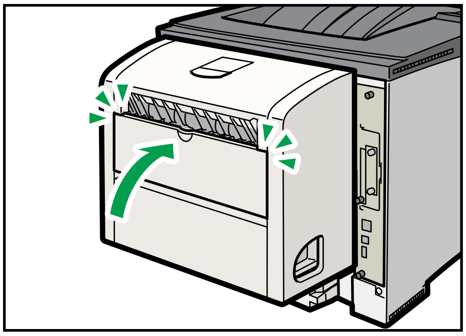
CEE051

2. 両面印刷ユニット後ろカバーの内部につまっている用紙を取り除きます。



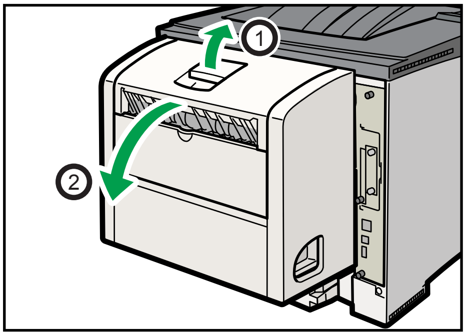
CEE053

3. 両面印刷ユニット後ろカバーを閉めます。



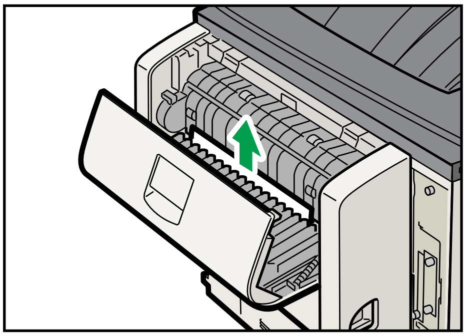
CEE052

4. レバーを引き上げて（①）、両面印刷ユニットカバーを開けます（②）。



CEE054

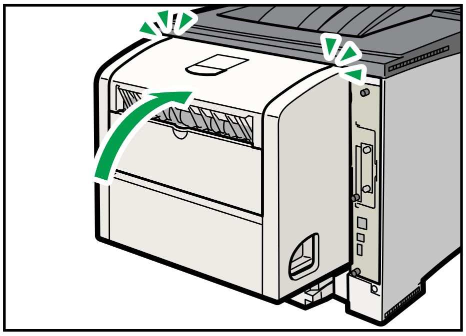
5. 両面印刷ユニットカバーの内部につまっている用紙を取り除きます。



CEE062

6. 両面印刷ユニットカバーを閉めます。

つまった用紙をすべて取り除けた場合は、エラーメッセージの表示が消えます。エラーメッセージの表示が消えない場合は、両面印刷ユニット内部の用紙を取り除いてください。詳しくは、P.227「両面印刷ユニット内部の用紙を取り除く場合」を参照してください。



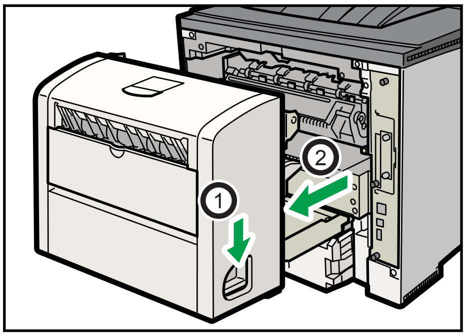
CEE055

両面印刷ユニット内部の用紙を取り除く場合

★重要

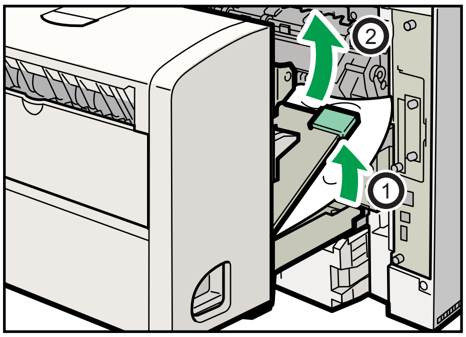
- A5▭の用紙については、両面印刷ユニットを引き出しても用紙が取り除けないことがあります。この場合は反対側の本体給紙トレイを引き抜いて、用紙を取り除いてください。

1. 両面印刷ユニット側面のレバーを押し下げ（①)、両面印刷ユニットを止まる位置まで引き出します（②)。



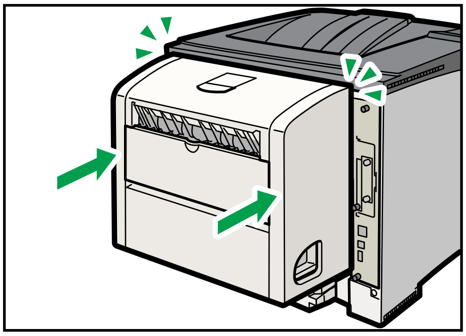
CEE056

2. ガイド板を起こして（①)、用紙を取り除きます（②)。



CEE063

3. 両面印刷ユニットを本機にしっかりと押し込みます。



CEE050

補足

- エラーメッセージが消えない場合は、本体内部に用紙が残っている可能性があります。本体内部につまった紙がないか確認してください。

11. 付録

本機の保守・運用について説明します。消耗品やオプションの一覧、本機やオプションの仕様を示します。

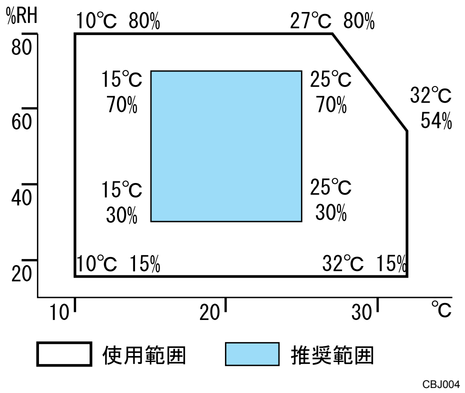
保守・運用について

保守や輸送方法についての注意事項です。

使用上のお願い

本機を使用する上での注意事項です。

- 温度や湿度が以下の図で示す範囲に収まる場所に設置してご使用ください。



- 寒い所から暖かい所に移動させたり、温度変化の激しい場所に設置すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、1 時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
- プリンター内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立て掛けたりして排気口や給気口をふさがないようにしてください。
- 前カバーを開けたままにしないでください。
- 印刷中に前カバーや手差しトレイを開けたり、プリンターを移動したりしないでください。
- 印刷中は給紙トレイを引き出さないでください。印刷が停止し、用紙がつまります。
- クリップなどの異物がプリンターの中に入らないようにしてください。
- 印刷中に電源を切ったり、電源コネクターを抜かないでください。
- 印刷中にプリンターの上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。
- 電源を入れたままで 500 枚増設トレイユニットおよび 250 枚増設トレイユニットを取り外さないでください。故障の原因になります。

- 紙づまりなどのエラーでページが印刷されないことがあります。この場合、印刷されなかったページのみ再印刷してください。
- 日本国外へ移動する場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。
- トナーカートリッジ等の消耗品や部品は、リコー指定の製品により、プリント品質を評価しています。品質維持のため、リコー指定のトナーカートリッジ、消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。
- 本機は、月間印刷ページ数が 10,000 ページ以下（A4の場合）、1 日の通電時間の合計が 8 時間程度の条件で、使用年数を 5 年と想定して設計・製造されています。月間印刷ページ数が 10,000 ページを超えていたり、1 日に合計 8 時間以上電源が入っていたり、総印刷ページ数が 600,000 ページを超えたりすると、想定された年数より使用年数が短くなる場合があります。
- 転写ローラー、フリクションパッド、給紙コロ、定着ユニットはサービス交換品です。各 部品の寿命の目安は、約 90,000（A4 サイズ片面印刷時）です。

換気について

換気の悪い部屋や狭い部屋で長時間使用したり大量の印刷を行うと、本機から臭気が出ることがあります。また、出力した用紙に臭気が残ることがあります。

臭いが気になるときは、快適な作業環境を保つために、定期的に換気をしてください。

- 排気風が直接人に当たらない場所に機械を設置してください。
- 換気量 1 人あたり 30m^3 以上/時間の換気をしてください。

※オゾン臭が感じられることがありますが、通常の使用方法ではオゾン濃度が許容値（日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告）：0.1PPM、0.2mg/m^3 を上回ることはありません。

新品時の臭いについて

新品時には、特有の臭いがすることがあります。この臭いは一週間程度で収まります。臭いが気になるときは、部屋の換気や通風を十分に行ってください。

保守契約

- 保守契約とは、お客様本位に考えられた無償保証期間後のサービスシステムです。一定のご予算でプリンターを良好な状態に保ちます。
- 保守契約されると次のようなメリットがあります。
    - 定期点検を行い、品質の維持を図ります。
    - 計画的に経費の運用ができます。
    - 万一故障したときは、迅速で的確なサービスが受けられます。
    - カルテ管理により、適切なサービスが受けられます。

- 保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、本機の製造中止後、7 年間です。したがって、本期間以後は、修理をお引き受けできない場合があります。
- 保守契約を希望される場合は、購入された販売店にご連絡ください。

補足

- 保守契約の内容により、定期点検はオプションとなります。

移動

⚠注意

- IPSiO SP 4310 本体は約 17.5kg あります。
- IPSiO SP 4300 本体は約 15.8kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

⚠注意

- 他のフロアへの移動など、本機を持ち上げて運搬・移動するときは、サービス実施店に依頼してください。機械を落としたり倒したりすると、けがや故障の原因になります。

⚠注意

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

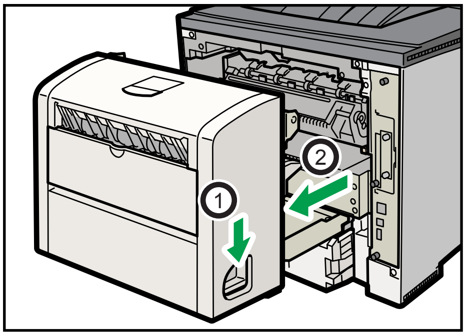
- 本機は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。本機を日本国外に移動させた場合は、保守サービスの責任は負いかねます。また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規則に違反して、本機および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。

- サービス実施店にご連絡いただくと、安全に輸送できるようにプリンターの措置をします。ただし、梱包と輸送についてはお客様で行ってください。

近くに移動する

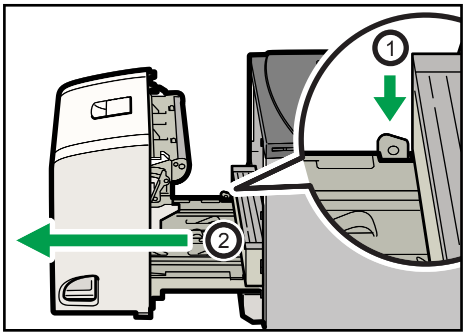
1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. ケーブルを取り外します。
3. 外部オプションを取り付けている場合はすべて取り外します。

両面印刷ユニットを取り付けているときは、両面印刷ユニット側面のレバーを押し下げ（①）、両面印刷ユニットを止まる位置まで引き出します（②）。



CEE056

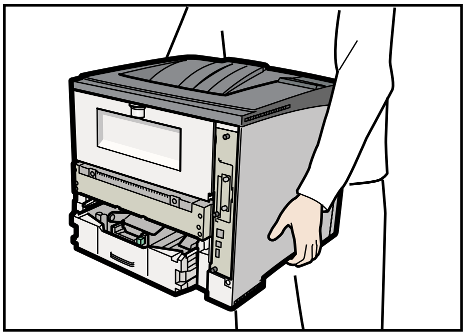
次に両面印刷ユニット底板のレバーを押して（①）両面印刷ユニットを本体から引き抜きます（②）。



CEE083

4. 手差しトレイ、前カバーがきちんとしまっていることを確認します。

5. **プリンター前面が手前にくるようにして本体両サイド下部の取っ手を持ち、移動します。**



CEE039

補足

- 移動の際は、トナーがこぼれないようできるだけ本機を水平に保ってください。
- 増設トレイユニットを取り付けているときは、本機と増設トレイユニットは固定されていないので別々に移動してください。また、本機を持ち上げるとき、増設トレイユニットから確実に離れていることを確認してください。

プリンターを輸送する

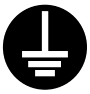
プリンター購入時の箱に入れて輸送してください。

重要

- **ケーブル類はすべて取り外します。**
- **トナーカートリッジはプリンター内部を汚すおそれがありますので、本機から取り外してください。**
- **精密機器ですので、輸送時に破損しないようご注意ください。**

アースについて

⚠警告



- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを コンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

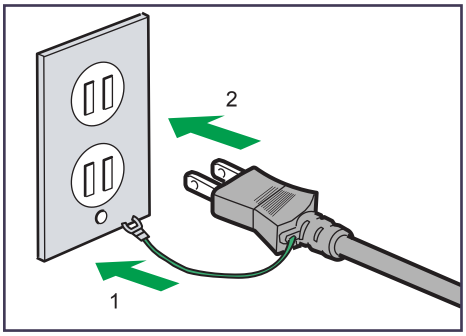
11

本機のアース端子は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。

- コンセントのアース端子
- 接地工事（D 種）を行っているアース線

1. 本機の電源スイッチが「Off」になっていることを確認します。

2. アース線を接続し（①）、次に電源プラグをコンセントに差し込みます（②）。



CBJ029

電源について

使用電源

電源コードは、100 V、10 A以上、50±3Hz または 60±3Hz のコンセントに接続してください。

廃棄・回収

本機を廃棄したいときは、販売店またはサービス実施店に相談してください。相談先が不明の場合は、お客様相談センターへお問合せください。個人のお客様がご自身で廃棄される場合、本機は一般廃棄物に該当しますので、お住まいの地域を直轄する自治体にご確認ください。

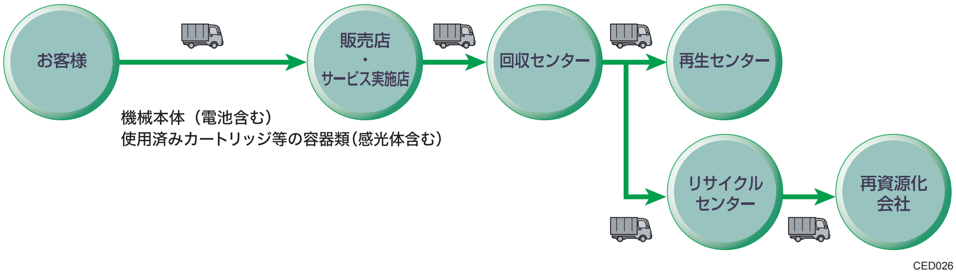
使用済み製品の回収とリサイクルについて

リコーは環境への負荷を低減するため、ご使用いただいた製品の回収・リサイクルを積極的に行っております。回収した製品の部品などは再使用または再資源化し、有効に活用しております。

本製品のご使用後の廃棄などのお取り扱いに関しては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。（回収費は有償となります。）

リコーの環境保全活動にご協力くださいますようお願いいたします。

使用済み製品の回収の流れ



使用済みカートリッジの回収について

弊社では、環境保全を優先課題の一つとし、使用済み製品の回収・リサイクルを積極的におこなっております。複数の回収方法を用意しておりますので、回収にご協力ください。なお回収方法の詳細は、下記のホームページをご覧ください。

http://www.ricoh.co.jp/ecology/recycle/toner/index.html

物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン及び TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております IPSiO SP トナーカートリッジ 4200／4200H シリーズを使用し、白黒印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ 122：2006 の付属書 2 に基づき試験を実施しました。）

リサイクル部品について

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

消耗品一覧

トナーカートリッジ

商品名	商品コード	販売単位	印刷可能ページ数 *1
IPSiO SP トナーカートリッジ 4200	308534	1 個	約 6,000 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ 4200H	308535	1 個	約 12,000 ページ
IPSiO SP EC トナーカートリッジ 4200*2	308636	1 個	約 6,000 ページ
IPSiO SP EC トナーカートリッジ 4200H*2	308637	1 個	約 12,000 ページ

*1 トナーカートリッジの寿命は、A4 サイズで、「ISO/IEC 19752」に準拠し、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合です。「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

*2 EC トナーカートリッジ（環境貢献トナー）は、株式会社リコーがトナーカートリッジ（容器）の所有権を有し、使用済み品の回収にご協力いただくことを条件にご提供する消耗品です。使用後は、購入先、保守担当先、または配送担当者にお渡しいただき、回収にご協力ください。

補足

- 交換時期を過ぎると印刷ができなくなります。早めにご購入いただくか、買い置きすることをお勧めします。
- トナーカートリッジの寿命は、トナーの残量およびカートリッジ部品の消耗度合いで決まります。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、セット方向、印刷内容、一度に印刷する枚数、環境条件によって異なります。トナーカートリッジは使用期間によっても劣化するため、ご使用の条件によっては、寿命が最大半分程度になる場合があります。
- トナーカートリッジ（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店にご連絡ください。
- 消耗品のご購入は、最寄りの販売店にご連絡ください。
- 本機をはじめてご使用になるときは、本機に同梱されているトナーカートリッジをお使いください。
- 本機に同梱されているトナーカートリッジの印刷可能ページ数は約 3,000 ページです。

用紙

各種用紙の情報については、リコーホームページ（http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/paper/index.html）を確認するか、購入窓口にお問い合わせください。

関連商品一覧

外部オプション

500 枚増設トレイ 4200（商品コード：308526）

500 枚の用紙をセットできる増設トレイです。増設時には給紙トレイ、手差しトレイと合わせて最大 1,600 枚の用紙を同時にセットできます。

250 枚増設トレイ 4200（商品コード：308525）

250 枚の用紙をセットできる増設トレイです。

拡張 HDD

拡張 HDD タイプ R（商品コード：308824）

- フォントやフォームの登録、ソート出力、試し印刷、機密印刷などの応用的な機能を利用できます。
- 拡張 HDD には、セキュリティー機能を強化するための SD カードが付属されています。付属されている SD カードを使うことで、拡張 HDD 内のデータの上書き消去が可能となるほか、本機に蓄積されるアドレス帳データ、認証情報、蓄積文書などをデータの記録時に暗号化して、情報の漏洩を防止します。

SDRAM モジュール

SDRAM モジュールを増設することによって、大きなサイズの用紙に高解像度で印刷できるようになります。

SDRAM モジュール VIII 128MB（商品コード：515501）

メモリー容量は 128M バイトです。

SDRAM モジュール VIII 256MB（商品コード：515502）

メモリー容量は 256M バイトです。

拡張 SD カード

IPSiO R98/R16 カード タイプ 4300（商品コード：308778）

R98、R16 が含まれたエミュレーションカードです。

IPSiO エミュレーションカード タイプ 4300（商品コード：308779）

RTIFF、R98、R55、R16 が含まれたマルチエミュレーションカードです。

IPSiO PS3 カード タイプ 4300（商品コード：308780）

本機を日本語ポストスクリプトレベル 3 プリンターとして使用できるようにします。Windows 環境以外にも Mac OS、UNIX から印刷できるようにします。

IPSiO PDF ダイレクトプリントカードの機能が含まれています。

IPSiO PDF ダイレクトプリントカード タイプ 4300（商品コード：308781）

PDF ダイレクトプリントが可能になります。

IPSiO PCL カード タイプ 4300（商品コード：308782）

PCL が含まれたエミュレーションカードです。

IPSiO BMLinkS カード タイプ C（商品コード：308750）

本機を BMLinkS 対応プリンターにできます。

IPSiO VM カード タイプ G（商品コード：308751）

本機を Embedded Software Architecture 対応プリンターにできます。

拡張ボード

1Giga イーサネットボード タイプ B（商品コード：515146）

1000Mbps（1Gbit/sec）という高速ネットワーク環境に接続して印刷することができます。1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T のインターフェースに対応しています。

IPSiO 拡張無線 LAN ボード タイプ A（商品コード：515506）

IEEE 802.11a/b/g インターフェース搭載のパソコンあるいはアクセスポイントと接続して、印刷することができます。

拡張 1284 ボード タイプ A（商品コード：509397）

パラレル接続を拡張するボードです。

拡張認証システム

リコー 個人認証 IC カード R/W タイプ R1（商品コード：315927）

本体機器に IC カード R/W を接続して使用するためのパッケージです。

リコー 個人認証 IC カード R/W タイプ R1-PC（商品コード：315928）

パソコンに IC カード R/W を接続して使用するためのパッケージです。

リコー IC カード タイプ R1（商品コード：315929）

リコー個人認証システムを運用するときに必要となる IC カードタイプの認証カードです。

リコー IC カード管理ソフト タイプ R1（商品コード：315931）

リコー個人認証システムを運用するときに必要となる認証カードを発行するためのパッケージです。

リコー個人認証カード タイプ R1-09（商品コード：315343）

リコー個人認証システムを運用する時に必要となる、本体機器に装着する SD カードです。

インターフェースケーブル

LP インターフェースケーブル タイプ 1B（商品コード：307273）

NEC PC-9800 シリーズ 双方向通信対応 2.5m

LP インターフェースケーブル タイプ 4B（商品コード：307274）

IBM PS/V シリーズ、各社 DOS/V 機 、PC98-NX シリーズ 双方向通信対応 2.5m

LP インターフェースケーブル タイプ 4S（商品コード：307470）

IBM PS/V シリーズ、各社 DOS/V 機、PC-98NX シリーズ 双方向通信対応 1.5m

USB2.0 プリンターケーブル （商品コード：509600）

USB プリンターケーブル 2.5m

IEEE1284 変換コネクタ タイプ A （商品コード：509432）

パラレルインターフェースの形状を変換するコネクタです。

LP インターフェースケーブル タイプ 1B/4B/4S の接続に必須です。

インターフェースケーブル タイプ 4BH （商品コード：515454）

NEC PC98-NX シリーズ、各社 DOS/V 機 双方向通信対応 2.5 m

リコー USB2.0 ケーブル タイプミニ B （商品コード：315134）

本体とリコー個人認証 IC カード R/W を接続するための USB ケーブルです。このケーブルは、本体とパソコンを接続するための USB ケーブルではありませんので、ご注意ください。

仕様

本体

項目	内容
レーザー規格	レーザークラス 1
現像方式	レーザービーム走査+乾式 2 成分電子写真方式（クラス 1 レーザー機器）
CPU	RM7035C-466L（466MH z）
HDD（オプション）	80GB
メモリー	標準：256M バイト 最大：512M バイト
ファーストプリント	6.9 秒以下[*1] （A4：給紙トレイから給紙した場合）
連続プリント速度	36 ページ／分（A4）
搭載フォント	アウトライン：明朝 L、明朝 L プロポーショナル、ゴシック B、ゴシック B プロポーショナル、Courier10、Prestige Elite12、Letter Gothic15、BoldFace PS、Courier 4 書体、Arial 4 書体、TimesNewRoman 4 書体、Wingdings、Century、Symbol PostScript 3：日本語 2 書体（平成明朝 W3、平成角ゴシック W5）、欧文 136 書体[*2] PDF Direct：日本語 2 書体（HG 平成明朝 W3、HG 平成角ゴシック W5）、欧文 136 書体[*3] PCL：欧文フォント 45 書体、International Font 13 書体[*4] バーコード：簡易 その他：OCR-B、漢字ストローク
用紙サイズ	詳しくは、P.117「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。
用紙種類	詳しくは、P.117「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。
解像度	300dpi×300dpi 400dpi×400dpi 600dpi×600dpi 1200dpi×600dpi
出力形式（標準）	RPCS、RPDL
出力形式（オプション）	R55（IBM5577）、R98（NEC PC-PR201H）、R16（EPSONESC/P）、RTIFF (TIFF)、PS3、PDF、BMLinkS、PCL

項目	内容
インターフェース	本体標準 • イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX データ転送速度：10Mbps、100Mbps 対応プロトコル：TCP/IP、AppleTalk • USB 2.0[*5] 対応 OS：Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2、Mac OS 9、Mac OS X 10.3.3 以降 データ転送速度：480Mbps、12Mbps 通信方式：USB2.0 規格に対応 接続方式：USB2.0 規格に対応したデバイス • USB ホストインターフェース オプション • Gigabit Ethernet 1000BASE-T • IEEE 1284 準拠 双方向パラレル • IEEE 802.11a/b/g
騒音[*6]	待機時：35dB（A）以下 稼動時：58dB（A）以下
ウォームアップタイム	電源投入時：19 秒以下 省エネモード時：12 秒以下
給紙量	IPSiO SP4310 • 給紙トレイ（トレイ 1）：500 枚（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200） • 手差しトレイ：100 枚（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200） IPSiO SP4300 • 給紙トレイ（トレイ 1）：250 枚（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200） • 手差しトレイ：100 枚（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200）
最大給紙量	IPSiO SP4310 • 1,600 枚（500 枚増設トレイ 4200 を 2 段装着時） IPSiO SP4300 • 1,350 枚（500 枚増設トレイ 4200 を 2 段装着時）
排紙量	250 枚（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200）
排紙方法	裏面排紙
電源	100V、9A、50/60Hz
消費電力	最大 960W オートオフモード時：3.9W 以下
外形寸法（幅×奥×高）	IPSiO SP4310：388 × 450× 345mm IPSiO SP4300：388 × 450× 306mm
質量	IPSiO SP4310：17.5kg IPSiO SP4300：15.8kg

*1 本機がしばらく使われていない状態の場合、1 ページ目の印刷に多少時間がかかる場合があります。

*2 PS オプション装着時

*3 PS オプション、PDF Direct オプション装着時

*4 PCL オプション装着時

*5 Macintosh では、Macintosh 標準の USB ポートのみ対応しています。Mac OS 9 のサポート速度は USB1.1 相当です。

*6 ISO7779 に基づく実測値であり、近在者位置における音圧レベルです。

補足

- 本製品は JIS C6802 （IEC 60825-1）「レーザー製品の安全基準」に基づき、“クラス 1 レーザー製品” に該当します。
- USB 2.0 インターフェースを使って本機を接続する場合、USB 2.0 に対応したパソコンとケーブルが必要です。
- プリンターの使用環境によっては、表記値より時間がかかる場合があります。

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。
- ご利用いただいているインターフェースをリコー推奨品へ交換する。

この装置は，クラスＢ情報技術装置です。この装置は，家庭環境で使用することを目的としていますが，この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると，受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 ＶＣＣＩ－Ｂ

高調波電流規格　JIS　C61000-3-2 適合品

※無線 LAN ご使用の場合

本無線製品は 2.4GHz 帯を使用しております。電子レンジ等同じ周波数帯域を使用する産業、科学、医療用機器が近くで運用されていないことをご確認ください。万一干渉した場合、通信状態が不安定になる可能性があります。ご使用の際は周囲に干渉の起こる機器が存在しないことをご確認ください。

IEEE 802.11a 通信利用時は 5.2GHz 帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。

500 枚増設トレイ 4200

項目	内容
用紙紙厚	52 ～ 162 g/m^2
用紙サイズ	A4▯、A5▯、B5▯、Legal▯、Letter▯、Half Letter▯、不定形サイズ：幅 140～216mm、長さ 160～356mm
最大給紙量	500 枚（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200）
外形寸法（幅×奥×高）	388 × 486× 135mm（延長トレイを伸ばしたとき）
重量	6kg 以下
最大消費電力	36.6W 以下

250 枚増設トレイ 4200

項目	内容
用紙紙厚	52 ～ 162 g/m^2
用紙サイズ	A4▯、A5▯、B5▯、Letter▯、Half Letter▯、不定形サイズ：幅 140～216mm、長さ 160～356mm
最大給紙量	250 枚（リコピー PPC 用紙 タイプ 6200）
外形寸法（幅×奥×高）	388 × 427× 96mm
重量	5kg 以下
最大消費電力	38W 以下

両面印刷ユニット 4200

項目	内容
両面印刷できるサイズ	A4▯、B5▯、A5▯▭、Legal▯、Letter▯、$5^1/_2$×$8^1/_2$▯▭
外形寸法（幅×奥×高さ）	340×380×250mm（本体取付時）
質量	6kg 以下
最大消費電力	41W 以下

1Giga イーサネットボード タイプ B

項目	内容
インターフェース	イーサネット（10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T） USB 2.0
データ転送速度	イーサネット：10Mbps、100Mbps、1000Mbps USB：480Mbps、12Mbps
対応プロトコル	TCP/IP、AppleTalk
ケーブルの長さ	イーサネット：100m USB：5m

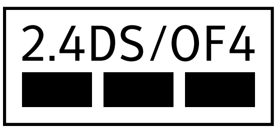
補足

- USB インターフェースは Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/20008/2008 R2、MacOS 10.3.3 以降に対応しています。

IPSiO 拡張無線 LAN ボード タイプ A

項目	内容
インターフェース	IEEE 802.11a/b/g 準拠（W52/W53）、Wi-Fi 準拠
伝送方式	802.11a：直交周波数分割多重（OFDM）方式 802.11b：直接シーケンススペクトラム拡散/相補符号変調（DSSS/CCK）方式 802.11g：直交周波数分割多重（OFDM）方式、直接シーケンススペクトラム拡散/相補符号変調（DSSS/CCK）方式
伝送速度	802.11a： 6Mbps、9Mbps、12Mbps、18Mbps、24Mbps、36Mbps、48Mbps、54Mbps 802.11b： 1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、11Mbps 802.11g： 1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、6Mbps、9Mbps、11Mbps、12Mbps、18Mbps、24Mbps、36Mbps、48Mbps、54Mbps
周波数範囲	802.11a：5180MHz～5320MHz（20MHz 間隔 8 波 W52、W53） 802.11b：2412MHz～2472MHz（5MHz 間隔 13 波）、2484MHz 802.11g：2412MHz～2472MHz（5MHz 間隔 13 波）

※無線 LAN に記載されているマークについて



BAU043S

11

- 2.4：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
- DS/OF：DS-SS 方式及び OF-DM 方式を示す
- 4：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
- ■■■ ：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

拡張 1284 ボード タイプ A

項目	内容
通信方式	IEEE 1284 規格に対応
接続方式	IEEE 1284 規格に対応したデバイス

商標

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader、Adobe Reader、PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac OS、および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。

Firefox®は米国 Mozilla Foundation の登録商標です。

IBM は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

Linux は Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Windows Vista®、Internet Explorer®は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Monotype は Monotype Imaging, Inc.の登録商標です。

NEC は、NEC Corporation の登録商標です。

OpenLDAP is a registered trademark of the OpenLDAP Foundation.

PCL は、米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国々における登録商標です。

UPnP™ is a trademark of the UPnP Implementers Corporation.

- MS-DOS の製品名は、Microsoft® MS-DOS®です。
- Windows 2000 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® 2000 Professional

  Microsoft® Windows® 2000 Server

  Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server
- Windows XP の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® XP Professional Edition

  Microsoft® Windows® XP Home Edition

  Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition
- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Vista® Ultimate

  Microsoft® Windows Vista® Business

  Microsoft® Windows Vista® Home Premium

  Microsoft® Windows Vista® Home Basic

  Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® 7 Home Premium
  Microsoft® Windows® 7 Professional
  Microsoft® Windows® 7 Ultimate
  Microsoft® Windows® 7 Enterprise
- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition
  Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition
- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition
  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition
- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2008 Standard
  Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise
  Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™
  Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™
- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard
  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

BMLinkS について

- BMLinkS は、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会（Japan Business Machine and Information System Industries Association<JBMIA>）が推進しているオフィス機器インターフェイスです。
- BMLinkS カードを装着した本機は、BMLinkS 認証を受けています。
- BMLinkS 標準仕様バージョンについては、BMLinkS のインストールガイドを参照してください。
- BMLinkS カードを装着した本機は、BMLinkS プリントサービスを実装しています。

索引

記号・数字

250 枚増設トレイ..................55, 59, 237, 243
500 枚増設トレイ......55, 56, 59, 117, 237, 243

アルファベット

CD-ROM から使用説明書を開く...............30
Clear キー...45
DHCP...91
IC カード認証...238
IEEE 802.1X...109
IEEE 802.1X （イーサネット） 111
IEEE 802.1X （無線 LAN） 113
IPv4..91
IP アドレス...14, 91
LED の見かた....................................87, 102
OHP フィルム...122
OK キー..41
PCL カード.......................................78, 237
PS3 カード.......................................78, 237
SDRAM モジュール.................55, 56, 66, 237
USB 接続..88
USB ポート...88
VM カード..78, 237
Web Image Monitor.................................157
WEP キー...104
WPA..106, 109
WPA2...109

あ

アース..18
厚紙..121
アラームランプ...41
安全上のご注意...17
安全に関する本機の表示について............27
イーサネット接続...............................85, 91
イーサネット接続の設定...........................91
移動..231
色紙..122
印刷一時停止／再開キー...........................41
印刷位置の調整.......................................177
印刷がはじまらないとき.........................198
印刷取消キー..41
印刷濃度の調整.......................................175
印刷範囲...128
印刷ポートの確認...................................199
インターフェースケーブル.....................239
エネルギースター.....................................29
エミュレーションカード........................237
エラーメッセージ...................................183
お客様登録..34
オプション..59
オプションの構成.....................................55
オプションの取り付け........................55, 56
オプションの名称.....................................14
オプションリスト...................................237
思いどおりに印刷できない.....................201

か

海外向けサイズの用紙.............................117
ガイド板..39
拡張 1284 ボード.........55, 56, 75, 90, 238, 245
拡張 HDD................................55, 56, 62, 237
拡張 SD カード..................................78, 237
拡張ギガビットイーサネットボード.......55, 56, 73, 85, 238, 244
拡張無線 LAN ボード.............71, 99, 238, 244
各部の名称とはたらき...................35, 37, 39
紙づまり （A） の対処方法......................211
紙づまり （B） の対処方法......................216
紙づまり （C） の対処方法......................218
紙づまり （Y1） の対処方法....................223
紙づまり （Y2） の対処方法....................223
紙づまり （Z） の対処方法......................225
紙づまり （増設トレイ） 223
紙づまりの対処..........209, 211, 214, 216, 218, 223, 225
紙づまり （本体内部） 211, 218
紙づまり （本体排紙口） 216
紙づまり （両面ユニット） 225
画面..41
画面で見る使用説明書..............................30
画面表示について.....................................43
関連商品一覧..237
機械内部の取り扱い..................................23
機器証明書..110
キャンセルキー...................................41, 45
給紙コロ..167

給紙トレイ................................117, 171, 211
警告、注意のラベル位置..........................27
この本の読みかた....................................13
困ったときには......................................183

さ

再生紙...123
サイト証明書...109
サプライ情報...43
仕様...240
使用環境...18
使用上のお願い......................................229
使用説明書一覧表.....................................10
使用説明書のインストール.......................31
使用説明書の紹介.......................................8
使用説明書の使いかた..............................30
使用できない用紙....................................126
使用できる用紙の種類とサイズ.............117
商標...246
消耗品一覧..236
消耗品の交換...159
消耗品の取り扱い.....................................24
スクロールキー...................................41, 45
ステータスメッセージ..............................43
清掃...165, 167, 171
製品の回収..234
製品の廃棄..234
製品のリサイクル...................................234
セキュリティー方式の設定....................104
全体...35
選択キー...41
操作部にメッセージが表示されたとき........
....183
操作部の名称とはたらき..........................41
その他のトラブルシューティング..........207

た

調整...175, 177, 180
通信速度...96
定形サイズの用紙を設定する.................141
低電力機能...29
データインランプ....................................41
手差しトレイ...........................117, 138, 214
テスト印刷...52
テンキー...45
電源コードの取り扱い..............................19
電源の切りかた.......................................50
電源プラグの清掃...................................165
電源プラグの取り扱い..............................19
電源ランプ...41
電源を入れる...48
転写ローラーカバー..................................39
天地の向き、表裏のある用紙に印刷する....
....154
登録した用紙種類に印刷をする.............158
特殊紙...122
トナーカートリッジ...................39, 159, 236
トレイ 2...59
トレイ 3...59

な

内部..39

は

背面..37
はじめに...11
パソコンとの接続.....................................85
パラレルケーブルで接続する...................90
封筒...123
複製、印刷が禁止されているもの............11
ブザー音について...................................197
普通紙...121
物質エミッション...................................235
不定形サイズの用紙を設定する......136, 141
フリクションパッド...............................167
付録...229
文書印刷...43
保管...125
保守・運用について...............................229
保守契約...230
本書についてのご注意..............................13
本体...240
本体の設置...48
本体の取り扱い.......................................21

ま

マークについて.......................................13
前カバー...39
エミュレーションカード..........................78

無線 LAN..71
無線 LAN の設定.......................................99
無線 LAN の注意.....................................103
メニューキー..41
メモリー..55, 237
メモリーの取り付け.................................66
文字入力..45

や

有効プロトコル..91
ユーザー用紙種類............................156, 157
郵便はがき...124
用紙...236
用紙がつまったとき...............................209
用紙種類を設定する...............................143
用紙種類に名前をつける........................156
用紙種類を設定する...............................137
用紙を設定する......................................135
用紙に独自の名前をつける....................156
用紙の種類ごとの注意...........................121
用紙のセット............................117, 130, 138
用紙の反りを低減..................................180
用紙の保管...125

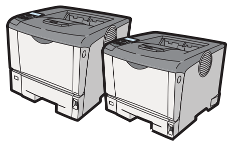
ら

ラベル紙..122
リサイクル部品......................................235
両面印刷ユニット..............................81, 243
レーザーの安全性....................................26
レジストローラー..............................39, 171
レターヘッド付き用紙............................121

MEMO

株式会社 リコー
東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222
http://www.ricoh.co.jp/

IPSiO SP 4310/4300 使用説明書〈ハードウェアガイド〉



消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
NetRICOHのホームページからもご購入できます。
http://www.netricoh.com/

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。
修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。
http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

0120 FreeDial **0120-000-475**
FAX 0120-479-417

- 受付時間：平日（月～金）9時～18時／土曜日9時～12時、13時～17時（祝祭日、弊社休業日を除く）
- 通話料は無料です。
- 音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュトーンでお知らせください。トーン信号が出せない電話機の場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音・記録させていただいております。
http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- http://www.ricoh.co.jp/download/index.html

JA (JP) 2011年3月 M080-8503